令 和 3 年 度

当 初 予 算 参 考 資 料

桑 名 市

目　　次

令和３年度当初予算参考資料

１．　当初予算総括表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．　一般会計歳入歳出予算総括表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

３．　一般会計当初予算（歳出）性質別比較表　・・・・・・・・・・・・・　3

４．　特別会計への繰出金の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

５．　企業会計への繰出金の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

６．　主な一部事務組合に対する負担金の状況　・・・・・・・・・・・・・　4

７．　地方独立行政法人に対する負担金の状況　・・・・・・・・・・・・・　4

８．　入湯税の使途・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

９．　都市計画税の使途・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

10.　地方消費税交付金（社会保障財源化分）
　　が充てられる社会保障施策に要する経費　・・・・・・・・・・・・・　6

11.　議員報酬、特別職給、一般職給、会計年度任用職員給の状況・・・・　7

12.　みんなで“変わる”“変える”予算の状況・・・・ ・・・・・・・・・　10

13.　がんばり“見える”化予算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

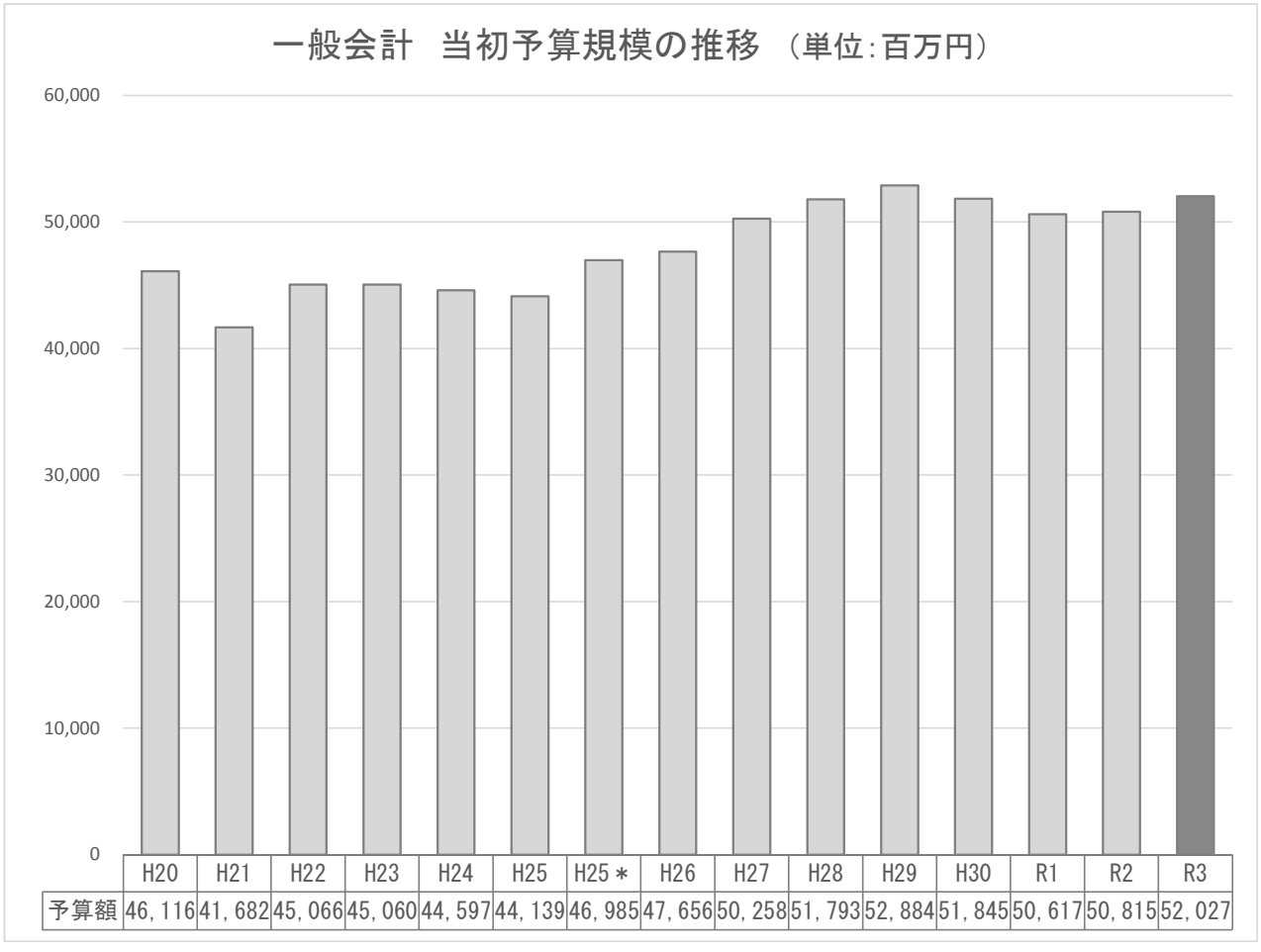
14.　事業概要書

　　令和３年度 当初予算の主な事業（目次）　・・・・・・・・・・・・・　14

　　令和３年度 事業概要書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

1　当初予算総括表

会計＼年度		令和３年度 当初予算額	令和２年度 当初予算額	比較 増減額	比較 増減率
		千円	千円	千円	%
一般会計		52,027,111	50,815,449	1,211,662	2.4
特別会計	国民健康保険事業	12,803,662	12,951,262	▲147,600	▲1.1
	住宅新築資金等貸付事業	5,236	6,644	▲1,408	▲21.2
	農業集落排水事業	154,195	150,910	3,285	2.2
	介護保険事業	10,699,145	10,386,764	312,381	3.0
	後期高齢者医療事業	3,217,063	3,237,708	▲20,645	▲0.6
	地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業	718,964	1,009,202	▲290,238	▲28.8



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H25＊	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
予算額	46,116	41,682	45,066	45,060	44,597	44,139	46,985	47,656	50,258	51,793	52,884	51,845	50,617	50,815	52,027

※[H25*]：平成25年度当初予算が骨格予算のため、当初予算（骨格）と6月補正予算（肉付け）の合計額

2　一般会計歳入歳出予算総括表

歳入						
科目＼年度	令和3年度		令和2年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 市税	20,323,010	39.1	21,532,690	42.4	▲1,209,680	▲5.6
2 地方譲与税	394,542	0.7	403,542	0.8	▲9,000	▲2.2
3 利子割交付金	21,000	0.0	28,000	0.1	▲7,000	▲25.0
4 配当割交付金	107,000	0.2	154,000	0.3	▲47,000	▲30.5
5 株式等譲渡所得割交付金	241,000	0.5	139,000	0.3	102,000	73.4
6 法人事業税交付金	98,000	0.2	124,762	0.2	▲26,762	▲21.5
7 地方消費税交付金	2,880,000	5.5	2,920,998	5.7	▲40,998	▲1.4
8 ゴルフ場利用税交付金	43,000	0.1	44,990	0.1	▲1,990	▲4.4
9 環境性能割交付金	47,000	0.1	62,011	0.1	▲15,011	▲24.2
10 地方特例交付金	135,000	0.3	76,000	0.2	59,000	77.6
11 地方交付税	4,580,000	8.8	4,400,000	8.7	180,000	4.1
12 交通安全対策特別交付金	15,000	0.0	15,000	0.0	0	0.0
13 分担金及び負担金	1,545,636	3.0	1,633,398	3.2	▲87,762	▲5.4
14 使用料及び手数料	845,364	1.6	852,430	1.7	▲7,066	▲0.8
15 国庫支出金	7,164,024	13.8	7,786,834	15.3	▲622,810	▲8.0
16 県支出金	3,403,811	6.5	3,425,826	6.7	▲22,015	▲0.6
17 財産収入	75,123	0.1	84,601	0.2	▲9,478	▲11.2
18 寄附金	500,000	1.0	400,000	0.8	100,000	25.0
19 繰入金	2,669,434	5.1	1,902,962	3.7	766,472	40.3
20 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
21 諸収入	553,866	1.1	529,904	1.0	23,962	4.5
22 市債	6,385,300	12.3	4,298,500	8.5	2,086,800	48.5
歳入合計	52,027,111	100.0	50,815,449	100.0	1,211,662	2.4

歳出						
科目＼年度	令和3年度		令和2年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1 議会費	357,845	0.7	364,662	0.7	▲6,817	▲1.9
2 総務費	5,508,365	10.6	4,892,724	9.6	615,641	12.6
3 民生費	20,230,889	38.9	19,033,980	37.5	1,196,909	6.3
4 衛生費	4,314,174	8.3	3,963,762	7.8	350,412	8.8
5 労働費	47,600	0.1	47,600	0.1	0	0.0
6 農林水産業費	700,237	1.3	828,807	1.6	▲128,570	▲15.5
7 商工費	222,339	0.4	233,967	0.5	▲11,628	▲5.0
8 土木費	4,822,778	9.3	5,980,299	11.8	▲1,157,521	▲19.4
9 消防費	2,993,399	5.7	3,359,477	6.6	▲366,078	▲10.9
10 教育費	5,217,012	10.0	4,461,263	8.8	755,749	16.9
11 公債費	5,880,741	11.3	5,917,432	11.6	▲36,691	▲0.6
12 諸支出金	1,701,732	3.3	1,701,476	3.3	256	0.0
13 予備費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
歳出合計	52,027,111	100.0	50,815,449	100.0	1,211,662	2.4

3　一般会計当初予算（歳出）性質別比較表

性質＼年度	令和3年度		令和2年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
1　人件費	10,161,818	19.5	10,096,337	19.9	65,481	0.6
(1) 議員報酬手当	194,483	0.4	195,212	0.4	▲729	▲0.4
(2) 特別職の給与	63,213	0.1	63,422	0.1	▲209	▲0.3
(3) 職員給	6,559,224	12.6	6,589,278	13.0	▲30,054	▲0.5
(4) 退職金	524,667	1.0	449,277	0.9	75,390	16.8
i 退職手当	439,792	0.8	352,476	0.7	87,316	24.8
ii 退職手当組合負担金	84,875	0.2	96,801	0.2	▲11,926	▲12.3
(5) その他	2,820,231	5.4	2,799,148	5.5	21,083	0.8
2　物件費	7,565,080	14.6	7,426,906	14.6	138,174	1.9
3　維持補修費	573,323	1.1	562,565	1.1	10,758	1.9
4　扶助費	11,582,046	22.3	11,275,525	22.2	306,521	2.7
5　補助費等	5,761,104	11.1	5,604,943	11.0	156,161	2.8
6　投資的経費	5,168,638	9.9	5,225,571	10.3	▲56,933	▲1.1
(1) 普通建設事業費	5,168,638	9.9	5,225,571	10.3	▲56,933	▲1.1
(2) 災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7　公債費	5,899,167	11.3	5,943,812	11.7	▲44,645	▲0.8
8　積立金	591,582	1.1	520,404	1.0	71,178	13.7
9　投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10　貸付金	57,640	0.1	55,000	0.1	2,640	4.8
11　繰出金	4,636,713	8.9	4,074,386	8.0	562,327	13.8
12　予備費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
歳出合計	52,027,111	100.0	50,815,449	100.0	1,211,662	2.4
義務的経費　1＋4＋7	27,643,031	53.1	27,315,674	53.8	327,357	1.2
投資的経費	5,168,638	9.9	5,225,571	10.3	▲56,933	▲1.1
その他の経費	19,215,442	37.0	18,274,204	35.9	941,238	5.2

4　特別会計への繰出金の状況

年度 / 会計	令和３年度 当初予算額	令和２年度 当初予算額	比較 増減額
	千円	千円	千円
国民健康保険事業	1,348,229	809,184	539,045
住宅新築資金等貸付事業	0	2,300	▲2,300
農業集落排水事業	113,433	109,490	3,943
介護保険事業	1,622,737	1,569,528	53,209
後期高齢者医療事業	1,615,772	1,583,684	32,088
地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業	182	200	▲18

5　企業会計への繰出金の状況　※退職手当に対する負担金は除く

年度 / 会計	令和３年度 当初予算額	令和２年度 当初予算額	比較 増減額
	千円	千円	千円
水道事業	1,732	1,476	256
下水道事業	1,700,000	1,700,000	0
うち雨水処理に対する繰出	784,503	804,700	▲20,197

6　主な一部事務組合に対する負担金の状況　※退職手当に対する負担金は除く

年度 / 組合	令和３年度 当初予算額	令和２年度 当初予算額	比較 増減額
	千円	千円	千円
桑名広域清掃事業組合	854,714	826,368	28,346
桑名・員弁広域連合	292,122	306,482	▲14,360

7　地方独立行政法人に対する負担金の状況　※退職手当に対する負担金は除く

年度 / 法人	令和３年度 当初予算額	令和２年度 当初予算額	比較 増減額
	千円	千円	千円
地方独立行政法人桑名市総合医療センター	874,937	755,011	119,926

8　入湯税の使途

入湯税は、地方税法第701条の規定により、環境衛生施設や消防施設の整備、観光振興等に要する費用に充てるための目的税として、鉱泉浴場の入湯客に対して課税しています。令和３年度においては、観光振興に係る事業及び長島木曽岬分署における車両購入の財源として活用します。

区　　分	事業費	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち入湯税
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
消防施設等の整備	56,653			16,594	40,059	48,930
観光振興	45,253			500	44,753	
合　　計	101,906	0	0	17,094	84,812	48,930

9　都市計画税の使途

都市計画税は、地方税法第702条第１項の規定により、都市計画事業や土地区画整理事業に要する費用に充てるための目的税として課税しています。令和３年度においては、都市計画事業及び過去に都市計画事業を実施した際に借り入れた地方債の償還等の財源として活用します。

区　　分	事業費	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち都市計画税
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
街路事業	8,334		7,500		834	993,294
公園事業	21,677	10,000	9,000		2,677	
下水道事業	2,546,839	977,300	1,330,400	158,356	80,783	
市街地開発事業	3,011,022	165,985	1,820,400	903	1,023,734	
地方債償還等	3,334,251		497,179	900,143	1,936,929	
一般会計分	1,250,958				1,250,958	
下水道事業会計分	2,083,293		497,179	900,143	685,971	
合　　計	8,922,123	1,153,285	3,664,479	1,059,402	3,044,957	993,294

※地方債償還等（下水道事業会計分）における地方債は、資本費平準化債及び特別措置分である。

10　地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障施策に要する経費

平成26年４月１日より消費税率（国・地方）が引き上げられることに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その使途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

令和３年度桑名市一般会計予算における社会保障施策経費への充当状況については、下記のとおりです。

【歳入】 地方消費税交付金（社会保障財源化分）　**1,526,400千円**

【歳出】 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障施策に要する経費　**20,307,769千円**

（単位：千円）

大区分		小区分（事業名）		令和３年度当初予算額	財源内訳					
					特定財源				一般財源	
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	**地方消費税交付金（社会保障財源化分）**	その他
1	社会福祉	1	障害者福祉事業	2,657,160	1,231,788	594,136	0	406	120,983	709,847
		2	高齢者福祉事業	152,997	0	3,431	0	24,677	18,186	106,703
		3	児童福祉事業	8,583,597	3,827,333	1,361,710	0	340,595	444,707	2,609,252
		4	母子福祉事業	42,311	4,805	1,412	0	7,660	4,140	24,294
		5	生活保護扶助事業	1,710,056	1,256,792	34,709	0	11,010	59,345	348,200
		6	その他	1,277,110	19,409	384,419	0	2,827	126,753	743,702
		小　計		14,423,231	6,340,127	2,379,817	0	387,175	774,114	4,541,998
2	保健衛生	1	健康増進事業	85,467	2,890	1,356	0	6,308	10,908	64,005
		2	病院事業	641,162	0	0	0	0	93,364	547,798
		3	救急医療対策事業	88,313	0	0	0	37,998	7,327	42,988
		4	予防対策事業	386,472	4,050	1,754	0	0	55,431	325,237
		5	母子保健事業	156,959	9,768	2,854	0	1,674	20,774	121,889
		6	その他	3,067	0	0	0	0	447	2,620
		小　計		1,361,440	16,708	5,964	0	45,980	188,251	1,104,537
3	社会保険	1	国民健康保険事業特別会計（繰出金）	1,284,589	102,589	335,176	0	0	123,311	723,513
		2	介護保険事業特別会計（繰出金）	1,622,737	8,108	4,054	0	231	234,493	1,375,851
		3	後期高齢者医療事業特別会計（繰出金）	1,615,772	0	199,511	0	0	206,231	1,210,030
		小　計		4,523,098	110,697	538,741	0	231	564,035	3,309,394
合　計				20,307,769	6,467,532	2,924,522	0	433,386	1,526,400	8,955,929

11　議員報酬、特別職給、一般職給、会計年度任用職員給の状況

款	目	中事業名	令和３年度		令和２年度		比較（増減）		備考
			当初予算額 千円	積算人数 人	当初予算額 千円	積算人数 人	当初予算額 千円	積算人数 人	
一般会計									
01 議会費	議会費	議員報酬等	243,044	26	246,357	26	▲3,313	0	議員
		一般職給	72,574	9	76,781	10	▲4,207	▲1	
		会計年度任用職員給	0	0	2,030	1	▲2,030	▲1	
02 総務費	一般管理費	特別職給	52,824	3	52,778	3	46	0	市長、副市長
		一般職給	1,159,120	164	1,165,713	162	▲6,593	2	
		会計年度任用職員給	111,355	60	75,672	50	35,683	10	
	人事管理費	退職手当	244,210	23	89,193	13	155,017	10	
		市町総合事務組合負担金	64,886	72	80,518	80	▲15,632	▲8	
	市民会館費	一般職給	29,039	3	28,662	3	377	0	
		会計年度任用職員給	5,835	3	5,558	3	277	0	
	税務総務費	一般職給	273,505	40	250,928	36	22,577	4	
		会計年度任用職員給	32,285	37	23,013	30	9,272	7	
	戸籍住民基本台帳費	一般職給	147,896	23	127,845	23	20,051	0	
		会計年度任用職員給	54,590	35	25,357	21	29,233	14	
	選挙管理委員会費	一般職給	40,366	5	29,298	4	11,068	1	
	統計調査総務費	一般職給	21,806	3	22,595	3	▲789	0	
		会計年度任用職員給	864	1	3,089	4	▲2,225	▲3	
	監査委員費	特別職給	7,949	1	7,971	1	▲22	0	常勤監査委員
		一般職給	31,195	4	30,179	4	1,016	0	
03 民生費	社会福祉総務費	一般職給	94,437	12	94,225	11	212	1	
		会計年度任用職員給	2,757	1	5,312	3	▲2,555	▲2	
	社会福祉施設費	一般職給	14,317	2	11,500	2	2,817	0	
	障害者福祉費	一般職給	69,786	12	69,058	12	728	0	
		会計年度任用職員給	18,683	8	23,682	10	▲4,999	▲2	
	老人福祉費	一般職給	23,543	4	19,567	3	3,976	1	
	国民年金費	一般職給	19,730	3	21,798	3	▲2,068	0	
		会計年度任用職員給	1,018	1	1,062	1	▲44	0	
	隣保館費	一般職給	30,735	5	30,819	5	▲84	0	
		会計年度任用職員給	6,166	2	5,326	2	840	0	
	児童福祉総務費	一般職給	227,939	41	149,403	25	78,536	16	
		会計年度任用職員給	70,948	31	68,699	32	2,249	▲1	
	保育所費	一般職給	611,736	106	659,717	115	▲47,981	▲9	
		会計年度任用職員給	287,646	130	307,827	148	▲20,181	▲18	
	療育センター費	一般職給	0	0	89,435	14	▲89,435	▲14	
		会計年度任用職員給	0	0	31,465	9	▲31,465	▲9	
	児童センター費	一般職給	14,073	2	14,059	2	14	0	
		会計年度任用職員給	14,480	19	6,511	15	7,969	4	
	生活保護総務費	一般職給	105,809	14	97,354	14	8,455	0	
		会計年度任用職員給	11,979	3	12,015	3	▲36	0	

款	目	中事業名	令和３年度		令和２年度		比較（増減）		備考
			当初予算額 千円	積算人数 人	当初予算額 千円	積算人数 人	当初予算額 千円	積算人数 人	
	環境保全対策総務費	一般職給	0	0	39,541	5	▲39,541	▲5	
		会計年度任用職員給	0	0	2,977	1	▲2,977	▲1	
	公害対策費	一般職給	0	0	48,722	7	▲48,722	▲7	
04 衛生費	保健衛生総務費	一般職給	374,478	51	263,206	39	111,272	12	
		会計年度任用職員給	26,634	16	23,455	15	3,179	1	
	清掃総務費	一般職給	235,506	34	174,833	25	60,673	9	
		会計年度任用職員給	2,385	2	2,195	2	190	0	
06 農林水産業費	農林水産業総務費	一般職給	113,259	15	113,884	14	▲625	1	
		会計年度任用職員給	13,588	9	14,323	8	▲735	1	
	農地総務費	一般職給	59,258	8	47,766	6	11,492	2	
		会計年度任用職員給	768	1	732	1	36	0	
	輪中の郷費	一般職給	13,732	2	22,484	3	▲8,752	▲1	
		会計年度任用職員給	3,743	4	3,874	4	▲131	0	
07 商工費	商工総務費	一般職給	100,807	12	126,440	15	▲25,633	▲3	
		会計年度任用職員給	1,018	1	1,327	1	▲309	0	
	商工業振興費	会計年度任用職員給	2,823	3	2,112	3	711	0	
08 土木費	土木総務費	一般職給	269,404	34	246,688	32	22,716	2	
		会計年度任用職員給	6,609	4	3,207	3	3,402	1	
	道路橋りょう総務費	一般職給	99,548	12	99,179	11	369	1	
		会計年度任用職員給	8,313	4	8,563	3	▲250	1	
	都市計画総務費	一般職給	82,375	10	78,889	10	3,486	0	
		会計年度任用職員給	6,065	4	8,399	4	▲2,334	0	
	公園費	一般職給	31,537	4	30,477	4	1,060	0	
		会計年度任用職員給	1,018	1	1,073	1	▲55	0	
	土地区画整理事業費	一般職給	162,213	21	168,402	21	▲6,189	0	
		会計年度任用職員給	3,679	2	3,712	2	▲33	0	
	住宅管理費	一般職給	24,616	3	28,668	4	▲4,052	▲1	
		会計年度任用職員給	4,611	2	3,507	1	1,104	1	
09 消防費	常備消防費	一般職給	1,396,574	170	1,472,407	171	▲75,833	▲1	
		退職手当	95,635	6 ※	122,258	9 ※	▲26,623	▲3	※退職手当は、計6人分を在籍期間に応じ、各費目で按分して計上している。
		会計年度任用職員給	1,000	1	1,039	1	▲39	0	
	長島木曽岬分署消防費	一般職給	193,861	23	188,884	23	4,977	0	
		退職手当	20,207	6 ※	22,822	9 ※	▲2,615	▲3	
	東員消防署消防費	一般職給	206,084	23	208,464	23	▲2,380	0	
		退職手当	7,035	6 ※	21,253	9 ※	▲14,218	▲3	
	いなべ消防署消防費	一般職給	415,985	46	419,175	46	▲3,190	0	
		退職手当	19,162	6 ※	21,140	9 ※	▲1,978	▲3	
	多度分署消防費	一般職給	0	0	0	0	0	0	
		退職手当	0	※	0	※	0	0	

款	目	中事業名	令和３年度		令和２年度		比較（増減）		備考
			当初予算額 千円	積算人数 人	当初予算額 千円	積算人数 人	当初予算額 千円	積算人数 人	
10 教育費	事務局費	特別職給	13,636	1	13,586	1	50	0	教育長
		一般職給	342,714	39	316,871	35	25,843	4	
		退職手当	52,143	3	9,104	15	43,039	▲12	
		市町総合事務組合負担金	15,240	16	11,628	15	3,612	1	
		会計年度任用職員給	29,689	18	88,624	49	▲58,935	▲31	
	小学校費	一般職給	64,794	12	75,935	15	▲11,141	▲3	
		退職手当	0	0	16,270	2	▲16,270	▲2	
		市町総合事務組合負担金	1,806	3	1,780	3	26	0	
		会計年度任用職員給	208,715	131	179,987	111	28,728	20	
	中学校費	一般職給	18,547	3	26,528	4	▲7,981	▲1	
		退職手当		0	0	0	0	0	
		市町総合事務組合負担金	1,387	2	1,381	2	6	0	
		会計年度任用職員給	102,617	47	62,841	36	39,776	11	
	幼稚園費	一般職給	252,370	31	260,000	32	▲7,630	▲1	
		退職手当	0	0	45,731	2	▲45,731	▲2	
		市町総合事務組合負担金	1,556	2	1,494	2	62	0	
		会計年度任用職員給	61,347	33	83,520	46	▲22,173	▲13	
	社会教育総務費	一般職給	351,816	45	377,942	50	▲26,126	▲5	
		会計年度任用職員給	96,925	51	69,351	32	27,574	19	
	博物館費	会計年度任用職員給	823	2	844	3	▲21	▲1	
	保健体育総務費	一般職給	159,199	20	157,284	22	1,915	▲2	
		会計年度任用職員給	43,720	30	42,860	32	860	▲2	
国民健康保険事業特別会計									
01 総務費	一般管理費	一般職給	92,236	15	94,537	15	▲2,301	0	
		会計年度任用職員給	9,482	5	7,087	4	2,395	1	
04 保健事業費	保健衛生普及費	会計年度任用職員給	1,342	1	1,019	1	323	0	
介護保険事業特別会計									
01 総務費	一般管理費	一般職給	133,053	18	133,942	19	▲889	▲1	
		会計年度任用職員給	20,390	8	22,195	9	▲1,805	▲1	
	賦課徴収費	会計年度任用職員給	1,031	1	974	1	57	0	
	介護認定審査会費	会計年度任用職員給	1,950	2	2,134	2	▲184	0	
03 地域支援事業費	任意事業費	会計年度任用職員給	6,247	2	5,889	2	358	0	
後期高齢者医療事業特別会計									
01 総務費	一般管理費	一般職給	21,094	3	24,675	4	▲3,581	▲1	
		会計年度任用職員給	1,019	1	1,017	1	2	0	

【 注 記 】

・ 「議員報酬等」「特別職給」「一般職給」は、各職の報酬もしくは給料、期末手当等の各種手当、及び共済費の総額である。

・ 「退職手当」は、特別職もしくは一般職の退職金である。

・ 「市町総合事務組合負担金」は、一般職退職手当の支給及び事務の共同処理に係る負担金である。

・ 「会計年度任用職員給」については、大事業名で抽出している。

・ 本表は、委員等（常勤監査委員を除く）の報酬を含まないため、「３　一般会計当初予算（歳出）性質別比較表」における人件費の数値とは一致しない。

12　みんなで“変わる”“変える”予算の状況
～予算編成にあたって既存事業を17の視点で見直し～

令和３年度予算の編成では、経常的経費において従来の財政課での査定を廃止し、各部等に配分する予算枠をもとに部内調整等を行いながら予算を編成するという新たな手法を導入しました。そして、**みんなで“変わる”“変える”予算**として、以下の１７の視点をもとに各所属自らが対象事業すべてを厳密に点検して既存事業の見直しを行い、歳入予算の増加や歳出予算の削減を行いました。

この見直しの効果額は、一般財源ベースで**２億１，２８６万２千円**となりました。

≪「みんなで“変わる”“変える”予算」１７の視点≫
①内部事務の精査　②内部事務や事業の集約化　③体制の見直し
④手法の変更・見直し、主体・執行体制の見直し　⑤委託の仕様内容、需用費等の見直し
⑥在庫等の有効活用　⑦公有財産の適正管理・戦略的活用　⑧執行残（決算）額との比較
⑨計画の見直し（平準化）　⑩国・県・他市基準との比較　⑪歳入の確保
⑫社会経済情勢の変化、目的の達成　⑬政策・施策への有効性
⑭公民連携の取組　⑮データやＩＣＴの活用による業務の効率化
⑯民営化・委託化　⑰業務の効率化・働き方の見直し

（一般会計）

No.	所属	見直し効果額（一般財源）（単位：千円）	主な見直し内容・効果額（一般財源）
1	防災・危機管理課	28	【城南河川防災センター管理費】利用実績を踏まえてプロパンガスを撤去し、カセットコンロの対応に変更した（経費削減▲28千円）
2	政策創造課	86	【男女共同参画推進事業費】イベントチラシを自室で印刷することで経費を削減した（経費削減▲57千円）など
3	ブランド推進課	3,161	【施設管理運営費（市民会館費）】市民会館駐車場の管理を民間委託することで、歳入を確保した（歳入確保 2,640千円）など
4	秘書広報課	1,236	【広報活動費】広報くわなのページ数削減、広報写真の枚数見直し等を行ったことにより、経費を削減した。（経費削減▲1,109千円） など
5	人事課	886	【職員研修費】資格取得関係経費を見直すことで、経費を削減した（経費削減▲844千円）など
6	財政課	1,912	【公有財産管理費】近年の執行状況を踏まえて精査することで、経費を削減した（経費削減▲1,722千円）など
7	総務課	3,852	【文書郵送料・総務事務費】ペーパーレス化を推進することで、経費を削減した（経費削減▲3,475千円）など
8	契約監理課	0	
9	税務課	19	【一般事務費（税務総務費）】保管用ボックスを工夫することで、経費を削減した（経費削減▲19千円）
10	戸籍・住民登録課	18,059	【個人番号カード交付事業費】事業実施にあたって国庫補助金を可能な限り活用し、歳入を確保した（歳入確保15,547千円）など
11	人権政策課	31	【一般事務費（人権政策費）】近年の執行状況から精査し、経費を削減した（経費削減 ▲31千円）
12	桑名市人権センター	170	【啓発事業費】啓発物品、啓発パンフレット等の単価及び個数（枚数）を見直すことで経費を削減した（経費削減▲117千円）など
13	環境安全課	3,346	【施設管理運営費（火葬場管理費）・施設管理費（安全対策費）等】電気料金契約や管理委託費等を見直しすることで経費を削減した（経費削減▲3,126千円）など
14	廃棄物対策課	3,962	【資源回収事業費・粗大ごみ収集費】事業費の精査やごみ処理手数料などの増により、経費の削減や歳入を確保した（経費削減▲1,391千円、歳入確保 1,041千円）など
15	地域コミュニティ課	5,365	【施設管理運営費（まちづくり拠点施設費）】一者随契及び発注単位の見直し並びに実績等を踏まえた精査を行うことで経費を削減した （経費削減▲4,665千円）など
16	大山田地区市民センター	41	【施設管理費（地区市民センター費）】執行状況を踏まえて、光熱水費の見込みを精査した（経費削減▲41千円）

No.	所属	見直し効果額（一般財源）（単位：千円）	主な見直し内容・効果額（一般財源）
17	多度地区市民センター	1,661	【施設管理費（地区市民センター費）】一者随契の見直し及び仕様の見直しを行うことで経費を削減した（経費削減▲990千円）など
18	長島地区市民センター	480	【施設管理費（地区市民センター費）】執行状況を踏まえて、光熱水費の見込みを精査した（経費削減▲356千円）など
19	生涯学習・スポーツ課	6,385	【施設管理費（図書館費）】ふるさと多度文学館、長島輪中図書館において、館内清掃委託業務等を縮小することで、経費を削減した（経費削減▲2,750千円）など
20	商工課	389	【加入団体負担金】負担金の精査（桑栄ビル便所維持管理負担金の減）により、経費を削減した（経費削減▲399千円）など
21	観光課	1,635	【観光施設維持補修費】公衆無線LAN運用経費について、実施方法・設置箇所等を大幅に見直すことで、経費を削減した（経費削減▲489千円）など
22	農林水産課	2,041	【水田転作システム事業費】水田転作システムの新システム導入により委託料等を削減した（経費削減▲1,288千円）など
23	福祉総務課	13,827	【住民情報システム事業費】クラウド版レセプトシステムの導入により、経費を削減した（経費削減▲11,757千円）など
24	障害福祉課	849	【一般事務費（障害者福祉費）】近年の執行状況を反映することで、国保連審査事務手数料の経費を削減した（経費削減▲269千円）など
25	介護高齢課	35	【一般事務費（老人福祉費）】益世地区宅老所の電気料金を精査した（経費削減▲34千円）など
26	保健医療課	20,753	【成人予防接種事業費】風しん追加的対策の最終年度であるため、これまでの実績から、接種率の見込みを見直すことで経費を削減した（経費削減▲17,833千円）など
27	子ども未来課	58,802	【子育てのための施設等利用給付費】前年度は幼児教育・保育無償化導入の影響を踏まえて予算計上したが、執行状況をもとに精査した（経費削減▲26,021千円）など
28	子育て支援課	1,141	【児童健全育成総合相談事業費】補助金のメニューを活用することで歳入を確保した（歳入確保 1,141千円）
29	都市管理課	1,498	【市営住宅管理運営費】エレベーター保守点検業務委託の一者随意契約見直しやテレビ共同受信施設を個別修繕することにより経費を削減した（経費削減▲1,100千円）など
30	都市整備課	746	【桑名駅周辺施設管理費】桑栄ビル共益費負担金などの減により、経費を削減した（経費削減▲692千円）など
31	土木課	70	【公共工事設計積算システム事業費】三重県自治体共同積算システム利用料を精査することで経費を削減した（経費削減▲40千円）など
32	アセットマネジメント課	21,887	【道路施設管理費】緊急性を重視した優先順位に基づき樹木の剪定・伐根を行うことで経費を削減した（経費削減▲7,412千円）など
33	駅周辺整備課	51	【一般事務費（土地区画整理事業費）】国への要望活動について随行人数の見直しを行った（経費削減▲51千円）
34	桑名駅西整備事務所	18	【用地管理費】修繕料を廃止し職員で対応することで、経費を削減した（経費削減▲18千円）
35	会計管理室	0	
36	議会事務局	1,386	【本会議・委員会運営費】会議録筆耕料を過去の実績等勘案し見直すことで、経費を削減した（経費削減▲632千円）など
37	監査委員事務局	107	【一般事務費（監査委員費）】講座受講回数を減らすことで、経費を削減した（経費削減▲35千円）など
38	農業委員会事務局	7	【活動費（農業委員会費）】参加会議等を精査することにより、経費を削減した（経費削減▲7千円）
39	教育総務課	31,428	【学校給食管理運営費（学校保健体育費）】給食に係る委託料について、実績に基づく見直しにより経費を削減した（経費削減▲7,686千円）など
40	新たな学校づくり課	147	【小中一貫校推進事業費】啓発パンフレット印刷を廃止したことにより経費を削減した（経費削減▲147千円）
41	学校支援課	2,140	【コミュニティ・スクール推進事業費】学校運営協議会委員数、評議員数を見直すことで経費を削減した（経費削減▲672千円）など
42	人権教育課	855	【指導体制充実事業費】研修参加者の人数を減らすことで、経費を削減した（経費削減▲577千円）など
43	消防本部総務課	2,370	【消防団活動費】学校入校旅費を参加率低下に伴い精査することで、経費を削減した（経費削減▲1,097千円）など
合計		212,862	

※所属については、令和２年12月時点での組織機構をもとに計上しています。

13　がんばり“見える化”予算の状況
～創意工夫等による改革の成果に対する評価・奨励～

がんばり“見える化”予算は、市職員の創意工夫、新たな手法・アイデアによる歳入の増収や経費節減の成果を評価し、増収額または節減額の全部または一部を所属部署の翌年度当初予算へ還元する制度です。今回のがんばり“見える化”予算では、１８部署より申請があり、取組みによる効果額の総額は**５億５，４６７万円**でした。そして、各取組みを評価した結果、付与額の総額は**９２０万８千円**となりました。

（単位：千円）

令和元年度下半期・令和２年度上半期における取組	効果額	付与額	所　属
備蓄食料の有効活用	85	37	防災・危機管理課
プロパンガス契約の廃止	12		
一者随意契約の見直し （市民会館・音響設備保守点検委託契約等の見直し）	969	194	ブランド推進課
一者随意契約の見直し （研修委託契約の見直し）	170	34	人事課
旧大山田終末処理場の売却　※予算付与なし	521,250	―	財政課
未利用地の民間貸付による有効活用　※予算付与なし	3,840		
一者随意契約の見直し（本庁舎・エレベーター保守点検業務委託契約等の見直し）	1,323	530	総務課
住民基本台帳閲覧手数料の見直し	435	99	戸籍・住民登録課
レジスター料金設定の変更	30		
一者随意契約の見直し（清掃センター・電力デマンド監視業務委託契約等の見直し）	53	11	廃棄物対策課
一者随意契約の見直し（多度地区市民センター・建築物環境衛生管理業務委託契約等の見直し）	3,850	770	地域コミュニティ課
一者随意契約の見直し（パブリックセンター・エレベーター保守点検業務委託契約等の見直し）	196	40	生涯学習・スポーツ課
桑名市観光協会事務局体制の見直し	1,910	1,440	観光課
公衆無線ＬＡＮ（Wi-Fi）運用経費の見直し	489		
一者随意契約の見直し（輪中の郷・自動扉保守点検業務委託契約等の見直し）	486	98	農林水産課
一者随意契約の見直し（長島福祉健康センター・自家用電気工作物保守委託管理業務委託契約等の見直し）	20	4	福祉総務課
地域包括支援センターシステムの見直し	385	231	介護高齢課
福祉なんでも相談員・高齢者相談員兼務	17,212	5,000	介護高齢課・福祉総務課
一者随意契約の見直し（「キラキラ」・エレベーター保守点検業務委託契約等の見直し）	696	140	子ども未来課
養育医療事務システムの見直し	273	164	子育て支援課
一者随意契約の見直し（日物谷市営住宅・エレベーター遠隔監視保守業務委託契約等の見直し）	836	335	都市管理課
携帯電話の契約内容見直し	126	76	水道課
一者随意契約の見直し（消防本部・自家用電気工作物保安管理業務委託契約等の見直し）	24	5	消防本部総務課
合　計	**554,670**	**9,208**	

がんばり“見える化”予算付与額は、市民サービス向上や職員の働き方改革・業務効率化に資する経費の予算に優先配分することとしています。上記のがんばり“見える化”予算付与額９２０万８千円については、各所属の意向に沿って、２７７万９千円を令和３年度予算に反映し、６４２万９千円を令和４年度予算に反映します。令和３年度予算では、以下の経費に予算配分しています。

（単位：千円）

所属	配分予算の使途	予算額
防災・危機管理課	住民向けの備蓄食料購入	37
ブランド推進課	公共施設の設備修繕費等	194
人事課	職員研修用の感染症対策用品購入	34
総務課	庁舎管理における物品等購入	530
戸籍・住民登録課	窓口お客様用荷物置き及び待ち合い用椅子購入	99
廃棄物対策課	不法投棄禁止看板の増設	11
生涯学習・スポーツ課	講座用パソコン用品等購入	40
観光課	桜の伐根・植樹による景観整備	500
農林水産課	公共施設の照明設備購入	98
介護高齢課	介護人材研修補助及びＷＥＢ会議用備品購入	721
子ども未来課	職員用パソコン及び幼児用玩具購入	140
子育て支援課	ふたご手帖及び防災用品・防災啓発パンフレット等購入	164
都市管理課	窓口用感染対策物品及び待ち合い用椅子等購入	135
水道課	倉庫整理に係る棚等購入	76
合　計		2,779

また、前年度のがんばり“見える化”予算付与額のうち、各所属の意向に沿って、令和３年度予算に反映することとした８１万８千円については、以下の経費に予算配分しています。

（単位：千円）

所属	配分予算の使途	予算額
戸籍・住民登録課	個人情報保護のための備品購入	274
保健医療課	子宮がん検診検査における液状化検体法実施	544
合　計		818

14　令和３年度当初予算の主な事業（目次）

款　名	項　名	目　名	中　事　業　名	所　属	頁数
一　般　会　計					
総務費	総務管理費	一般管理費	多文化共生推進事業費	政策創造課	16
		人事管理費	働き方改革サポート事業費	人事課	18
		文書広報費	ホームページリニューアル事業費	秘書広報課	20
		企画費	ブランド推進事業費	ブランド推進課	22
			パブリックリレーション事業費	ブランド推進課	24
			ふるさと応援寄附推進事業費	ブランド推進課	26
			地域コミュニティ推進事業費	地域コミュニティ課	28
			次世代モビリティサービス推進事業費	政策創造課	30
			市民満足度調査事業費	政策創造課	32
		情報推進費	AI等活用推進事業費	デジタル推進課	34
		交通対策費	北勢線運営支援事業費	政策創造課	36
			コミュニティバス運行事業費	政策創造課	38
			養老線運営支援事業費	政策創造課	40
		まちづくり拠点施設費	安全管理対策施設整備事業費	地域コミュニティ課	42
		市民会館費	音響設備改修事業費	ブランド推進課	44
	徴税費	賦課徴収費	家屋現況図作成・家屋特定調査事業費	税務課	46
民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	福祉総合相談事業費	福祉総務課	48
		社会福祉施設費	多世代共生型施設整備事業費	福祉総務課	50
	児童福祉費	児童福祉総務費	学童保育所整備事業費	子ども未来課	52
			待機児童対策事業費補助金	子ども未来課	54
			私立保育園整備補助金	子ども未来課	56
			子どもの安全見守り支援事業費	子育て支援課	58
			養育支援訪問（育児・家事援助）事業費	子育て支援課	60
			医療的ケア児地域生活支援事業費	子育て支援課	62
			児童虐待防止システム改修（転出入対策）事業費	子育て支援課	64
			保育オンライン申請強化事業費	子ども未来課	66
		保育所費	IoT保育管理事業費	子ども未来課	68
			家庭での食育推進とパパママ家事時短事業費	子ども未来課	70
衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費	病院事業運営費負担金	保健医療課	72
			骨髄移植ドナー助成事業費	保健医療課	74
		予防費	骨髄移植患者等再接種助成事業費	子育て支援課	76
		応急診療所費	PCR検体採取事業費	保健医療課	78
	清掃費	塵芥処理費	埋立最終処分場環境整備事業費	廃棄物対策課	80
労働費	労働諸費	労働諸費	移住支援事業補助金	商工課	82
農林水産業費	農林水産業費	農林水産業振興費	有害鳥獣等対策事業費	農林水産課	84
			竹資源循環創出推進事業費	農林水産課	86
		農地総務費	土地改良事業費	農林水産課	88
			土地改良施設維持管理適正化事業費	農林水産課	90
			多面的機能支払交付金事業費	農林水産課	92
			湛水防除事業費	農林水産課	94
			ため池等整備事業費	農林水産課	96
商工費	商工費	商工業振興費	企業等誘致奨励金	商工課	98
		観光費	観光誘客推進事業費	観光課	100
土木費	土木管理費	土木総務費	木造住宅耐震事業費	都市整備課	102
			地籍調査事業費	土木課	104

款　　名	項　　名	目　　名	中　　事　　業　　名	所　　属	頁数
土木費	土木管理費	土木総務費	狭あい道路整備等促進事業費	土木課	106
			急傾斜地崩壊対策事業	土木課	108
	道路橋りょう費	道路維持費	ICT道路調査事業費	アセットマネジメント課	110
		道路新設改良費	道路老朽化対策事業費（公共施設等適正管理推進事業費）	土木課	112
			安全対策事業費	土木課	114
			スマートインターチェンジ推進事業費	土木課	116
		橋りょう維持費	橋梁長寿命化対策事業費	土木課	118
	河川費	河川総務費	緊急浚渫推進事業費	土木課	120
		河川新設改良費	河川改良事業費	土木課	122
	都市計画費	都市計画総務費	都市計画道路評価検討事業費	都市整備課	124
			都市計画図管理システム作成事業費	都市整備課	126
		街路事業費	桑部播磨線	土木課	128
		公園費	総合運動公園	土木課	130
		土地区画整理事業費	桑名駅周辺施設整備事業費	駅周辺整備課	132
			桑名駅自由通路整備事業費	駅周辺整備課	134
			土地区画整備事業費	桑名駅西整備事務所	136
	住宅費	住宅管理費	市営住宅解体撤去事業費	都市管理課	138
消防費	消防費	常備消防費	防火水槽改修事業費	消防本部総務課	140
			消火栓整備費	消防本部総務課	142
			消防活動用機器整備費	消防本部総務課	144
			消防庁舎等再編整備アドバイザリー業務実施事業費	消防本部総務課	146
			泡消火薬剤更新事業費	消防本部総務課	148
		長島木曽岬分署消防費	車両購入費	消防本部総務課	150
		災害対策費	備蓄用物資等拡充費	防災・危機管理課	152
			保存版ハザードマップ作成費	防災・危機管理課	154
			戸別受信機整備費	防災・危機管理課	156
			津波避難施設整備費	防災・危機管理課	158
教育費	教育総務費	教育振興費	学校指導体制支援事業費	学校支援課	160
			英語教育プラン推進事業費	学校支援課	162
			くわなの宝はまぐり体験事業費	学校支援課	164
			初期日本語指導教室「なかま」運営事業費	人権教育課	166
			分身ロボット活用特別支援事業費	人権教育課	168
			教育ICT環境整備事業費	教育総務課	170
			教育用コンピュータ整備事業費	学校支援課	172
		小中一貫校費	多度地区小中一貫校整備事業費	新たな学校づくり課	174
	小学校費	学校管理費	安全管理対策施設整備事業費	教育総務課	176
	社会教育費	図書館費	長島輪中図書館空調改修事業費	生涯学習・スポーツ課	178
		博物館費	特別展示費	ブランド推進課	180
	保健体育費	学校保健体育費	新規給食調理等業務委託導入事業費	教育総務課	182
		社会体育振興費	国民体育大会開催準備経費	生涯学習・スポーツ課	184
国民健康保険事業特別会計					186
住宅新築資金等貸付事業特別会計					187
農業集落排水事業特別会計					188
介護保険事業特別会計					189
後期高齢者医療事業特別会計					190
地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計					191

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　政策創造課

事業名称	中事業 多文化共生推進事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　一般管理費 大事業 SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	世界に向けて開かれたまち	国内・国際交流	多文化共生の推進

事業目的

外国人住民が年々増加している中、行政サービスの多言語化対応や外国人住民の地域社会との共生促進を行うことで、外国人も含めた誰にとっても住みやすいまちづくりを進める。

主な事業内容

・多文化共生に関する職員研修等の実施（132千円）
　やさしい日本語講座等
・多言語による情報発信（200千円）
　文書翻訳料
・多言語電話通訳サービス利用料（1,463千円）
　事務手数料、委託料、通話料
・多文化共生推進事業（550千円）
　外国人住民との地域交流事業（業務委託）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和2年度 　多文化共生を推進するための推進員を関係課に配置、職員研修の実施 　外国人住民に対するヒアリング調査、多言語電話通訳サービスの導入 ・令和3年度 　職員研修等の実施、多文化共生推進事業の実施 　多言語電話通訳サービスの実施	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		2,345	2,780	▲ 435
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	2,345	2,780	▲ 435
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　2,345千円

多文化共生推進事業

桑名市で生活する外国人住民が 6 年間で約 1,800 人増加している。
令和２年は新型コロナウイルス感染症の影響で微減となっている。
（令和２年１１月末外国人住民数：4,680 人）

↓

外国人も含めた誰にとっても住みやすいまちづくりを目指す必要がある。
⇒多文化共生の推進

↓

誰一人取り残さない持続可能なまちづくりの推進（SDGsの推進）

◎令和２年度桑名市外国人市民ニーズ調査結果から見えてきた課題とそれに対する取り組み

課題

- 日本語学習支援の充実
- 防災に関する意識啓発
- 地域活動への参加促進

→

取り組み

- 多言語電話通訳サービスの実施
  庁内案内表示等の多言語化の充実
- やさしい日本語の普及、啓発
  日本語指導ボランティアの育成
- 外国人住民との交流の場づくり

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　人事課

事業名称	中事業 働き方改革サポート事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　人事管理費 大事業　スマート自治体推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	全員参加型市政に向けた組織力と職員力の向上・ヒト	組織の見直し

事業目的

社会環境が大きく変化する中、市民の多種多様なニーズに応え、市民サービスを持続的に提供していくためには、限られた財源や資源を有効に活用するとともに既存事業の見直しや発想の転換等が必要となる。このため、これまでの概ね固定的な職員配置に民間的な発想を取り入れ、複数の年度、所管にまたがり繁忙の状況に合わせて人員数を調整することにより、各部署の要求を満たすだけでなく、課題解決のためのさらなる職員配置も可能とする組織力の向上を図る。

主な事業内容

内部管理、とりわけ人事管理業務においては人事課を中心に、子ども未来局、教育委員会事務局等、関係所管と分担しながら、その適正執行に努めている。
（例）給与支払業務、雇用保険・社会保険関連業務、年末調整業務
この業務に従事、関連する職員及び、人事管理業務でなくても、繁忙期がある業務に従事する職員が目的達成するために必要なシステム等のツール確保について外部委託する。
（例）給与支払担当、福利厚生担当、各種申請等受付担当、民間的な発想に基づく効果的な運営システム
当初1年11か月間は派遣形式で職員と業者が共同従事し、その後2年10か月間を委託形式で職員監督の下で業者が従事する内容の5年間の一括発注を行う。
※債務負担行為設定（令和元年度～令和6年度）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和元年度業者選定 契約期間：令和元年11月11日～令和6年7月31日 以下のとおり6年間のうち事業実施5年間で201,179千円	R3	✓
・令和元年度　23,736千円 ・令和2年度　41,049千円 ・令和3年度　41,049千円	R4	✓
・令和4年度　41,049千円 ・令和5年度　41,049千円 ・令和6年度7月末まで　13,247千円	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		41,049	41,049	0
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	41,049	41,049	0
令和3年度その他財源内訳				

【補足資料】　　働き方改革サポート事業スケジュール

【1】 業務委託化までのスケジュール

派遣開始後、定期的な業務フロー作成やマニュアル作成のための研修期間を確保し、スムーズな業務委託のための準備を派遣期間中に並行して行うよう取り組む。派遣期間中、委託業者と当市との間で業務委託化に向けた準備作業及び具体的運用について協議を行う。

NO.	実施事項	令和元年度			令和２年度					令和３年度				
1	人事課、教育総務課、子ども未来課での派遣職員による業務実施、業務手順及びマニュアル作成													
2	委託対象業務の妥当性の確認　コンプライアンス面や権限、フロー図等精査													
3	委託業務範囲の確定及びマニュアル作成、業務完結までの手順作成													
4	委託業務手順及びマニュアルに基づく業務執行 ３課それぞれの現場においてマニュアル化された統一フローでの業務開始													
5	業務委託試行に基づくフロー及びマニュアルの見直し 修正・追記													
6	業務委託の状況を想定した運用開始 委託業務を想定した施行運用を実施し、業務手順・マニュアルの検証													
7	業務手順書・業務フローの修正 検証したマニュアルを基に既存の業務フローを修正													
8	業務委託本稼働開始													

【２】 業務委託化後の運営スケジュール

業務委託への移行後、日々の業務改善や効率化に取り組み、委託化された業務をよりスムーズな運用と安定的な委託運営の実施を委託業者側で行う。そのため、業務をできる限り属人化させず、適切な業務フローによりマニュアル化されたものを適宜委託業者にて更新させる。

NO.	実施事項	令和４年度					令和５年度					令和６年度		
1	業務委託運営における課題確認													
2	年度ごとの業務範囲の見直し													
3	業務フロー及びマニュアルの見直し及び更新作業													
4	契約期間満了に向けた今後の運営体制協議													
5	本業務の次期契約の判断及び公示手続き													
6	次期受託業者への引継ぎ													
7	委託業務契約終了													

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　秘書広報課

事業名称	中事業 ホームページリニューアル事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　文書広報費 大事業　DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	中央集権型から全員参加型市政に	コミュニケーション活動	広報・広聴活動の充実

事業目的

・現行ホームページは平成23年度（平成24年２月運用開始）から使用しており、運用面で不具合や使い勝手の悪さ等が見られる。また、平成28年４月施行の「障害者差別解消法」により、総務省通達でアクセシビリティ向上が義務付けられているが、その基準を満たす運用ができていない。
・現在、全世代でスマートフォンが普及・活用がされている中、スマートフォンに対応していない。
これらの課題を改善、より良いホームページにするためリニューアルを実施する。

主な事業内容

ホームページリニューアル選定業者に現行ホームページの問題点の洗い出し、要件に沿ったサイト構造・デザインの見直しを行う。サイト構築、試験、移行を行い、リニューアル実施後、職員向けに研修を行う。
※債務負担行為設定（令和2年度～令和3年度）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
＜令和2～3年度＞ 令和2年4～12月：ホームページリニューアルに係るアクセスログ解析や仕様書作成等の事前準備業務委託後、業者選定（2,936千円） 令和3年1月～令和4年3月：サイト構造・デザインの見直し等を行い、ホームページを構築、試験、移行、職員向け研修（27,313千円） ＜令和4年度以降＞ CMSソフト、サーバ、ヘルプデスク、SEサポート、職員研修等の保守費用が年間5,530,800円が必要となる。	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		27,313	2,936	24,377
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	27,313		27,313
	一般財源		2,936	▲ 2,936

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　27,313千円

事　業　概　要

1. 事業目的

市のホームページは、平成24年にリニューアルされてから8年が経過しようとしている。

この間、さまざまな新しい通信機器が普及し、情報手段も進化しているが、現行のホームページのシステムでは、スマートフォンへの対応やアイコンの外国語翻訳などには対応できておらず、きめ細やかな情報発信ができていないのが現状である。

また、ホームページは、障害者の方にも情報をわかりやすく発信することが求められており、その基準も年々高いものとなっている。

こうしたことなどに対応するには、担当課と実施している情報整理、項目の見直しだけでは対応できないことから、ホームページのシステム本体の改修が必要なため、ホームページのリニューアルを実施する。

2. 事業内容

桑名市ホームページリニューアル業務等選定業者に現行ホームページの問題点の洗い出し、要件に沿ったサイト構造・デザインの見直しなどを行う。また、CMS構築、試験、移行を行い、リニューアル実施後、職員向けに研修を行う。

3. 事業予定

＜令和2～3年度＞

期　間	内　容
令和3年1月～ 令和4年3月	サイト構造、主要ページ・サブサイトデザイン作成等　令和3年1月～10 月（予定） CMS構築、試験、移行、研修等　令和3年7月～令和4年1月（予定） ホームページ公開　令和4年2月（予定）

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　ブランド推進課

事業名称	中事業 ブランド推進事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　企画費 大事業　ブランド推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	プロモーション活動	桑名ブランドの推進

事業目的

桑名に訪れたい、住みたい、住み続けたいと思う人を増やすため、本市が有する地域資源の魅力や価値を学ぶことができるプログラム、イベント等を実施するとともに、これからの桑名の地域人材を育成する。

主な事業内容

〇地方創生推進交付金事業　20,000千円
住吉地区及び七里の渡し周辺のまちづくり推進事業委託（インフォメーションショップ運営・桑名城AR／VR・ブランドポータルサイトの構築運営・桑名ほんぱく等）
〇忠勝プロジェクト　5,189千円
トークショー・歴史講演会等、大河ドラマ誘致推進にかかわる事業

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
〇地方創生推進交付金事業 住吉地区及び七里の渡し周辺のまちづくり推進事業委託　令和元年度～3年度 〇忠勝プロジェクト 令和3年は忠勝入府420年であり桑名城・桑名城下町を築いた「慶長の町割」420年を迎える。 桑名の歴史を全国にアピールし、大河ドラマの誘致に繋げていく。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		25,189	21,092	4,097
財源内訳	国支出金	10,000	7,500	2,500
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	15,189	13,592	1,597
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　15,189千円

○ブランド推進事業の概要

（1）地方創生推進交付金事業

＜概要＞

住吉地区及び七里の渡し周辺におけるまちづくり推進

＜ねらい＞

当該エリアにおいてインフォメーションショップを作り、体験型の観光メニューを定着させることで、観光地としての魅力を向上させ、交流人口の増加につなげる。

＜令和２年度＞

七里の渡しインフォメーションショップの運営・マーケティング調査・コンシェルジュ研修・ブランドポータルサイトの構築

＜令和３年度の予定＞

インフォメーションショップの運営・ブランドポータルサイトの運営・ＡＲ桑名城の開発ほか

桑名ほんぱく（桑名本物力博覧会）

＜桑名ほんぱく概要＞

桑名ほんぱくとは、桑名本物力博覧会の略称で、地域の人や場所、素材など、その土地ならではの魅力を体験することができる小規模なプログラムを一定期間集中的に実施する取り組みです。地元の人々が自身の得意分野を活かして案内することで、まちの人々が主役になり、新たな連携が生まれ、プログラムを通じて、出会いと感動が生まれる取り組みである。

桑名ほんぱくは、平成 27 年度に岐阜市を中心として開催される「長良川おんぱく」と連携して「プレ桑名ほんぱく」として９プログラムを、平成 28 年度は市単独で「桑名ほんぱく」として初開催し、41 プログラムを実施し、29 年度は 57 プログラム、30 年度は 53 プログラム、令和元年度は 56 プログラム、令和 2 年度は 42 プログラムを企画した。

桑名ほんぱく 2020
公式ガイドブック

＜桑名ほんぱくのねらい＞

市外の方には、桑名に来ていただくきっかけとし、市内の方には、改めて桑名の魅力を知っていただく機会を提供するとともに発信する。プログラム参加者をはじめ、プログラムの企画運営に携わった人々の桑名に対するシビックプライドを高め、桑名のファンを増やしていく。

＜桑名ほんぱくの開催時期＞

9 月～12 月実施予定。

（2）忠勝プロジェクト

令和３年は忠勝入府 420 周年であり、桑名城・桑名城下町を築いた「慶長の町割」から 420 年を迎える。桑名の歴史を全国にアピールし、本多忠勝の大河ドラマ化に繋げていく。

＜令和３年度の予定＞

事業の周知やトークショーと講演会等の開催

令和3年度　事業概要書 【一般会計】

所属 ： ブランド推進課

事業名称	中事業 パブリックリレーション事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　企画費 大事業　ブランド推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	プロモーション活動	桑名ブランドの推進

事業目的

マスメディアに幅広く市の魅力を情報発信する等プロモーション活動を行い、紙面・テレビ番組等のメディアに露出させることで、市の認知度・イメージ向上を図る。

主な事業内容

〇首都圏パブリックリレーションズ業務　7,650千円
・PR会社が有するネットワーク・ノウハウ等を活用し、首都圏を拠点としたマスメディアに情報発信する。
〇桑名フィルムコミッション事業　3,610千円
・映画・ドラマ等の撮影誘致・支援を行うことで、地域活性化を図る。
〇サミエール展示事業　50千円
・近鉄賢島駅にあるサミット記念館「サミエール」において本市のPR展示を行う。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
＜令和2年度実施概要＞ 〇新作講談「長島軍記～伊勢長島一向一揆450年～」を制作、メディア現地取材、「Discover Japan」誌での特集 〇映画「クハナ！」上映会＆秦監督リモートトークショー（NTNシティホール　11月21日150人） 〇フィルムコミッション10年の軌跡展（六華苑番蔵棟　12月2日～27日） 〇「ファミリーヒストリー鶴田真由さん」(NHK総合)、WOWOW開局30周年記念連続ドラマ（WOWOW）、ドラマ10「ドリームチーム」(NHK総合)	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		11,310	12,405	▲ 1,095
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	10,943	11,943	▲ 1,000
	一般財源	367	462	▲ 95

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　10,943千円

パブリックリレーション事業費

（１）首都圏パブリックリレーションズ業務

メディアの中枢が集中する首都圏において、桑名市東京ＰＲ事務局を設置する。ＰＲ会社が有するネットワーク・ノウハウを活用し、首都圏メディアを対象にプロモーション活動を行う。メディア露出により市の魅力を幅広く発信し、認知度・イメージ向上を図る。

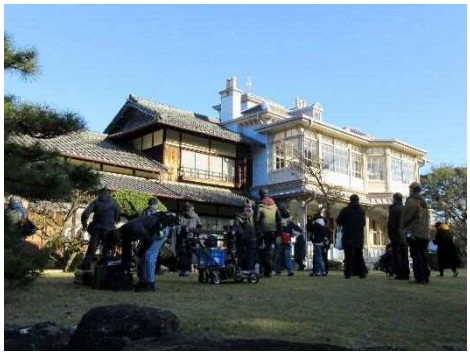
桑名の魅力を発信する「魅力みつけびと」として、小説家の柏井壽氏、ミュージシャンの Mummy-D 氏、文筆家の白洲信哉氏が就任。令和 2 年度には、新作講談「長島軍記～伊勢長島一向一揆 450 年～」を制作。メディア現地取材、「Discover Japan」誌での特集。

（２）桑名フィルムコミッション事業

映画・ドラマ・ＣＭなどのロケーション撮影の誘致・支援等による市の魅力発信、知名度向上や、撮影隊の宿泊・施設使用・食事等による経済活性化につなげる。

令和２年度設立 10 周年を迎え、上映会や展示会を開催した。

＜令和元年度の主な作品・活動＞
「所さんお届けモノです！」(TBS)
ドラマ 10「ハムラアキラ」(NHK 総合)
連続ドラマW「太陽は動かない」(WOWOW)
「ジャーニーズインジャパン」(NHK WORLD)



（写真：六華苑でのロケ地の様子）

＜令和２年度の主な作品・活動＞
「ファミリーヒストリー鶴田真由さん」(NHK 総合)
WOWOW 開局 30 周年記念連続ドラマ（WOWOW）
ドラマ 10「ドリームチーム」(NHK 総合)
〇設立 10 周年記念事業
映画「クハナ！」上映会＆秦監督リモートトークショー
フィルムコミッション 10 年の軌跡展

（写真：上映会&リモートトークショー）

令和3年度　事業概要書 【一般会計】

所属 ： ブランド推進課

事業名称	中事業 ふるさと応援寄附推進事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　企画費 大事業　ブランド推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	効率的・安定的な財政経営・カネ	新たな歳入確保の推進

事業目的

ふるさと応援寄附金の返礼品の充実により本市の魅力をPRし、本市に対する寄附意欲を高めることで、歳入の確保と市内事業者の収益向上による経済の活性化を図る。
また、市外の寄附者へ返礼品を贈ることで、本市及び特産品等の認知度を高め、ブランド力の向上につなげていく。

主な事業内容

寄附者に対し、本市の特産品や魅力を伝えられる記念品または本市のPRや来訪・交流につながる記念品等を返礼品として贈る。
※記念品は、市内事業者等から募集し提供していただく。提供に要する費用は市が負担する。
※寄附金は、ふるさと応援基金に積立て、翌年度以降、寄附者の希望する事業等に充当する。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・平成29年度：ふるさと納税申込サイト「ふるさとチョイス」に加え、「楽天市場」を開設 （株）トラストバンク主催のふるさとチョイス大感謝祭でのPR活動を実施（以降、毎年参加） ・平成30年度：ふるさと納税申込サイト「さとふる」開設、日本郵便（株）と連携した広告付年賀葉書の作成 ・令和元年度：ふるさと納税申込サイト「ふるなび」開設、総務省通知に基づく地場産品基準厳格化、消費税増税等に対応 ・令和2年度：ふるさと納税管理システムを更新 ・令和3年度：個別の事業を寄附目的として追加することを検討	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		273,396	196,918	76,478
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	273,396	150,000	123,396
	一般財源		46,918	▲ 46,918

令和3年度その他財源内訳	地域振興基金繰入金　210,000千円、ふるさと応援基金繰入金　63,396千円

○令和元年度寄附目的別一覧

	寄附目的	寄附件数	寄附金額(円)
1	中央集権型から全員参加型の市政に	3,629	67,778,000
2	命を守ることが最優先	3,093	52,522,000
3	こどもを3人育てられるまち	5,994	99,433,007
4	世界に向けて開かれたまち	414	7,388,000
5	地理的優位性を活かした元気なまち	655	10,804,000
6	桑名をまちごと『ブランド』に	1,492	29,610,000
7	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に	623	10,678,440
8	指定しない	8,897	147,306,000
合計		24,797	425,519,447

○令和元年度都道府県別寄附金額及び件数

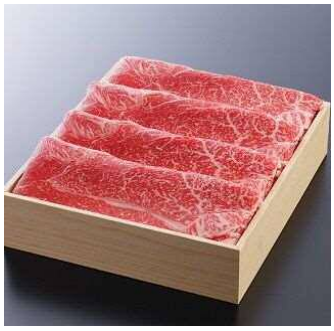
	都道府県	寄附件数	寄附金額(円)
①	東京都	5,773	91,541,000
②	愛知県	3,134	74,994,000
③	大阪府	2,364	43,144,000
④	神奈川県	2,356	34,954,000
⑤	兵庫県	1,285	20,691,000
⑥	三重県	895	19,058,000
⑦	埼玉県	1,165	17,409,000
⑧	千葉県	1,062	15,905,000
⑨	京都府	684	11,484,000
⑩	岐阜県	421	9,473,000

※11位以下省略

○桑名市ふるさと納税人気返礼品例

お米

こめ油



牛肉

○桑名市ふるさと納税のPR活動

開催名称:第6回ふるさとチョイス大感謝祭
開催日:2020年11月7日(土)・8日(日)
会場 :オンライン開催(ZOOM使用)
概要:市職員による市のPR 、寄附金の使い道の説明のほか、市内の4事業者に出演していただき、それぞれの事業者や商品のPRを行った。
初めてのオンラインイベントであったが、オンラインイベントならではの進行方法や表現方法を知ることができた点において、一定の効果があった。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　地域コミュニティ課

事業名称	中事業 地域コミュニティ推進事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　企画費 大事業　SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	中央集権型から全員参加型市政に	市民と行政のパートナーシップ	市民自治の推進および地域運営組織の形成

事業目的

地域運営組織（まちづくり協議会）の形成に向けた取組を促進し、桑名市総合計画に掲げる市民の個性が活かせる地域コミュニティを確立する。

主な事業内容

・令和3年4月からまちづくり協議会条例を施行し、地域運営組織と市との関係性を明確に位置付け、本格的な組織運営につながるよう側面的な支援を行う。
・まちづくり協議会設立調査準備補助金を延長、拡充し地域運営組織の立ち上げに向け財政支援を行う。
・地域住民及び職員に向けて講演会や研修会を開催し、意識の醸成とまちづくり活動の促進を図る。
・生活支援体制整備事業における「生活支援コーディネーター」に対し、地域福祉分野の知識とネットワークを持つ地区担当「コミュニティワーカー」として、包括的に地域運営組織の形成に向けた支援業務を委託する。
・制度設計および組織形成に係るアドバイザリー業務を外部有識者に委託する。

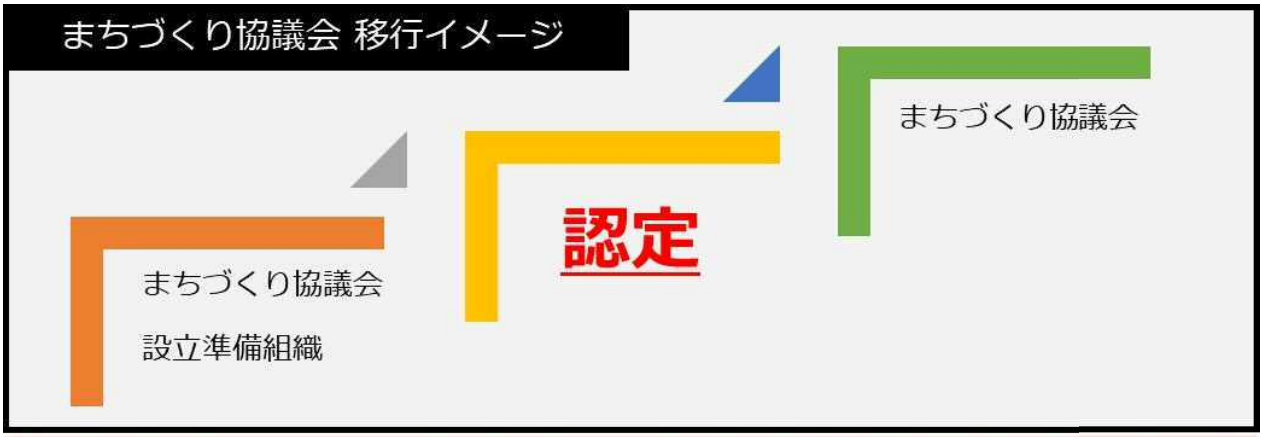
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和元年度 ・職員向け研修会、市民向けセミナーの開催 ・まちづくり協議会設立準備委員会等：14組織	R3	✓
令和2年度 ・職員向け研修会、地域担当職員研修会の開催 ・まちづくり協議会設立準備委員会等：18組織	R4	✓
・令和2年第4回市議会定例会にまちづくり協議会条例を提出し、議決 ・同条例施行規則及び、（仮称）まちづくり交付金規則を制定（予定）	R5	✓

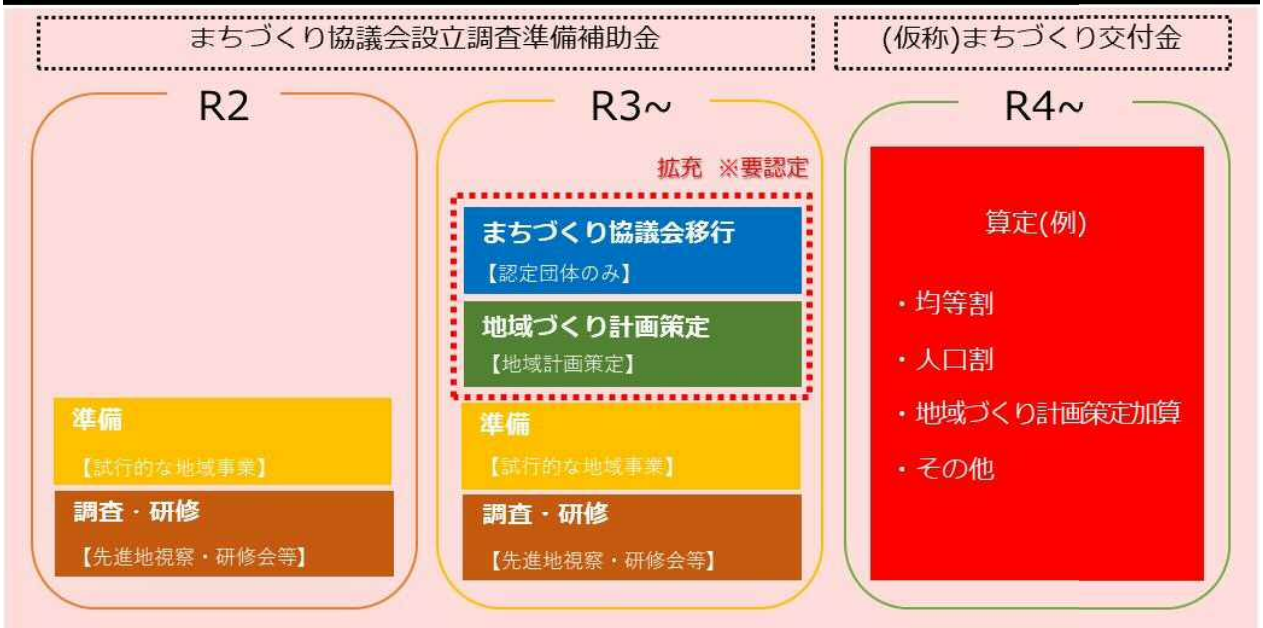
予　算　額　（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		16,899	16,900	▲ 1
財源内訳	国支出金	1,909	1,910	▲ 1
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	14,990	14,990	0
令和3年度その他財源内訳				

施策推進のスケジュール（案）

STEP	年度	主な取り組み
STEP1 職員・住民の 意識の醸成	平成28年度	意識の醸成（行政職員・地域住民）
	平成29年度	意識の醸成と関係条例の整備
	平成30年度	活動拠点、支援体制（人的支援、財政支援）の整備 『地域担当職員制』の導入 『総合支所の地区市民センター化、 地区市民センター・公民館をまちづくり拠点施設機能転換』
STEP2 地域の魅力探し 計画作成・組織設立	令和元年度 令和２年度 令和３年度	まちづくり協議会設立準備員会 地域の魅力探し・計画づくり・関係条例整備 『（仮称）まちづくり交付金』の創設 市内全地区のまちづくり協議会の設立
STEP3 取り組み開始 活動の展開	令和４年度 令和５年度 令和６年度	運営・実行体制の見直し 活動分野・範囲の拡大 地域内外への情報発信





地域づくり支援制度に係るアドバイザリー事業（施策推進に係る総合的な支

（１）
仕組みづくり支援業務

（２）
周知に係る支援業務

（３）
準備組織への助言業務

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　政策創造課

事業名称	中事業 次世代モビリティサービス推進事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　企画費 大事業　スマート自治体推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	その他

事業目的

少子高齢化・人口減少化社会の進展にともない、労働人口の減少や公共交通機関の運転手不足が懸念される一方で、高齢者の免許返納者の増加などによる公共交通へのニーズが高まると思われる。このような社会情勢の変化に対応するため、従来のシステムに代わる自動運転バスを軸とした新たな交通ネットワークの検討を行う。また、市民や来訪者の誰もが、既存の公共交通や新たな交通ネットワークにより快適な移動が選択できる、持続可能な公共交通を目指す。

主な事業内容

・有識者、地域住民、民間バス会社等で構成された次世代モビリティ社会実装研究会により、新たな交通ネットワークの実現可能性を研究する。 報償費233千円
・令和3年度は次世代モビリティを活用した実証実験を予定。 委託費等11,767千円
・持続可能な公共交通の確保・維持と快適な移動を目指しMaaSアプリ等の検討を進める。 委託費等13,000千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和元年　自動運転バス実証実験の実施。研究会の開催（1回） ・令和2年　自動運転バス実証実験の実施。研究会の開催（2回） ・令和3年　小型車両タイプによる次世代モビリティを活用した実証実験の実施予定 研究会を開催予定 MaaSアプリの導入に向けた実証実験を予定	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		25,000	8,069	16,931
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	25,000	8,069	16,931
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　25,000千円

自動運転バス

市民満足度調査結果

○前回調査と比較すると、特に公共交通分野において、施策の重要度が大幅に高まっているとともに、施策の満足度が低下している。

高齢化

○高齢化率は桑名市全体で26.34%（桑名市人口約14万人※令和2年3月末）

○全国的にバス運転者の高齢化も進んでおり、今後の運転手不足も懸念されている。

・桑名市中心市街地における交通ネットワークの機能強化

・地域の活性化促進

・地域住民の高齢化

・バス運転手の高齢化

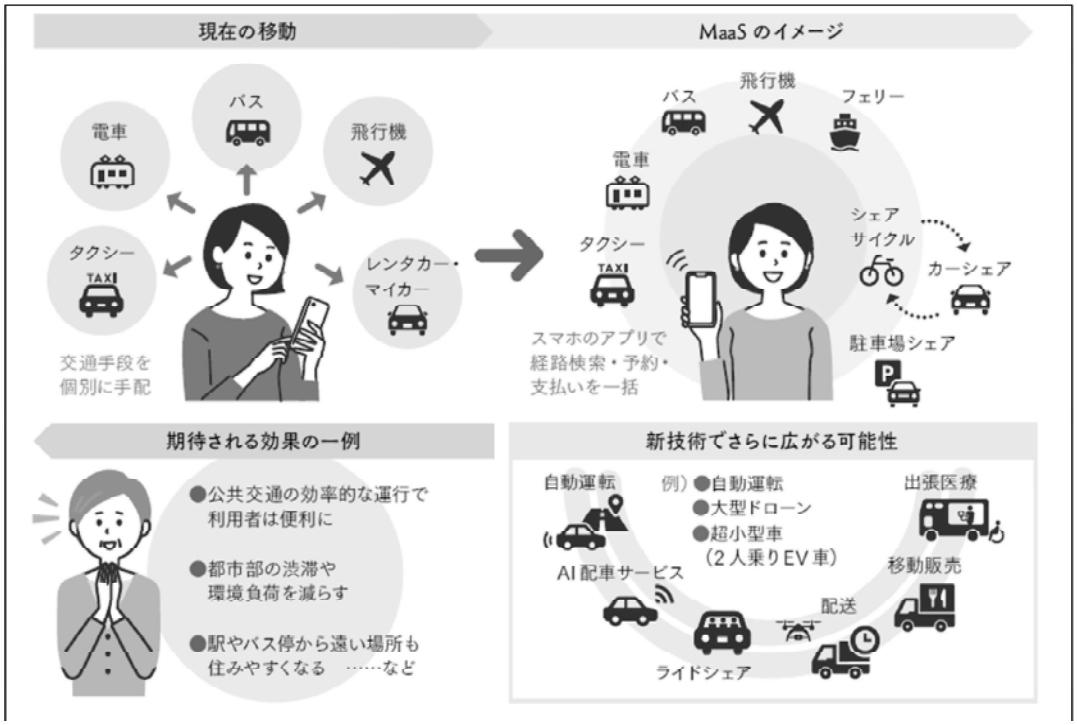
●従来のバスシステムに代わる新たな交通ネットワークの導入

●高齢者の外出誘導を図る

桑名市における自動運転の検討

ＭａａＳの推進

ＭａａＳ（Mobility as a Service）とは、出発地から目的地まで、ＩＣＴで全ての公共交通機関などの接続をスムーズにし、効率よく便利に移動できる新たな概念です。



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　政策創造課

事業名称	中事業 市民満足度調査事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　企画費 大事業 市民満足度調査事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	中央集権型から全員参加型市政に	市民と行政のパートナーシップ	その他

事業目的

市民の市政に対する満足度やニーズの変化を把握し、施策の企画立案及び実施に当たっての基礎資料とするため、総合計画の施策体系に沿った市民満足度調査を実施する。

主な事業内容

市民を対象としたアンケート調査を郵送での配布・回収により実施し、各種施策における項目ごとの集計や属性とのクロス集計を行い、市民の満足度・重要度やニーズについて、前回調査（平成30年度実施）との比較も踏まえ分析を行う。
・郵便料（538千円）
・調査業務委託料（1,892千円）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年4～5月　委託事業者選定 ・令和3年6～7月　アンケート調査票等の印刷、発送及び回収 ・令和3年8～9月　アンケートの集計及び分析 ・令和3年10月　　調査結果の公表	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		2,430		2,430
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	2,430		2,430
令和3年度その他財源内訳				

市民満足度調査事業

１．調査の概要

（１）実施時期：令和３年６月～７月頃実施予定

（２）調査対象者：桑名市在住の１５歳以上の市民3,５00人（無作為抽出）

（３）調査方法：アンケート調査票の郵送による配布及び回収

（４）調査項目：総合計画の施策体系に沿った各分野に関する設問45問
程度（選択式・自由記述）

（５）予定している集計及び分析
① 回答者の属性及び各設問の単純集計
② 回答者の属性 各設問間のクロス集計
③ 施策分野ごとの満足度及び重要度の分析

２．事業の実施

（１）実施方法：事業者への委託

（２）委託内容
① アンケート調査票、送付用封筒及び返信用封筒の印刷
② アンケートの集計及び分析
③ 集計及び分析結果を踏まえた、結果の説明や表・グラフ等から構成された報告書の作成

※参考：前回の調査実績
【平成30年度実施】
対象15歳以上、配布数3,500、有効回収数1,333、有効回収率38.1％

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　デジタル推進課

事業名称	中事業 AI等活用推進事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　情報推進費 大事業　DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	その他	その他

事業目的

業務の執行や各種手続等にAI等のICTを活用し、市民の利便性の向上と事務の効率化を図る。また、新型コロナウイルス感染症対策として、密の状態を避ける環境を整備する。

主な事業内容

・オンライン申請の推進　3,540千円
　スマートフォンやパソコン等からのオンライン申請の推進を図る。
・会議開催の効率化　1,089千円
　WEB会議や議事録作成システムの活用により、移動時間の有効活用や議事録作成の効率化を図る。
・テレワークの活用　773千円
　在宅勤務や分散勤務を行うための環境を整える。
・RPA及びAI-OCRの活用　9,312千円
　パソコン入力等の定型業務の効率化を図る。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
平成30年度：ICT活用事業検討、RPA及びAI-OCR検証 令和元年度：RPA及びAI-OCR本稼働 令和2年度：住民票の写し等のオンライン申請、窓口キャッシュレス化 AI議事録作成支援システム、テレワークシステム 令和3年度：オンライン申請の推進	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		14,714	7,304	7,410
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	14,714	7,304	7,410
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　14,714千円

AI 等活用推進事業費

○ オンライン申請の推進

利用者の利便性の向上と行政の効率化、また、新型コロナウイルス感染症対策として、職員自身が、比較的簡易な申請や申込み等の入力様式を作成することができるシステムを導入する等、オンライン申請のさらなる推進を図る。

・これまで、ハガキや電話等で申し込んでいた講座やイベント等について、自宅からスマホやパソコンを利用して申込みすることができる。
・職員が様式を作成することで、修正が必要な場合も迅速に対応できる。
・LINE やホームページとの連携により、多くの方に周知ができる。

○ 会議開催の効率化

WEB 会議の活用により、会場までの移動時間や設営時間に必要な時間を有効に利用することができる。また、IC レコーダーに録音した音声データを、システムを活用して文字に変換することで、効率的に議事録を作成する。

・会議、研修、打合せ等において広く WEB 会議が利用され、業務に定着してきている。
・AI(人工知能)技術を取り入れた音声認識システムを活用する。

○ テレワークの活用

在宅や出張先において、職場と同様の環境で作業を行うことができるテレワークシステムを運用する。在宅等で使用するパソコンにはデータを保存できない等、セキュリティー対策を講じる。

・在宅勤務の実施状況を検証し、有効な活用方法を検討する。
・新型コロナウイルス感染拡大等の緊急時に活用できるよう準備を行う。

○ RPA、AI-OCR の活用

RPA 及び AI-OCR を活用し、単純かつ定型的で業務量の多い業務を効率化することで、職員負担の軽減を図っていく。

・RPA 及び AI-OCR を活用した業務の拡充を図る。
・RPA を活用できる職員育成のための研修を開催する。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　政策創造課

事業名称	中事業 北勢線運営支援事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　交通対策費 大事業　ブランド推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	鉄道輸送の確保・維持

事業目的

市内外から人が集まり活発な交流が展開されるにぎわいと活力のある中心市街地の形成を図るとともに、朝夕の効率的な大量輸送によって交通渋滞の緩和と環境負荷を減らすために、基幹交通である鉄道輸送の維持、確保に取り組む。

主な事業内容

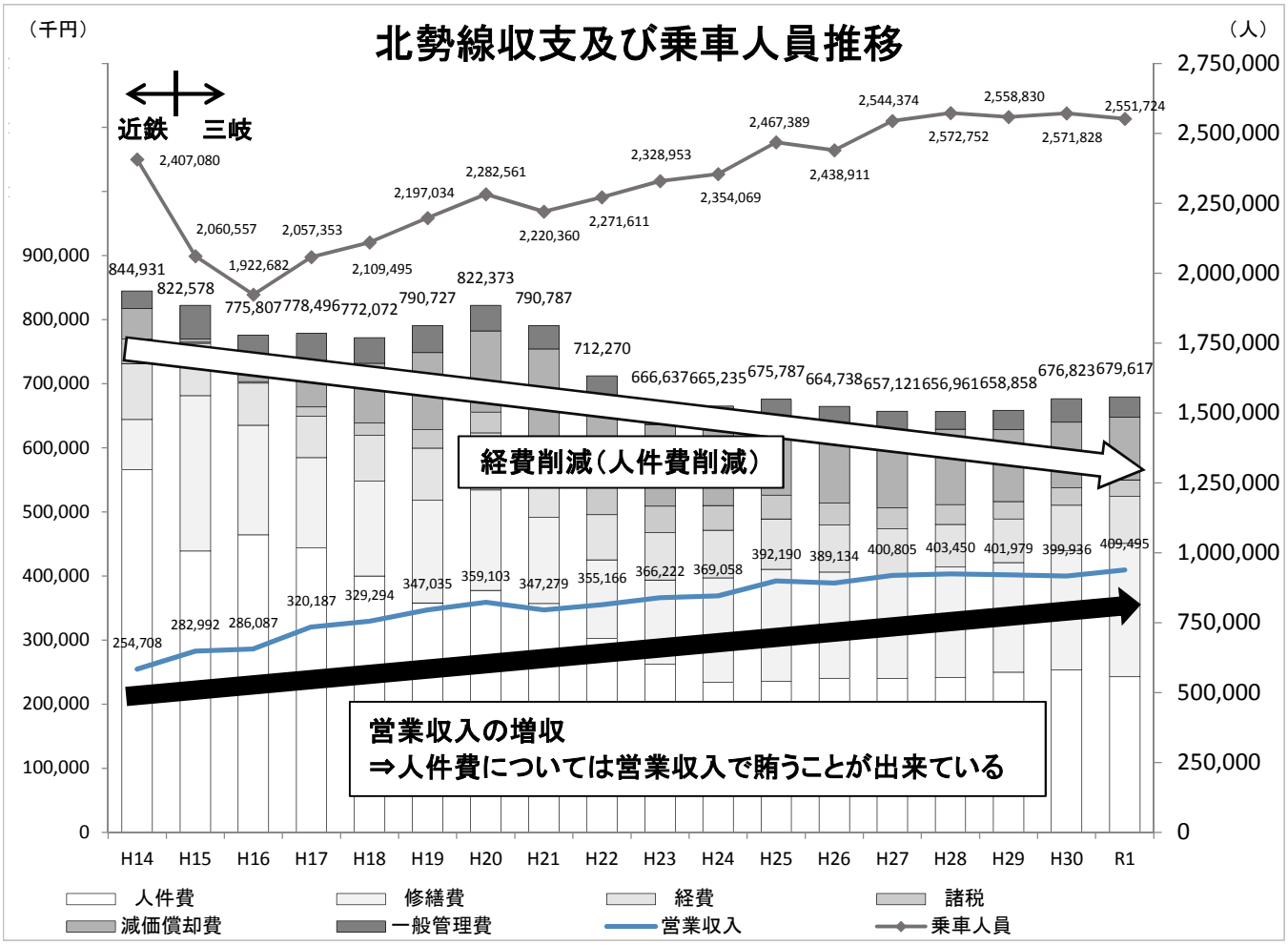
○北勢線を運営する三岐鉄道株式会社に対して運営費の補助を行う。
・運営支援補助金の交付　107,612千円（支援要請額100,166千円＋固定資産税概算額7,446千円）
・支援要請額の負担割合：桑名市47.35%　いなべ市32.95%　東員町19.70%
・駅舎、駐車場、駐輪場用地の維持管理等　7,744千円
蓮花寺駅：駅舎　駐車場（38台）　星川駅北：駅舎　駐車場（35台）　星川駅南：駐車場（33台）
・北勢線事業運営協議会負担金の交付　1,604千円（桑名市47.35%　いなべ市32.95%　東員町19.70%）
・利用促進イベントの運営協力
・光熱水費　214千円　・修繕料　100千円　・委託料　45千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
○令和元～3年度の3年間について、桑名市、いなべ市、東員町にて運営支援を行う。 ・令和3年度の支援額（沿線3市町合計） 231,950千円（支援要請額211,550千円＋固定資産税概要額20,400千円）	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		117,319	118,651	▲ 1,332
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	117,319	118,651	▲ 1,332
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　116,579千円、土地、その他貸付収入　740千円



北勢線の概要

1. 区間	西桑名～阿下喜	
2. 営業キロ	20.4km	
3. 駅数	13駅　無人駅:8駅　有人駅:5駅	
4. 車両数	24両　4両×3本　3両×4本	
5. 運転速度	最高速度　45km/h　　平均速度　27.2km	
6. 運転方法	ワンマン運転	
7. 列車運転間隔	時間帯	西桑名～阿下喜
	朝　ラッシュ時	15分
	昼間時	30分
	夕方　ラッシュ時	15分
	夜間時	30分
8. 沿線自治体	桑名市、いなべ市、東員町	

令和元～3年度の支援額

（千円）

年度	沿線市町 支援額合計	うち桑名市 支援額
令和元	233,900	108,243
令和2	232,875	107,909
令和3	231,950	107,612
合計	698,725	323,764

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　政策創造課

事業名称	中事業 コミュニティバス運行事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　交通対策費 大事業　公共交通対策費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	バス輸送の確保・維持

事業目的

超高齢社会を迎える中、車を利用できない方の買い物や通院、通学、今後運転できなくなる高齢者や増加傾向にある免許返納者の市民生活を支える交通環境を整えるために、より身近な移動手段であるバス輸送の維持、確保に取り組む。
また、平成30年度市民満足度調査における「重要度が高いが、満足度が低い」という結果を受けて、交通空白地の解消や多度地区・長島地区からの桑名地区への乗り入れ、交通結節点の更なる充実等、地域の実情に応じた運行をすることにより、市民満足度の向上を図る。

主な事業内容

〇コミュニティバス・デマンド乗合タクシーの運行を民間事業者に委託する。
・運行日：日曜日、12月29日～1月3日を除く毎日　145,699千円
・運賃：コミュニティバスは、1乗車100円（未就学児は無料）　デマンド乗合タクシーは、1乗車200円
・桑名地区・多度地区・長島地区にて運行（長島地区の一部にて、デマンド乗合タクシー）
・時刻表印刷　952千円
・公共交通利用促進ネットワーク見える化事業負担金　25千円
〇生活路線バスを維持する。 7,170千円
・桑名城南線
・運賃：三重交通の料金体系（180～340円）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・平成30年5月　桑名市総合医療センター乗入れに伴うルート変更 ・平成30年7月　長島地区デマンド乗合タクシー開始、日曜日運休開始	R3	✓
・令和2年2月10日　多度地区及び長島地区市民センターから桑名市役所本庁など桑名地区に乗り入れるルート変更、長島地区伊曽島（伊曽島バス停）から城南地区の立田町・太平町を通り、桑名市役所本庁などに乗り入れるルート変更	R4	✓
・令和2年10月16日　桑名駅西口乗り入れに伴うルート変更 ・令和3年3月22日（予定）　神馬の湯乗り入れに伴うルート変更	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		153,846	154,770	▲ 924
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	153,846	154,770	▲ 924

令和3年度その他財源内訳	

コミュニティバス運行事業費

【事業概要】

平成30年度に実施した市民満足度調査において、「公共交通は、重要度は高いが、満足度は低い」という結果であったことから、市で直ぐに取り組むことができるコミュニティバスについて、令和２年２月に路線の一部見直しを行った。

主な見直しは、「多度・長島地区から桑名市役所本庁および桑名市総合医療センターへの直接乗り入れ」、また「城南地区の一部（立田町、太平町）への既存南部ルートの延伸」である。

少子高齢化の進展に伴い、コミュニティバスの需要は益々高まることが予想されるため、今後も引き続き、市民ニーズに応じた見直しを継続的に実施する。また、令和２年２月に見直しを行ったコミュニティバスの一部路線について、利用者の意見を直接聞くなどしてしっかりと検証を行う。

通勤・通学、買い物、通院及び観光等、公共交通に対して利用者から求められるニーズも、それぞれ多様化しており、利便性の向上を図りながら運行形態を検討する。

○コミュニティバス

路　線：８路線（東部ルート、西部南ルート、西部北ルート、南部東ルート、南部西ルート、北部ルート、多度ルート、長島ルート）

運行日：日曜日及び12月29日～１月３日を除く毎日

運　賃：乗車１回100円（未就学児は無料）

○廃止代替バス（生活路線バス）

路　線：１路線（桑名城南線）

運行日：毎日

運　賃：三重交通の料金体系（180円～340円）

○デマンド乗合タクシー

ルート：１ルート（長島ルート）

時　間：午前７時30分　～　午前８時30分

運　賃：三重県タクシー協会運賃料金表の料金体系

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　政策創造課

事業名称	中事業 養老線運営支援事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　交通対策費 大事業　公共交通対策費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	公共交通	鉄道輸送の確保・維持

事業目的

内外から人が集まり活発な交流が展開されるにぎわいと活力のある中心市街地の形成を図るとともに、朝夕の効率的な大量輸送によって交通渋滞の緩和と環境負荷を減らすために、基幹交通である鉄道輸送の維持、確保に取り組む。

主な事業内容

・養老線地域公共交通再生協議会負担金　200千円
・養老鉄道活性化協議会分担金　5千円
・一般社団法人養老線管理機構負担金　115,307千円
・一般社団法人養老線管理機構補助金　7,086千円

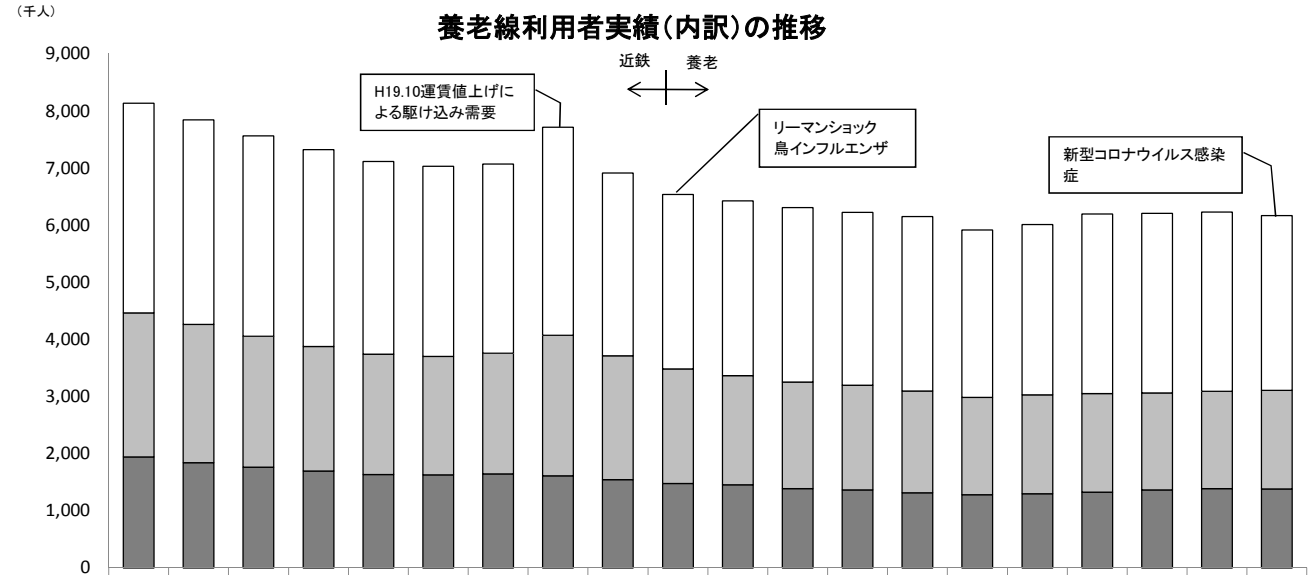
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
○新体制移行4年目 ・平成30年1月1日新体制に移行した。 （第2種鉄道事業者：養老鉄道株式会社、第3種鉄道事業者：一般社団法人養老線管理機構） ・平成29年度まで、養老鉄道株式会社に対する運営費補助を行った。平成30年度以降は、一般社団法人養老線管理機構の運営費等を沿線7市町にて負担し、養老鉄道株式会社に対する運営補助は行わない。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		123,071	118,143	4,928
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債	7,000		7,000
	その他	116,071	118,143	▲ 2,072
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　116,071千円

養老線利用者実績（内訳）の推移



	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
□通学定期	3,674	3,579	3,509	3,448	3,371	3,333	3,314	3,644	3,200	3,053	3,060	3,050	3,029	3,051	2,928	2,977	3,145	3,143	3,140	3,058
▨通勤定期	2,518	2,423	2,291	2,178	2,108	2,071	2,112	2,459	2,165	2,007	1,909	1,866	1,831	1,786	1,707	1,736	1,726	1,697	1,703	1,727
■定期外	1,945	1,842	1,766	1,699	1,634	1,630	1,646	1,614	1,547	1,477	1,455	1,391	1,367	1,313	1,280	1,296	1,327	1,368	1,388	1,382
合計	8,137	7,844	7,566	7,325	7,113	7,034	7,072	7,717	6,912	6,537	6,424	6,307	6,227	6,150	5,915	6,009	6,198	6,208	6,231	6,167

養老線の概要

1. 区間	桑名駅～揖斐駅		
2. 営業キロ	57.5km（単線）		
3. 駅数	27駅　無人駅：19駅　有人駅：8駅		
4. 車両数	33両（2両編成×6本、3両編成×7本）		
5. 運転速度	最高速度　65km/h　　平均速度　43.7km/h		
6. 運転方法	ワンマン運転		
7. 列車運転間隔	時間帯	桑名～大垣	大垣～揖斐
	朝 ラッシュ時	30分	20分
	昼間時	40分	40～50分
	夕方 ラッシュ時	40分	20分
	夜間時	40分	20～60分
8. 沿線自治体	大垣市、桑名市、海津市、養老町 神戸町、池田町、揖斐川町		

養老鉄道の新体制移行について

沿線市町・近鉄・養老鉄道は平成28年5月に新体制に移行することで合意した。新体制は、養老鉄道㈱が運行を担う第二種鉄道事業者となり、平成29年2月に沿線市町が設立した「一般社団法人 養老線管理機構」が鉄道施設等を保有し、施設の維持管理を行う第三種鉄道事業者となる。この新体制移行に必要な所定の手続きと、地域公共交通網形成計画の策定等を行い、新体制へ平成30年1月1日に移行した。

一般社団法人　養老線管理機構の概要

○代表者
　代表理事　大垣市副市長　広瀬幹雄
○主たる事務所
　岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
　大垣市役所　本庁舎　2階　交通政策課内
○事業
　鉄道事業法に基づく第三種鉄道事業及び付帯関連する一切の事業
○設立時社員
　7団体（大垣市・桑名市・海津市・養老町・神戸町・揖斐川町・池田町）

参考
第一種鉄道事業：線路を保有して運送を行うもの
第二種鉄道事業：他社の線路を利用して運送を行うもの
第三種鉄道事業：自らは運送を行わず他社に線路を提供するもの

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　地域コミュニティ課

事業名称	中事業 安全管理対策施設整備事業費	予算区分	款　総務費 項　総務管理費 目　まちづくり拠点施設費 大事業　施設整備費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	防災	防災対策および災害対策機能の強化

事業目的

地震等の安全管理対策として、まちづくり拠点施設の窓ガラスにガラス飛散防止フィルム施工工事を行い、利用者の安全確保とともに、避難所としての機能向上を図る。

主な事業内容

まちづくり拠点施設　窓ガラス飛散防止フィルム施工工事
（地域減災力強化推進補助金対象事業　補助率：50%）
施工場所：城南まちづくり拠点施設
事業費：2,094千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
平成25年度から始めて、これまでに13施設施工済 残りの7施設についても順次施工予定	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		2,094	1,925	169
財源内訳	国支出金			0
	県支出金	1,047	962	85
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	1,047	963	84

令和3年度その他財源内訳	

まちづくり拠点施設窓ガラス飛散防止フィルム等施工一覧

No.	名　称	所 在 地	開館年月	実施年度
1	日進公民館	新屋敷169番地	平成10年4月	平成25年度
2	立教公民館	内堀7番地	昭和61年4月	平成25年度
3	城東公民館 （城東地区複合施設内）	赤須賀86番地21	平成22年5月	平成25年度
4	益世公民館	馬道一丁目33番地3	平成7年4月	平成25年度
5	中央公民館	中央町三丁目44番地	昭和57年4月	平成26年度
6	精義公民館	中央町三丁目49番地	平成15年4月	平成26年度
7	修徳公民館	桑名628番地58	平成3年4月	平成26年度
8	長島公民館	長島町松ヶ島61番地3	昭和55年4月	平成27年度
9	大成公民館	東方2080番地18	平成12年4月	平成29年度
10	大和公民館	播磨734番地1	平成4年4月	平成29年度
11	大山田まちづくり拠点施設	大山田一丁目9番地	昭和57年4月	平成30年度
12	七和まちづくり拠点施設	芳ヶ崎1365番地1	昭和58年4月	令和元年度
13	深谷まちづくり拠点施設	下深谷部5180番地	昭和59年4月	令和2年度
14	城南まちづくり拠点施設	和泉667番地	昭和59年4月	令和3年度

※　施設の名称については、工事施工時点の名称を使用しております。

城南まちづくり拠点施設

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　ブランド推進課

事業名称	予算区分
中事業 音響設備改修事業費	款　総務費 項　総務管理費 目　市民会館費 大事業　施設維持補修費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	文化・スポーツ	文化芸術活動の推進

事業目的

市民会館を適正に管理し、市民がいつでも使用できる状態を維持する。

主な事業内容

リニューアル時（平成19年度）に未改修の音響設備が老朽化したこと及び電波法改正に伴いワイヤレス装置の更新が必要になったこと等により改修を行う。
※債務負担行為設定（令和2年度～令和3年度）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和2年度：発注及び機器製作　26,200,000円 令和3年度：現場施工及び完成　138,118,000円 契約額：164,318,000円	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		138,118	74,800	63,318
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債	124,600	67,500	57,100
	その他			0
	一般財源	13,518	7,300	6,218
令和3年度その他財源内訳				

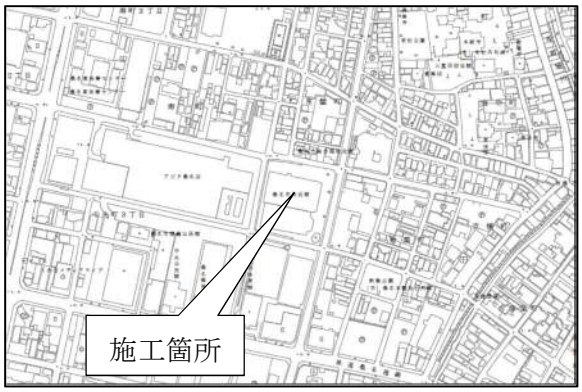
令和 3 年度　市民会館　音響設備改修事業費

大規模改修工事（音響設備改修・ITV設備改修・ワイヤレス装置改修等）

施設名	NTN シティホール
所在地	中央町
建設年	昭和 42 年
改築年（音響設備）	平成 12 年
構造	地上4階、地下1階
工事概要	音響設備改修等

外観写真

位置図



・電波法関連法令「無線設備の規則の改正」により現規格のワイヤレス装置が使用できなくなるため改修を行う。

　現規格：令和４年 11 月 30 日まで

　新規格：令和４年 12 月以降

・大ホールの音響設備の老朽化のため改修を行う。

・令和２年12月28日契約　164,318,000円

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　税務課

事業名称	中事業 家屋現況図作成・家屋特定調査事業費	予算区分	款　総務費 項　徴税費 目　賦課徴収費 大事業　賦課事務費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	効率的・安定的な財政経営・カネ	新たな歳入確保の推進

事業目的
土地現況図上に家屋外形図を落とし込み家屋現況図を作成する。この図を作成することにより、家屋が土地にどのような位置・形で建っているか把握できるため、課税情報と家屋現況図を照合して、差異について精査し、より正確な課税を行っていくことができる。 また、この図は被災家屋の把握や罹災証明の発行に不可欠の資料であり、国が推進している「罹災証明書発行手続きデジタル化」への一歩ともなる。

主な事業内容
・家屋外形図作成 ・地番現況図と家屋現況図を合成し、家屋管理番号を自動付番 ・桑名市現有資料と登録家屋を照合し、家屋管理番号を付番 ・机上調査、現地調査、評価漏れ・滅失漏れ家屋の精査、課税資料作成 委託事業費 29,108千円（全体事業費132,305千円／5年間×1.1） 需用費 156千円（ガソリン代及びコピー用紙代） ※債務負担行為設定（令和3年度～令和7年度）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年度：家屋現況図の作成、机上調査 令和4～7年度：現地調査、評価漏れ・滅失漏れ家屋の精査、課税資料作成、「課税についてのお知らせ」送付 令和8年度：課税	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		29,264		29,264
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	29,264		29,264

令和3年度その他財源内訳	

家屋現況図作成・家屋特定調査業務委託について

➢業務概要

市内全域の家屋現況図の作成、未評価家屋等の特定調査及び評価額算定を行い、適正な課税の確保に努める。また本業務により今後は被災時の迅速な家屋特定を行えることや未評価家屋等の抽出による公平・公正な課税を行えます。

➢業務内容

市内にある家屋等の家屋現況図を作成し、家屋台帳に登録してある事項（所在地・種類・面積等）と比較し、増改築や未調査による課税漏れ、または取り壊し等がある家屋を調査し、公正で適正な固定資産税の課税を行います。

・Ｒ３年度　　家屋現況素図の作成、資料収集整理
・Ｒ４年度　　家屋台帳との照合及び現地調査、家屋現況図の作成
・Ｒ５年度　　未評価家屋の特定調査、未評価家屋の評価額算定
・Ｒ６年度　　未評価家屋の特定調査、未評価家屋の評価額算定
・Ｒ７年度　　未評価家屋の特定調査、未評価家屋の評価額算定

➢委託事業費

事業計画期間　　５年
全体事業費　　145,536 千円
Ｒ３年度　　29,108 千円

➢未評価家屋の抽出及び課税

家屋台帳の登録件数　　91,049 棟
未評価家屋の抽出件数(想定)　6,000 棟
仮に未評価家屋１棟当たり固定資産税 4,000 円とすると
4,000 円×6,000 棟＝2,400 万円／年の適正な課税が見込まれる

➢課税時期

調査区ごとに未評価家屋の特定及び評価額の算定を行い課税していきます。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　福祉総務課

事業名称	中事業 福祉総合相談事業費	予算区分	款　民生費 項　社会福祉費 目　社会福祉総務費 大事業 SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	介護保険・高齢者福祉	地域包括ケアシステムの深化・推進

事業目的

介護・障害・子育て等、複雑化する福祉分野の相談を包括的に対応する。

主な事業内容

福祉なんでも相談センター（桑名地区、多度地区、長島地区）において地域包括支援センターの業務と介護・障害・子育て等、複雑化する福祉分野の相談に包括的に対応する福祉の総合相談事業を一体的に実施する。福祉関係の困りごとを解決するために必要な制度やサービス、手続等を紹介するほか、必要に応じて適切な関係部署や外部機関につなぎ、支援調整を行う。
＜事業費の内訳＞
・総事業費　29,398千円
・うち介護保険事業特別会計分　10,650千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・平成29年４月～　大山田地区に福祉なんでも相談センターを開設・運営 ・令和2年8月～　多度地区、長島地区に福祉なんでも相談センターを増設	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		３年度当初	２年度当初	増減額
計		18,748	19,485	▲ 737
財源内訳	国支出金	11,250	11,250	0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	7,498	8,235	▲ 737
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　7,498千円

福祉総合相談事業

≪福祉なんでも相談センターの概要≫

名称	担当	住所	開所日時
福祉なんでも相談センター	桑名地区	大山田１－７－４ （大山田コミュニティプラザ１階）	火～日曜日、９時～17 時 （月曜日が祝日の場合は開所）
多度福祉なんでも相談センター	多度地区	多度１－１－１ （多度すこやかセンター1 階）	月～金曜日（祝日除く） ８時 30 分～17 時 15 分
長島福祉なんでも相談センター	長島地区	長島町松ヶ島 66 （長島デイサービスセンター２階）	月～金曜日（祝日除く） ８時 30 分～17 時 15 分

≪業務内容≫

① 福祉総合相談事業

相談支援、情報提供、連携・調整、相談支援包括化ネットワークの構築等

② 桑名市北部西地域包括支援センター業務

介護予防支援、介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務等

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　福祉総務課

事業名称	中事業 多世代共生型施設整備事業費	予算区分	款　民生費 項　社会福祉費 目　社会福祉施設費 大事業 SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	中央集権型から全員参加型市政に	地域福祉	地域をつなげる場づくり

事業目的

高齢者・障害者・子ども等に対して、通所や入所、相談等を包括的に提供する多世代共生型施設の整備を、事業予定地である（仮称）堂ヶ峰公園の整備と一体的に実施する。また、公園内に（仮称）地域交流スペースを整備する。

主な事業内容

多世代共生型施設の整備に当たっては、既存事業の民営化と合わせた建て替え（施設の複合化・多機能化）を公民連携の手法により進める。
令和元年度にプロポーザルによって決定した事業者へ公園整備工事等を委託し、また、（社福）桑名市社会福祉協議会に対し、基準に従って社会福祉施設等整備費補助金を交付する。
公園整備・敷地造成工事等、社会福祉施設等整備費補助金
・工事等委託　414,856千円
・社会福祉施設等整備費補助金　281,166千円
・建築確認申請手数料等　759千円
・地域交流スペース備品等　3,891千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和元年度：実施事業者の選定、基本協定締結 ・令和2年度：公園及び事業予定地開発の設計等 ・令和3年度：事業予定地の開発、公園の整備、民間への事業移管、事業者による多世代共生型施設の整備 ・令和4年度：供用開始	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		700,672	37,114	663,558
財源内訳	国支出金	150,345		150,345
	県支出金			0
	地方債	506,600	29,400	477,200
	その他			0
	一般財源	43,727	7,714	36,013

令和3年度その他財源内訳	

多世代共生型施設整備事業

≪事業内容≫

①既存事業の民営化

施設の現在地（江場）で事業者が既存事業を運営

清風園 （養護老人ホーム）	**療育センター** （児童発達支援事業所）	**山崎乳児保育所** （保育所）	**山崎苑** （母子生活支援施設）

②多世代共生型施設の整備・運営

整備予定である（仮称）堂ヶ峰公園内に事業者が多世代共生型施設を整備

・養護老人ホーム　・児童発達支援事業所
・保育所　・母子生活支援施設
＋ **事業者提案による福祉事業・機能**

③公園の整備

多世代共生型施設と（仮称）堂ヶ峰公園を一体的に整備

配置計画（現段階）

※配置計画は現段階のものであり、確定したものではありません。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　子ども未来課

事　業 名　称	中事業 学童保育所整備事業費	予　算 区　分	款　民生費 項　児童福祉費 目　児童福祉総務費 大事業 放課後児童対策事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	子どもの安全な居場所づくりの推進

事　業　目　的

学童保育所の需要は年々増加傾向にあり、現在の設置場所では受け入れが困難になりつつある場所が生じている。児童の受入数確保を図るため、公共施設を有効活用した学童保育所の移転整備を、優先順位を付けて順次検討を行っており、令和3年度については旧桑部幼稚園舎を改修し、学童保育所として整備する。

主　な　事　業　内　容

現在、土地、建物を賃借契約している桑部学童保育所は、児童数の増加や借家の耐震問題等により、令和4年度以降の受け入れが困難な状況になりつつあるため、学童保育所の移転を進める。移転先については、公共施設を有効活用するため、桑部小学校の敷地内にある旧桑部幼稚園舎を改修し、学童保育所として整備する。
・空調設置工事、床クッションフロア施工、トイレ改修工事等
〇事業費内訳
・工事請負費　9,737千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
学童保育所の設立推移と今後 ・平成30年度：28施設、大山田東学童保育所を学校敷地内へ移転、益世学童保育所の旧幼稚園舎への移転整備 ・令和元年度：30施設、益世学童保育所を旧幼稚園舎へ移転、日進学童保育所を旧日進幼稚園舎へ移転 ・令和2年度：長島北部学童保育所を小学校余裕教室へ移転整備 ・令和3年度：桑部学童保育所を旧幼稚園舎へ移転整備 ・令和4年度以降：優先順位を付け、公共施設を活用した学童保育所の移転を継続的検討	R3	✓
	R4	✓
	R5	

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		３年度当初	２年度当初	増減額
計		9,737	3,784	5,953
財源内訳	国支出金	3,245	833	2,412
	県支出金	3,245	833	2,412
	地方債			0
	その他	3,247	2,118	1,129
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　3,247千円

桑名市の学童保育所一覧

No.	クラブ名	設置学校区	運営	設置形態	設立年度	元年度実績（人）	2年度4月（人）
1	ひまわり学童クラブ	日進	保護者会	公設民営	平成10年度	25	26
2	児童クラブ くわなっ子	日進	社会福祉法人	民設民営	平成15年度	20	25
3	学童保育所シルバーなかよし	立教	個人	民設民営	平成24年度	15	19
4	学童保育所たんぽぽ学童クラブ	益世	保護者会	公設民営	昭和60年度	51	36
5	学童保育所　たんぽぽ学童クラブⅡ	益世	保護者会	公設民営	令和2年度	－	32
6	学童保育所ウイング	修徳	個人	民設民営	平成14年度	36	40
7	学童ブルーバード	修徳	個人	民設民営	令和元年度	20	17
8	大成学童保育所日の本クラブ	大成	社会福祉法人	民設民営	平成24年度	30	37
9	大成学童保育所　日の本クラブ②	大成	社会福祉法人	民設民営	令和2年度	－	13
10	大成第2学童保育所日の本クラブ	大成	社会福祉法人	民設民営	平成28年度	34	44
11	桑部学童保育所日の本クラブ	桑部	社会福祉法人	民設民営	平成26年度	14	19
12	在良学童保育所日の本クラブ	在良	社会福祉法人	民設民営	平成26年度	26	34
13	七和学童クラブ	七和	個人	民設民営	平成12年度	40	32
14	七和学童クラブ第2	七和	個人	民設民営	令和2年度	－	13
15	久米学童保育所「げんき」	久米	地区社協	公設民営	平成15年度	37	41
16	放課後サークル　みえちゃん家	城南	個人	民設民営	平成17年度	43	44
17	大和学童保育所　あおぞら	大和	保護者会	公設民営	平成25年度	23	23
18	大山田東学童保育所　じゃんぼ	大山田東	保護者会	公設民営	平成21年度	41	37
19	大山田東学童保育所　じゃんぼⅡ	大山田東	保護者会	公設民営	平成24年度	41	37
20	大山田東学童保育所　じゃんぼⅢ	大山田東	保護者会	公設民営	平成30年度	41	37
21	大山田東学童保育所　じゃんぼⅣ	大山田東	保護者会	公設民営	令和2年度	－	30
22	大山田学童保育所　日の本クラブ	大山田北	社会福祉法人	公設民営	昭和60年度	26	17
23	大山田西学童保育所　日の本クラブ	大山田西	社会福祉法人	公設民営	平成29年度	26	71
24	大山田南学童保育所　日の本クラブ①	大山田南	社会福祉法人	公設民営	平成19年度	49	55
25	大山田南学童保育所　日の本クラブ②	大山田南	社会福祉法人	公設民営	令和元年度	28	46
26	児童クラブ パンの木	藤が丘	社会福祉法人	民設民営	平成8年度	29	30
27	星見ヶ丘学童保育所　太陽の子	星見ヶ丘	保護者会	公設民営	平成12年度	35	31
28	多度学童保育所　うりんこ	多度中	社会福祉法人	民設民営	平成20年度	41	40
29	多度第2学童保育所日の本クラブ	多度中	社会福祉法人	民設民営	平成26年度	20	40
30	学童保育所ほっぷ	長島北部	保護者会	民設民営	平成28年度	12	18
31	長島中部学童保育所　レインボー	長島中部	保護者会	公設民営	平成17年度	47	54
32	放課後児童クラブレインボー駅前	長島中部	保護者会	公設民営	平成24年度	22	25
33	学童保育所どんぐり	長島中部	個人	民設民営	平成17年度	41	40
34	放課後児童クラブ　はなまる学童保育所	伊曽島	社会福祉法人	民設民営	平成27年度	23	24
計						936	1,127

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　子ども未来課

事業名称	中事業 待機児童対策事業費補助金	予算区分	款　民生費 項　児童福祉費 目　児童福祉総務費 大事業　私立保育園運営費補助金

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	就学前の教育・保育の充実

事業目的

待機児童対策として、低年齢児や障害児の受け入れに必要な保育士人件費補助等を行い、低年齢等の園児受け入れを促す。

主な事業内容

補助事業名
①低年齢児保育量拡大補助金　②障害児加配保育士等人件費補助金
③アレルギー除去食対応補助金

補助内容
①0歳児、1歳児を預かる保育士の人件費補助　②障害児を保育するための人件費補助
③市が認定したアレルギー児を対応するための人件費補助

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
当該補助金により、保育需要の高い0歳児、1歳児の受け入れ及び障害児の受け入れを促し、待機児童の抑制につながっている。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		90,746	85,726	5,020
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	90,746	85726	5,020
令和3年度その他財源内訳				

令和3年度　待機児童対策事業費補助金　内訳

補助金名称	低年齢児保育量拡大補助金 基本分	低年齢児保育量拡大補助金 加算分		障害児加配保育士等 人件費補助金	アレルギー除去食対応 補助金
内容	0・1歳児クラス担当の保育士人件費を補助し、受入れ拡大を図る。	市内の受入0歳児の実績に応じて補助する。	市内の受入1歳児の実績に応じて補助する。	障害児（3歳児クラス～）を保育するための加配保育士人件費補助。障害児受入れ拡大を図る。	市が認定したアレルギー児を対応するための補助。アレルギー児受入れ拡大を図る。
単位 ・適用条件	単位 1保育所/年額 適用条件 0・1歳児の利用定員があり、0・1歳児を保育するために常勤職員を雇用した保育所を対象とする。 0・1歳児を担当する保育士を1名に対し、公定価格の保育士人件費（令和2年度は約4,000,000円）と実支給額のどちらか少ない方の金額の上限1,000,000円まで補助。 ※ただし受入月齢を4か月（健診後）までに設定している保育施設については上限2,000,000円とする。	単位 1児童/月額 適用条件 0歳児在籍数 ×19,000円（20,000円） ×12か月 0歳児1人につき月額19,000円補助。（ただし受入月齢を4か月（健診後）までに設定している保育施設については月額20,000円とする。）	単位 1児童/月額 適用条件 1歳児在籍数×4,000円×12か月 1歳児1人につき月額4,000円補助。	単位 1保育士/月額 適用条件 公定価格の保育士人件費（令和2年度は約4,000,000円）と実支給額のどちらか少ない方の金額の上限2,000,000円まで補助。 4,000,000円×1/2÷12か月×在籍月 ※千円未満端数切捨て 市が私立保育園からの要請により観察保育を行い、加配の必要性を認定。	単位 1保育所/月額 適用条件 桑名市食物アレルギーマニュアルに沿って市が認定。 卵・小麦・乳・大豆のうち、ランク2以上の児童がいること。
補助金 算出根拠	受入月齢を4か月（健診後）までに設定している保育園 養泉寺・西川第二・長寿・たど・ゆい・ひまわり 6園×2,000,000円 ＝12,000,000円 受入月齢を5か月以上に設定している保育園 あけぼの・桑部・久米・希望ヶ丘・桑部第二・　風の丘・七和・和泉・大山田東・大山田北・西川・安永・はな・くわな・山崎乳児 15園×1,000,000円 ＝15,000,000円	0歳児年間 20,000円×月平均40人×12か月 ＝9,600,000 19,000円×月平均59人×12か月 ＝13,452,000円	1歳児年間 4,000円×月平均313人×12か月=15,024,000円	公定価格の保育士人件費 令和2年度は（約4,000,000円）の1/2補助。当該児童の在籍月数による。 安永・和泉・ゆい・大山田北・新規分 10名×2,000,000円 ＝20,000,000円	1/3補助（890円×6時間勤務×13日）×12か月×1/3）≒270,000 ＝対象児在籍月額22,500円 22,500円×12月×21園 ＝5,670,000円
補助金額（円）	27,000,000	23,052,000	15,024,000	20,000,000	5,670,000

合計

90,746,000　円

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　子ども未来課

事　業 名　称	中事業 私立保育園整備補助金	予　算 区　分	款　民生費 項　児童福祉費 目　児童福祉総務費 大事業　民間社会福祉施設等整備助成事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	就学前の教育・保育の充実

事　業　目　的

待機児童対策として、私立保育園の新規整備等に対し厚生労働省の補助メニューである保育所等整備交付金事業に沿って補助事業を行う。

主　な　事　業　内　容

私立保育園の施設整備補助を行う。
※負担割合（施設改修　国1／2　市1／4　事業者1／4、施設整備　国2／3　市1／12　事業者1／4）
〇補助対象者
・社会福祉法人　町屋福祉会　・社会福祉法人　アパティア福祉会
〇事業内容
厚生労働省の補助メニューである保育所等整備交付金事業に沿って補助事業を行う。
事業により保育の供給量を確保し、待機児童を出さない保育環境を整備する。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
＜スケジュール＞ ・令和4年2月：完成予定 ・令和4年4月：開園予定	R3	✓
	R4	
	R5	

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		260,670	171,219	89,451
財源内訳	国　支　出　金	219,857	152,195	67,662
	県　支　出　金			0
	地　　方　　債			0
	そ　　の　　他	40,813		40,813
	一　般　財　源		19,024	▲ 19,024

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　40,813千円

私立保育園整備補助金

２．保育の受け皿整備　　**７６７億円**　　**（７６７億円）**

令和３年度以降の保育の受け皿確保については、必要な者に適切な保育が提供されるよう、第２期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の結果等を踏まえ令和３年度予算編成過程において検討する。

（１）**保育所等整備交付金【拡充】**６３８億円（６３８億円）　(P35参照)

市区町村が策定する整備計画等に基づき、保育所、認定こども園及び小規模保育事業所に係る施設整備事業及び保育所等の防音壁設置の実施に要する経費に充てるため、市区町村に交付金を交付する。

また、子育て安心プランにおける補助率の嵩上げ等について、引き続き実施するとともに、「防災・減災、国土強靱化のための３か年緊急対策」後も、引き続き、国土強靱化基本計画の目標に向けて、保育所等の耐震化を推進するため、耐震化を実施する場合の補助基準額を引上げる。

【対象事業】	・保育所整備事業　・認定こども園整備事業（幼稚園型）　・小規模保育整備事業 ・防音壁整備事業　・防犯対策強化整備事業
【実施主体】	市区町村
【設置主体】	社会福祉法人、日本赤十字社、公益社団法人、公益財団法人、学校法人等 （保育所及び認定こども園については公立を除く）
【補助割合】	国：１／２、市区町村：１／４、設置主体：１／４

令和３年度 保育関係予算概算要求の概要

厚生労働省子ども家庭局保育課　より

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　子育て支援課

事業名称	中事業 子どもの安全見守り支援事業費	予算区分	款　民生費 項　児童福祉費 目　児童福祉総務費 大事業　児童健全育成総合相談事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	安心して子どもを産み育てられる環境の整備

事業目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い国が発出した「子どもの見守り強化アクションプラン」に基づき、市内の子ども食堂が要支援家庭等に対して、宅食等を通して子どもの見守りを行うとともに、要支援世帯の支援を行う。

主な事業内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者の在宅勤務及び外出自粛の増加等により、児童虐待のリスクが増加するとともに、子どもの様子を確認する機会が減少している。
そのため、市内の子ども食堂が実施する宅食、フードパントリー業務等を通して、要支援世帯の支援を行い、子どもの見守りを強化する。

（事業費内訳）　委託料　1,969千円

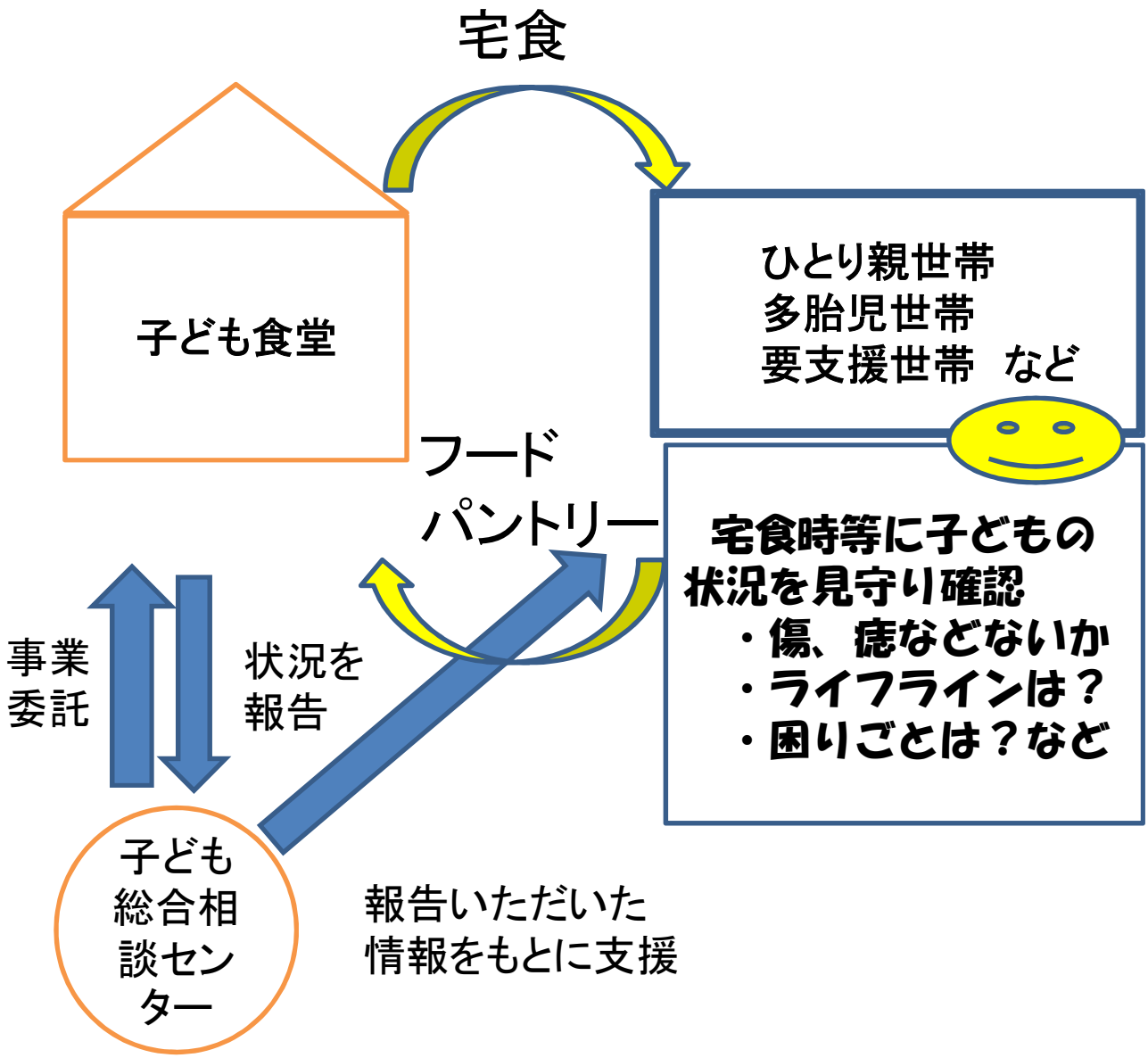
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年4月　事業の委託及び事業実施計画書の提出 ・毎月　事業実施結果の提出、必要に応じて支援会議の開催	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		1,969		1,969
財源内訳	国支出金	1,969		1,969
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	

事業の概要



子ども食堂が実施する宅食、フードパントリー時に、子どもの状況を見守り確認。
気になる状況があれば、子ども総合相談センターへ報告していただき、同センターが生活困窮者支援窓口等関係機関と連携して支援する。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　子育て支援課

事業名称	中事業 養育支援訪問(育児・家事援助)事業費	予算区分	款　民生費 項　児童福祉費 目　児童福祉総務費 大事業　児童健全育成総合相談事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	安心して子どもを産み育てられる環境の整備

事業目的

育児ストレス、産後うつ等により、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や、ひとり親世帯、多子世帯等様々な理由で養育に支援が必要な家庭に対して、ヘルパー等専門職員が家庭を訪問し、育児・家事の援助を行うことにより、育児負担の軽減を図り、児童虐待の未然防止を行うことを目的とする。

主な事業内容

・プロポーザル方式により選定した委託事業者に所属するヘルパー等専門職員が、家庭を訪問し、育児・家事の援助を行う。
・訪問家庭は、事前に行う会議において選定した一定の要件を満たす世帯を対象とする。
・訪問記録を毎月子ども総合相談センターへ提出するとともに、必要に応じて、委託事業者、子ども総合相談センター、子育て支援課母子保健係が参加するケース会議を開催し、三者が連携を密にして世帯への支援を行う。

＜事業費内訳＞
委託料　2,100千円
需用費(消耗品費)　10千円

事業進捗状況(予定)等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年4月　プロポーザル方式による委託事業者の選定 ・令和3年5月　委託事業者との契約締結、実施計画書の提出、訪問事業の開始 ・毎月　委託事業者から訪問記録提出 (県内他市町の状況) 当該事業は、県内17市町で実施。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位:千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		2,110		2,110
財源内訳	国支出金	703		703
	県支出金	703		703
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	704		704

令和3年度その他財源内訳	

養育支援訪問事業実施要綱 （抜粋）

１ 事業の目的

乳児家庭全戸訪問事業等により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童若しくは保護者に監護させることが不適当であると認められる児童及びその保護者又は出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦に対し、その養育が適切に行われるよう、当該居宅において、養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行うことを目的とする。（児童福祉法（昭和２２年法律第１６４号）第６条の３第５項に規定される事業。）

（省略）

３ 事業の内容

対象家庭を訪問し、以下の内容を実施する。

（１） 妊娠期からの継続的な支援を特に必要とする家庭等に対する安定した妊娠出産・育児を迎えるための相談・支援。

（２） 出産後間もない時期（概ね１年程度）の養育者に対する育児不安の解消や養育技術の提供等のための相談・支援。

（３） 不適切な養育状態にある家庭など、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭に対する養育環境の維持・改善や児童の発達保障等のための相談・支援。

（４） 児童養護施設等の退所又は里親委託の終了により児童が復帰した後の家庭に対して家庭復帰が適切に行われるための相談・支援。

４ 実施方法

（１） 支援の対象

本事業の支援対象は、乳児家庭全戸訪問事業の実施その他により市町村長が訪問による養育支援が必要であると認めた、次に掲げるような状態にある家庭（里親家庭及び小規模住居型児童養育事業を含む。）を対象とする。

ア 妊娠や子育てに不安を持ち、支援を希望する家庭。

イ 若年の妊婦、妊婦健康診査未受診及び望まない妊娠等、妊娠期からの継続的な支援を特に必要とする家庭。

ウ 出産後間もない時期（概ね１年程度）の養育者が、育児ストレス、産後うつ状態、育児ノイローゼ等の問題によって、子育てに対して強い不安や孤立感等を抱える家庭。

エ 食事、衣服、生活環境等について、不適切な養育状態にある家庭等、虐待のおそれやそのリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭。

オ 公的な支援につながっていない児童（乳幼児健康診査等の谷間にある児童、３歳～５歳児で保育所、幼稚園等に通っていない児童）のいる支援を必要とする家庭。

カ 児童養護施設等の退所又は里親委託の終了により、児童が復帰した後の家庭。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　子育て支援課

事　業 名　称	中事業 医療的ケア児地域生活支援事業費	予　算 区　分	款　民生費 項　児童福祉費 目　児童福祉総務費 大事業 SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	安心して子どもを産み育てられる環境の整備

事　業　目　的

医療的ケア児が増加する中、在宅での育児は、保護者に過重な負担がかかる場合があり、レスパイトを求める声も多い。
そのため、医療機関においてショートステイまたは入院した際に、保護者に代わり、付き添い介助を行う者を派遣することで、医療的ケア児の保護者のレスパイトを図り、在宅生活を支援する。

主　な　事　業　内　容

以下のすべての要件を満たした場合に、保護者に代わる付き添い介助者を派遣する。
（1）市内に居住する一定の要件を満たした医療的ケア児が、市内の医療機関に入院した場合
（2）保護者の付き添いが不可能な場合もしくは保護者にレスパイトが必要な場合

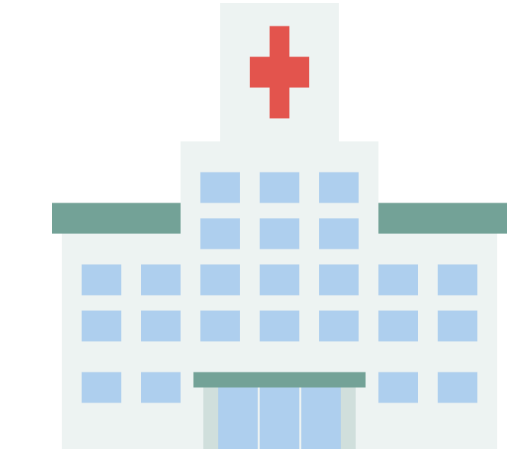
＜事業費内訳＞
・報償費（介助者派遣報償費）　2,310千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年4～6月　介助代行事業者登録 ・令和3年7月　事業開始	R3	✓
※類似事例　久留米市　医療的ケア短期入所支援給付事業 介護保険事業所にてレスパイト目的の短期入所を実施（福祉型短期入所サービス費に、看護師配置分などを上乗せ補助）重症心身障害児・者在宅レスパイト事業自宅に訪問看護事業所から看護師を派遣	R4	✓
	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		2,310		2,310
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金			0
	地　　方　　債			0
	そ　　の　　他			0
	一　般　財　源	2,310		2,310
令和3年度その他財源内訳				

医療的ケア児地域生活支援事業



医療機関（医療型短期入所事業所）

ショートステイ
または
レスパイト入院

医療的ケア児

申請

付き添い人
派遣

ヘルパー事業所等

付き添い人
派遣依頼

子ども総合相談センター

医療的ケア児および保護者のレスパイトのため、医療機関（医療型短期入所事業所）において、ショートステイまたはレスパイト入院を行う際に、保護者に代わって付き添いを行うヘルパー等を派遣する。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　子育て支援課

事業名称	中事業 児童虐待防止システム改修（転出入対策）事業費	予算区分	款　民生費 項　児童福祉費 目　児童福祉総務費 大事業　SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	安心して子どもを産み育てられる環境の整備

事業目的

児童虐待通報が増加かつ複雑化する中、より効果的な防止対策を推進するため、要保護・要支援児童世帯のデータの共有を図るための児童相談システムのバージョンアップを行う。

主な事業内容

住民基本台帳システムと児童相談システムとのネットワーク連携を行い、要保護世帯等の転出入情報が把握しやすくなることで、他市町村との連携の隙間を無くすようにする。また、システムサーバーをデジタル推進課で管理することにより、セキュリティが強化され、情報漏洩のリスクを低減させる。

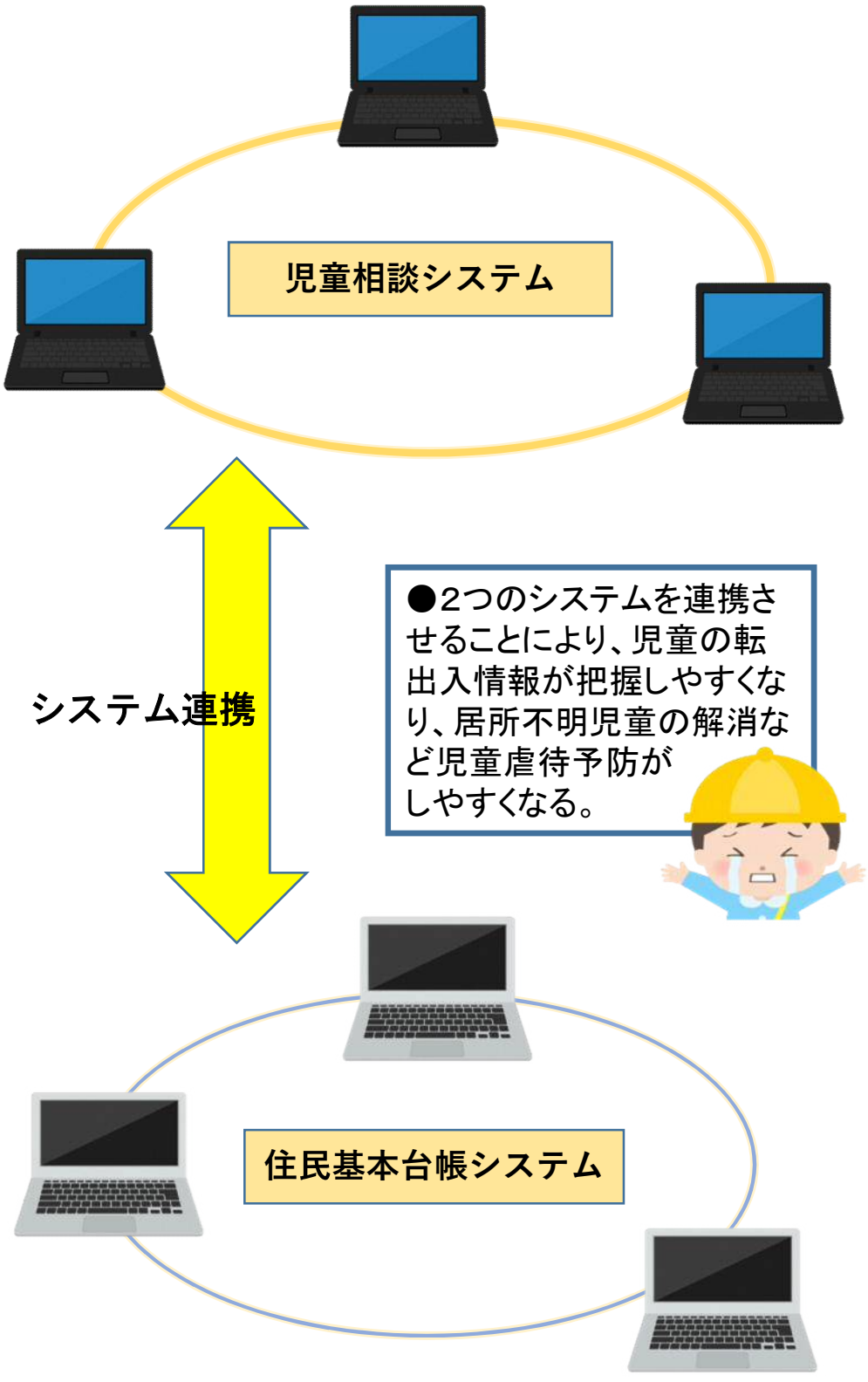
＜事業費内訳＞
・委託料　　4,510千円
・備品購入費　2,724千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年4～5月　システム改修の打合せ ・令和3年6月　システム改修及び機器の入れ替え	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		7,234		7,234
財源内訳	国支出金	2,362		2,362
	県支出金	1,000		1,000
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	3,872		3,872
令和3年度その他財源内訳				

児童虐待防止システム改修（転出入対策）事業



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　子ども未来課

事業名称	中事業 保育オンライン申請強化事業費	予算区分	款　民生費 項　児童福祉費 目　児童福祉総務費 大事業　DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	就学前の教育・保育の充実

事業目的

保育業務に係るオンライン申請について強化を行う。

主な事業内容

○現況届　初期支援
保育所(園)において、年に一度、現況を確認するための届出について、オンライン申請システムを構築する。
対象者：約2,300件

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年4月・・・オンラインによる現況確認書提出メニューの構築 令和3年5月・・・現況確認書提出メニューを一般公開	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		880		880
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	880		880
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　880千円

保育オンライン申請強化事業費

桑名市では新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、令和３年４月保育所入所申請について、桑名市ＬＩＮＥ公式アカウントより申請書等の写真（画像）を送信し、申込受付を行う方法を導入しました。

導入の結果、 保育所入所申請一次募集においてはその利用は42.8%に上り、来庁による申請を半数近く減らすことができました。

この結果を受け、今後は保育に係る以下業務についてもオンライン申請を拡充し、更なる密対策の強化を行います。

■拡充する業務

子ども・子育て支援法第22条に基づく現況確認。保育を必要とする事由や状況（例：現在も就労しているか等）に引き続き該当していることを確認する。

【従　前】　保護者は、桑名市役所や保育施設へ現況確認書等の紙媒体を提出

↓

【拡充後】　保護者は自宅に居ながら、桑名市ＬＩＮＥ公式アカウントより現況確認書等の写真（画像）を送信して提出

■対象者

保育施設を利用している方※　（令和元年度実績　約2,300件）

※　桑名市の認可保育所（園）・認定こども園・地域型保育（小規模保育事業）を利用している全ての方（直近に入所（園）した方や今後退所(園)予定の方も含む）を指す。

■実施予定時期

令和３年５月頃

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　子ども未来課

事業名称	予算区分
中事業 IoT保育管理事業費	款　民生費 項　児童福祉費 目　保育所費 大事業　DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	就学前の教育・保育の充実

事業目的

ICT情報通信技術導入後の2か所の保育所を、現場の保育士と共に検証し、事務軽減を図る。

主な事業内容

■ICTシステム
〇導入している保育所
桑陽保育所・長島中部保育所（措置人員が多い2か所）に導入したICTシステムの検証、現場保育士の意見に基づく改善・効率化を行う。
＜主な歳出＞・情報連携関連消耗品　60千円　・通信運搬費　74千円　・ICTシステム賃借料　1,320千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
■ICTシステム 令和2年4月～　ICTシステム稼働	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		1,454	1,617	▲ 163
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	1,454	1,617	▲ 163
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　1,454千円

総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

ICT利活用の促進

我が国が抱える様々な課題（地域経済の活性化、社会保障費の増大、大規模災害対策等）に対応するため、社会の様々な分野（農林水産業、地方創生、観光、医療、教育、防災、サイバーセキュリティ等）におけるICTの効果的な利活用が不可欠です。総務省では、各分野でのICT利活用を促進するため、例えば以下のような様々な施策を展開しております。

IoT、データ活用

IoT/ビッグデータ時代に対応し、多様な分野でのIoT導入による生産性向上・利便性向上を実現するため、幅広い関係者が連携してIoT機器・システムを実証するためのテストベッド（実用環境を模擬した試験用設備）を整備するとともに、データの利用ルールに関する検討を行うなど、革新的なIoTサービスの創出を推進しています。また、データを活用した新事業・新サービスの創出等に向け、オープンデータの利活用推進等に取り組んでいます。

ICTシステム導入の概要

登園管理

ＩＣカード及びタッチパネルによる打刻により、登園/降園時刻を記録し、業務を効率化させる。

保育日誌等の作成

保育日誌・指導案・報告書等の書類について、システムを活用することで作成時間を短縮する。

事務作業の軽減により、保育に関する業務時間を増やすとともに質を向上させる。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　子ども未来課

事業名称	中事業 家庭での食育推進とパパママ家事時短事業費	予算区分	款　民生費 項　児童福祉費 目　保育所費 大事業 SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	子育て家庭への支援サービスの充実

事業目的

保育所に通う子ども達が、食に対しての知識・興味を持ち、望ましい食習慣の定着や食を通じた豊かな人間性、心身の健全育成を図る観点から、食の提供を通して、食育の実践・推進を図る。また、帰宅が遅くなる保護者の買い物時間や夕食の準備時間を短縮することで、家事の負担を軽減する。

主な事業内容

○家庭での食育の推進及び保護者の家事の時間を軽減するため、調理員が改めてテイクアウト用の総菜を調理し、保護者に予約制で提供する。
①提供時間　17時30分～18時45分（予約制）
②参加費　1パックあたり200円（レシピを配布し、作る楽しさ、食べることの楽しさを伝える。）
③実施場所　延長・長時間保育の利用者が多い厚生館保育所・桑陽保育所・長島中部保育所で実施し、予約状況等を踏まえながら、食育推進及び家事時短支援の充実を図っていく。
＜主な歳出＞・消耗品費等　342千円　・調理業務委託料　666千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
＜事業スケジュール＞ ・令和2年度より実施。保護者に事業アンケートを実施し、メニューの検討を行う。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		1,008	1,008	0
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	1,008	1,008	0
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	食育PR事業保護者負担金　768千円、公立保育所延長保育負担金　240千円

家庭での食育推進とパパママ家事時短事業

1、　目的

保育所に通う子ども達が、食に対しての知識・興味を持ち、望ましい食習慣の定着や食を通じた豊かな人間性、心身の健全育成を図る観点から、食の提供を通して、食育の実践・推進を図る。また、帰宅が遅くなる保護者の買い物時間や夕食の準備時間を短縮することで、家事の負担を軽減する。

2、　実施場所

厚生館保育所、桑陽保育所、長島中部保育所

3、　実施時期

４月から３月まで月１回程度
尚、夏季期間（６月～９月）中の事業は、休止の予定

4、　提供時間

１７時３０分から１８時４５分

5、　参加費

１パックあたり２００円

6、　メニュー

豚汁、しぐれごはん、かぼちゃのそぼろ煮など

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　保健医療課

事業名称	中事業 病院事業運営費負担金	予算区分	款　衛生費 項　保健衛生費 目　保健衛生総務費 大事業（地独)桑名市総合医療センター経費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	救急医療体制の整備および充実

事業目的

地方独立行政法人である桑名市総合医療センターが実施する高度医療、救急医療、小児医療等の病院事業運営経費の一部について、設立団体である市が負担することにより、桑名市総合医療センターの経営の適正化を図り、市民への医療提供体制の向上につなげる。

主な事業内容

地方独立行政法人法第85条に基づき、地方独立行政法人の高度医療、救急医療、小児医療等の事業経費の一部を市が負担することによって、桑名市総合医療センターの事業経費のうち、その性質上、事業の経営に伴う収入を充てることが適当でない経費等について、設立団体が負担する。
令和2年度普通交付税算入分573,621千円　令和元年度特別交付税算入分60,944千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
平成21年10月1日に桑名市民病院が地方独立行政法人となり、市が示した中期目標に基づき中期計画、年度計画を作成し、より効率的な経営を行うとともに病院運営の充実に取り組んでいるところであり、病院事業運営費負担金により、効果的な病院運営の推進が図られる。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位:千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		634,565	520,310	114,255
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	634,565	520,310	114,255

令和3年度その他財源内訳	

○病院事業運営費負担金

①運営費負担金（普通交付税基準財政需要額算入分）

市町村立病院病床数	算入額(A)　（千円） 402,066
救急告示病院数	算入額(B)　（千円） 32,900
救急告示病床数	算入額(C)　（千円） 11,879
病院事業債に係る元利償還金	算入額(D)　（千円） 126,776
小計①【(A)+(B)+(C)+(D)】	573,621

②運営費負担金（特別交付税算入分）

小児医療専用病床・周産期医療病床数分	負担額(E)　（千円） 54,995
院内保育所分	負担額(F)　（千円） 5,949
小計③【(E)+(F)】	60,944

③合計

小計①+小計②	634,565

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　保健医療課

事　業 名　称	中事業 骨髄移植ドナー助成事業費	予　算 区　分	款　衛生費 項　保健衛生費 目　保健衛生総務費 大事業 SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	その他	その他

事　業　目　的

SDGsの理念に基づき、血液難病等で骨髄移植を必要とする人の命を守るため、骨髄または末梢血幹細胞を提供した者及びその者を雇用する事業者に対し助成金を交付することにより、提供に伴う負担を軽減し、提供しやすい環境づくりと骨髄バンクドナー登録者数の増加を図る。

主　な　事　業　内　容

①骨髄等提供者への助成
対象：桑名市に住所を有し、日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄等の提供を完了した人
金額：2万円×通院、入院日数（1回の提供で10万円を上限とする）

②雇用事業者への助成
対象：市内に本店または主たる事業所を有する事業者で、骨髄等提供者を、骨髄等の提供が完了した日から引き続いて雇用している事業者
金額：1万円×通院、入院日数（1回の提供で5万円を上限とする）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年4月　桑名市骨髄移植ドナー支援事業助成金交付要綱の制定 市広報、市ホームページ等で周知 随時　骨髄等提供者及び雇用事業者からの申請を受け付け、助成金を交付 令和3年12月　県へ補助申請（三重県骨髄等移植ドナー助成制度） 令和4年3月　県へ実績報告補助金請求 令和4年4月　県から補助金振込 県内では、名張市、松阪市、四日市市、伊勢市、津市、鈴鹿市で実施している。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		150		150
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金	50		50
	地　　方　　債			0
	そ　　の　　他			0
	一　般　財　源	100		100

令和3年度その他財源内訳	

骨髄移植ドナー助成事業

◆目的

SDGsの理念に基づき、血液難病等で骨髄移植を必要とする人の命を守るため、骨髄または末梢血幹細胞を提供した者及びその者を雇用する事業者に対し助成金を交付することにより、提供に伴う負担を軽減し、提供しやすい環境づくりと骨髄バンクドナー登録者数の増加を図る。

◆対象者と助成額

①骨髄等提供者　　2万円×通院、入院日数　(1回の提供で 10 万円を上限とする)

桑名市に住所を有し、日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄等の提供を完了した人

②雇用事業者への助成　1万円×通院、入院日数　(1回の提供で5万円を上限とする)

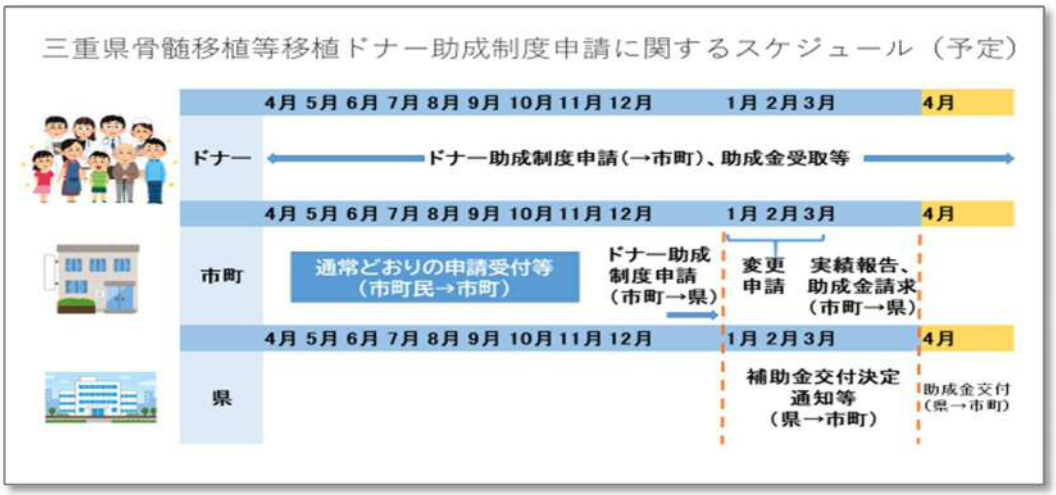
市内に本店または主たる事業所を有する事業者で、①の骨髄等提供者を、骨髄等の提供が完了した日から引き続いて雇用している事業者

◆三重県骨髄等移植ドナー助成制度

三重県では、骨髄等移植の推進を目的に、市町がドナーに助成する経費の一部を助成し、助成制度未実施の市町に対して制度化しやすい環境の支援を行うため、令和2年度から導入。

市町が助成を行う場合、県がその経費の1/2(1件につき上限7万円)を補助する。

※ただし、事業者への助成は対象外となる。



◆県内の状況

導入年度		①骨髄等提供者への助成金	②雇用事業者への助成金
平成 25 年度	名張市 松阪市	2万円/日(上限 14 万円)	1万円/日(上限7万円)
平成 26 年度	四日市市	10万円/1回の提供	5万円/1回の提供
平成 27 年度	伊勢市	10万円/1回の提供	5万円/1回の提供
	津市	2万円/日(上限 14 万円)	1万円/日(上限7万円)
令和　2 年度	鈴鹿市	2万円/日(上限 10 万円)	1万円/日(上限5万円)

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　子育て支援課

事業名称	中事業 骨髄移植患者等再接種助成事業費	予算区分	款　衛生費 項　保健衛生費 目　予防費 大事業 SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	子ども・子育て支援	安心して子どもを産み育てられる環境の整備

事業目的

小児白血病の臍帯血移植や骨髄移植等（造血幹細胞移植）を行った場合、移植前に接種した定期予防接種の免疫が消失するため、医師から受け直しを推奨された事例もある。現行では、再接種は定期接種とならないため全額自己負担となっていることから、この費用を助成し、経済的負担を軽減する。

主な事業内容

骨髄移植等の医療行為により免疫を消失された方に対する再接種に係る費用を補助する。
・再接種が必要とする医師の証明書と領収書を添付した申請書を提出する償還払いとする。
・予算額　　予防接種A類全項目　1～2名分　　298,000円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年4月1日から実施 （県内他市町の状況） 三重県四日市市において平成29年4月1日から実施	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		298		298
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	298		298
令和3年度その他財源内訳				

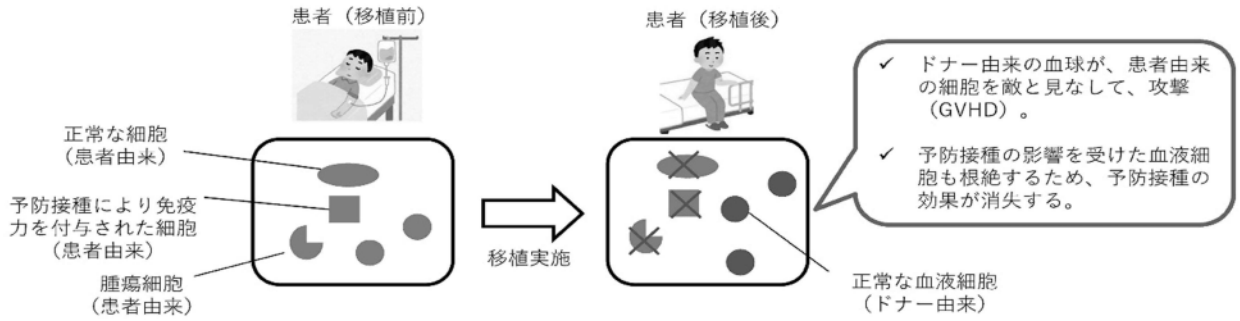
造血幹細胞移植による患者への副次的な影響

○　造血幹細胞移植により、患者の体内に元々存在する、移植前に受けた予防接種により免疫を付与された血液細胞は消失し、ドナー由来の新たな血液細胞が産生される。このため、移植後に予防接種を行い、新たな血液細胞に免疫を付与する必要性は高い。

- 造血幹細胞移植により、重症の感染症や、ドナー由来の正常血液細胞が患者由来の正常組織（皮膚・腸など）を　傷害する病態（GVHD）等の合併症が生じる恐れある。

（予防接種への影響）

- 予防接種は、病原体の一部を人為的に体内に入れることで、血液細胞に免疫力を付与する医療技術。
- 患者が造血幹細胞移植を受けると、患者の体内にあった血液細胞はすべて消失する。
- 移植された造血幹細胞由来の血液細胞は免疫力を持っていない。
- 予防接種で免疫能を付与しないと、感染のリスクが高い状態が継続する。



2

骨髄移植等の医療行為により免疫を消失された方への支援状況

○　平成30年７月、全国の市区町村において、骨髄移植等の医療行為により免疫を消失された方に対する再接種への支援の実施状況等について調査を実施し、第24回予防接種基本方針部会（平成30年10月31日開催）において公表している。

○　免疫を消失した方に対する再接種に対する何らかの助成事業を行っている自治体は89（5.1%）であった。

調査概要

- 全国1,741の市区町村に宛てて、骨髄移植等の医療行為により免疫を消失された方に対する再接種への支援の実施状況等(平成30年７月1日時点)について、調査を依頼した。
- 平成30年７月18日に調査を依頼し、全1,741自治体から回答を得た。（回収率100%）
- 骨髄移植等の医療行為により免疫を消失された方に対する再接種に対する何らかの助成事業を行っている自治体は89（全自治体の5.1%）あり、うち27自治体（助成事業を行っている自治体の30.3%）では、費用の全額を補助していた。
- また、現在実施していない1,652自治体のうち、今後何らかの助成事業を実施予定としたのは83自治体（全自治体の5.0%）であり、実施を検討している自治体は238（全自治体の14.4%）であった。

第37回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会
「造血幹細胞移植後の接種について」（令和2年1月27日）より抜粋

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　保健医療課

事業名称	中事業 PCR検体採取事業費	予算区分	款　衛生費 項　保健衛生費 目　応急診療所費 大事業　施設管理運営費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	地域医療体制の整備および充実

事業目的
桑名保健所、桑名医師会と協力してPCR検査の検体採取体制を確保することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による医療供給体制の崩壊を予防する。

主な事業内容
新型コロナウイルス感染症のPCR検査の検体採取場所として、桑名市応急診療所を閉所時に提供することにより、PCR検査体制を確保し、地域の医療機関の負担軽減を図る。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
PCR検査の実施により、市内医療機関の負担軽減と一般患者の感染リスクの低減が図られている。	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		5,649		5,649
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	5,649		5,649
	一般財源			0

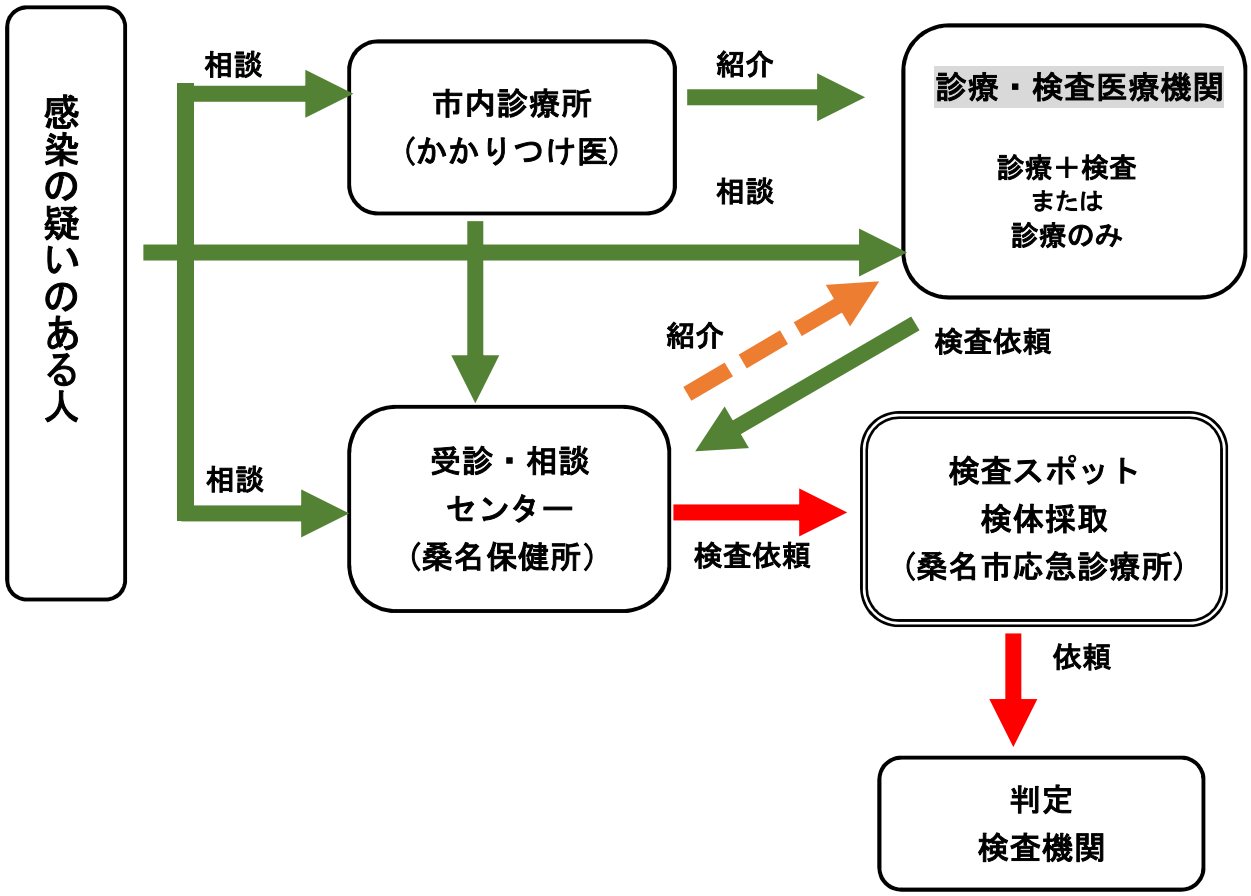
令和3年度その他財源内訳	応急診療所収入　5,649千円

ＰＣＲ検体採取事業費

【概要】

桑名市応急診療所の休診時に、新型コロナウィルス感染症検査の検体採取を行う検査スポットとして桑名市応急診療所を提供し、医師会、保健所、市が一体となってＰＣＲ検査の検体採取体制の確保を行い、地域の医療機関の負担軽減を図る。

【現在の検査体制】



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　廃棄物対策課

事業名称	中事業 埋立最終処分場環境整備事業費	予算区分	款　衛生費 項　清掃費 目　塵芥処理費 大事業 東汰上埋立最終処分場等事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	環境・廃棄物対策	廃棄物の適正な処理

事業目的

桑名市一般廃棄物埋立最終処分場計画書に基づき、埋立最終処分場の外周に擁壁を設置することで、周辺の道路及び田畑への土砂等の流出等の危険性を排除し、安全で適正な施設管理を継続する。

主な事業内容

・埋立最終処分場擁壁設置工事設計業務委託
・埋立最終処分場擁壁設置工事
令和3年度から令和6年度までの4か年で実施

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年度 埋立最終処分場擁壁設置工事設計業務委託　6,137千円 埋立最終処分場擁壁設置工事(第一工区)　70,216千円	R3	✓
令和4年度 埋立最終処分場擁壁設置工事(第二工区)　76,353千円	R4	✓
令和5年度 埋立最終処分場擁壁設置工事(第三工区)　76,353千円	R5	✓
令和6年度 埋立最終処分場擁壁設置工事(第四工区)　76,353千円		

予算額（単位：千円）

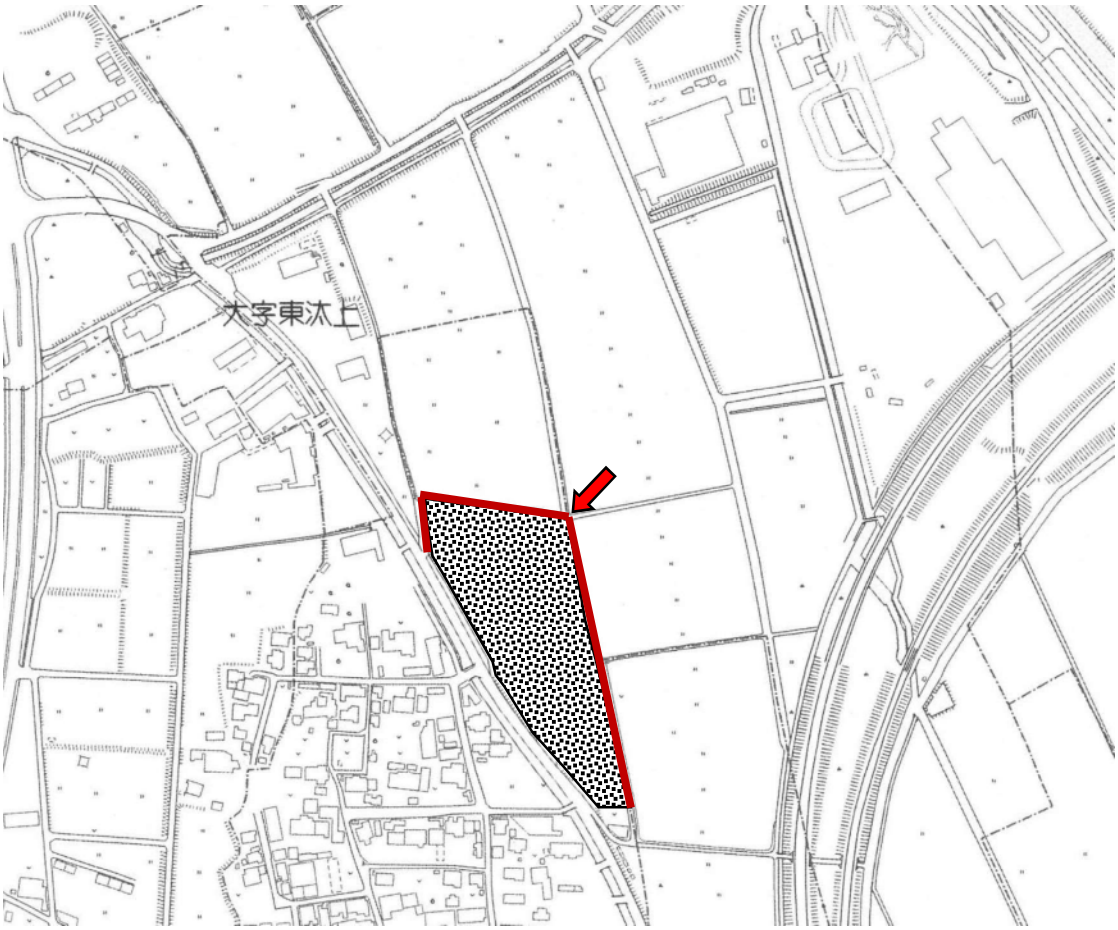
事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		76,353	19,670	56,683
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	76,353		76,353
	一般財源		19,670	▲ 19,670

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　76,353千円

施工場所

桑名市一般廃棄物埋立最終処分場（桑名市大字東汰上598番地）

位置図



現況

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　商工課

事業名称	中事業 移住支援事業補助金	予算区分	款　労働費 項　労働諸費 目　労働諸費 大事業　雇用安定事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	工業	中小企業の振興と競争力向上

事業目的

三重県と共同で作成した地域再生計画に基づき、移住にかかる経費の負担軽減を図ることで、桑名市内における移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消を図る。

主な事業内容

三重県が行う移住・支援マッチング支援事業を活用するなど、東京圏から移住して就業しようとする者・テレワーカー・専門人材が転居・就業・定着に至った場合に、移住支援補助金を給付する。

＜移住支援金額＞
単身世帯　　60万円（県支出金45万円）
2人以上の世帯　100万円（県支出金75万円）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和元年　県によるマッチングサイト掲載企業募集開始 　　県によるマッチングサイト運用開始 ・令和2年　移住支援補助金支給 ・令和3年　支給対象要件拡大	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		2,000	2,000	0
財源内訳	国支出金			0
	県支出金	1,500	1,500	0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	500	500	0
令和3年度その他財源内訳				

移住支援事業補助金

【趣旨】

・三重県と共同して行う移住・就業マッチング支援事業を活用するなど、東京圏から桑名市に「移住・就業」する場合に加えて、「テレワーカー」「専門人材」など、東京圏からの移住者を対象に、予算範囲内において移住支援補助金を交付する。

【目的】

・東京圏への過度な一極集中の是正
・地域の中小企業等における人手不足解消
・地域への移住支援

【制度概要】

≪マッチング支援事業を活用する場合≫
・三重県の作成するマッチングサイトに県内企業が登録し掲載
↓
・サイトを見た東京圏の対象者が、桑名市内に事業所のある企業へ就業決定
↓
・転入・就業から3カ月経過後、対象者から市へ給付請求
↓
・対象者へ支給

【支援対象者】

・住民票を移す直前の10年間のうち、通算５年以上、東京23区内に在住又は東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内へ通勤していたこと。かつ住民票を移す直前に、連続して１年以上、東京23区内に在住又は通勤していたこと。

≪R3.4.1～支給対象要件拡大≫
・テレワーカーの対象化・・・東京圏在住の会社員が本人の意思により地方へ移住し、引き続き業務をテレワークで実施する場合について対象化。
・通学期間の対象化・・・東京23区内の大学等へ通学し、23区内の企業へ就職した者については、通学期間も本事業の移住元としての対象期間に加算可能に。
・専門人材の対象化・・・移住元要件を満たす者が、プロフェッショナル人材事業等を活用し、地域企業へ就業する場合について対象化。

【補助金額】

・単身での移住の場合： 60万円（県負担：45万円）
・世帯での移住の場合：100万円（県負担：75万円）

【財源】

県：４分の３
市：４分の１

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　農林水産課

事　業 名　称	中事業 有害鳥獣等対策事業費	予　算 区　分	款　農林水産業費 項　農林水産業費 目　農林水産業振興費 大事業 農業振興費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	農林業	有害鳥獣対策の推進および強化

事　業　目　的

地域と協働した追い払いや、狩猟免許所持者による捕獲・駆除を行う事で、野生獣による農作物の被害軽減を図る。

主　な　事　業　内　容

〇野生獣等による農作物の被害防止活動として、追払いや捕獲・駆除を行う。
・桑名支部猟友会員と駆除委託契約を結び、シカ・イノシシを対象に生息数の減を図る。
・地域住民による自主的な被害防止活動を支援するため、駆逐用煙火やジャンボタニシ用の駆除薬を配付する。
・特定外来生物であるヌートリア・アライグマを対象にした駆除委託を行う。
・設置した侵入防止柵の維持管理を自治会が行うために、補修用の柵を提供する。
・県が行うCSF（豚熱）対策に協力し、感染拡大を防止する。
※県支出金については、前年度捕獲実績に応じて県が算出。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・桑名支部猟友会員とシカ・イノシシを対象にした捕獲・駆除業務を委託する。（4～10月） ・有害獣駆除期間終了後も、桑名支部猟友会と協定を交わし、積極的な捕獲活動を行ってもらうことで、有害獣の生息数を減らす。（11～3月） ・特定外来生物駆除委託者、職員による中～小型の有害獣捕獲・駆除（4～3月） ・地域住民に狩猟免許の取得を促し、捕獲従事者の増を図る。 ・駆逐用煙火の配付や補修用の柵を提供する等、地域住民と共同で獣被害の防止を図る。 ・ジャンボタニシによる農作物被害を防ぐため、駆除用薬剤の配付を行う。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		17,528	18,614	▲ 1,086
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金	1,652	2,402	▲ 750
	地　　方　　債			0
	そ　　の　　他	15,876	16,212	▲ 336
	一　般　財　源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　15,876千円

有害鳥獣等対策事業資料

①有害鳥獣駆除委託及び会計年度任用職員による引き取り・火葬場への運搬

②追い払い活動の補助

動物駆逐用煙火（T-3）と専用ホルダー

使用時

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　農林水産課

事　業 名　称	中事業 竹資源循環創出推進事業費	予　算 区　分	款　農林水産業費 項　農林水産業費 目　農林水産業振興費 大事業 SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	農林業	桑名ブランドの推進

事　業　目　的

市内の放地竹林の整備を進めることで、タケノコの生産量を増やし、同時に整備のために伐採した竹そのものを資源に変えるべく新たな循環システムを構築し、一次産業者の所得向上と新たな担い手を創出する。
経済活動の促進のみならず、防災、自然環境保護、獣害対策等に繋げることで、市民の豊かな生活に寄与する。
また、産官学等で協力して事業を展開することで、SDGsの推進に寄与する。

主　な　事　業　内　容

①令和2年度に立ち上がった産官学の協議会に対し、取り組みについての支援
　・新製品研究開発に係る支援（地域大学協力のもと竹資源の新たな製品開発）
　・竹資源の加工・搬出の支援（竹・タケノコを地域内事業者への流通）
②竹林整備の支援（市内放置竹林1．5haの整備）
③竹資源の生産の支援（竹・タケノコの収集を促進）
④桑名工業高校とNPO法人桑竹会の課題研究事業の支援

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和2年度においてNPO法人桑竹会に市内の放地竹林の整備を委託し、累計で約3haの竹林が再生された。 令和3年度においても県民税を活用し、桑名ブランドであるタケノコを拡大できるよう継続して取り組む。また、竹資源の流通を加速させる。 桑名工業高校とNPO法人桑竹会の連携により生徒の地域課題解決能力の向上が図られた。授業は恒例的に取り組むため今後も支援を実施する。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

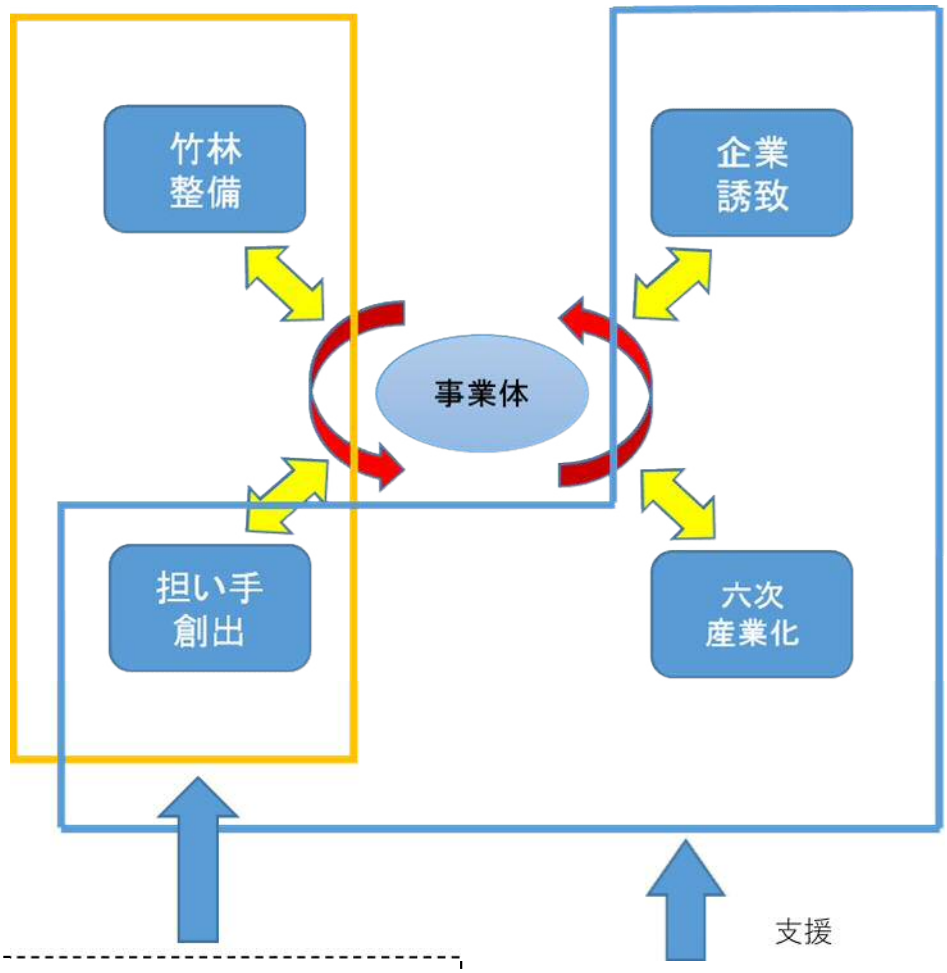
予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		9,506	5,203	4,303
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金	4,931	4,500	431
	地　　方　　債			0
	そ　　の　　他	4,400	703	3,697
	一　般　財　源	175		175

令和3年度その他財源内訳	森林環境譲与税　4,400千円

令和３年度竹資源循環創出推進事業費

事業費：９，５０６千円



竹林整備費用：４，９３１千円
委託料　等

※財源：みえ森と緑の県民税

運営費：４，４００千円

市

※財源：森林譲与税

その他経費：１７５千円
旅費

※財源：一般財源

※　目的に沿った事業を創生するために、産官学金の関係者で連携し事業を展開する。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　農林水産課

事業名称	中事業 土地改良事業費	予算区分	款　農林水産業費 項　農林水産業費 目　農地総務費 大事業 市単事業

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備

事業目的

安定的な農業経営の持続のため、高生産性農業を可能とする農業生産基盤を整備する。

主な事業内容

用排水路及び農道、ため池等の整備を行うことにより生産基盤を充実させるとともに、地域特性を生かした農業の推進を図る。また、林道の保全管理を行う。

・用排水路等維持改修工事
・農道等維持改修工事
・ため池維持改修工事
・排水機場土砂撤去

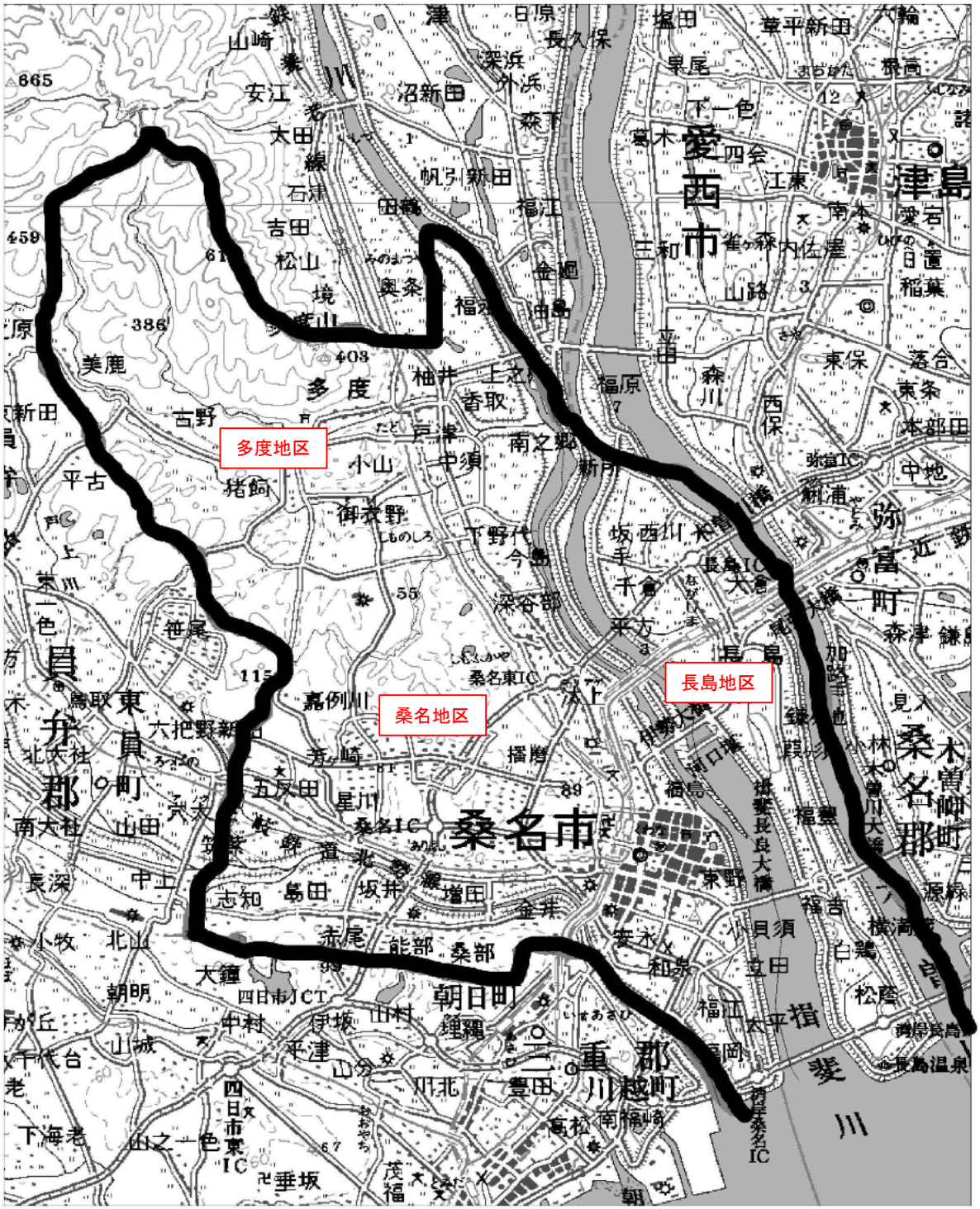
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・各地区要望を基に現地確認を行い、優先順位をつけ事業を推進していく。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		12,900	15,018	▲ 2,118
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	12,900	15,018	▲ 2,118
令和3年度その他財源内訳				

施工地名	桑名市内		
事業名	土地改良事業費		

位　置　図



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　農林水産課

事業名称	中事業 土地改良施設維持管理適正化事業費	予算区分	款　農林水産業費 項　農林水産業費 目　農地総務費 大事業 土地改良施設維持管理適正化事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備

事業目的

土地改良施設（頭首工、ポンプ場、樋門、溜池、水路等）の整備補修により、機能低下を回復し適正な維持管理を図る。

主な事業内容

＜桑名＞
・桑深排水機場　φ350水中ポンプ 整備補修工事
＜長島＞
・松蔭西排水機場除塵機補修工事　・第二松蔭西排水機場ポンプ整備補修工事・第二松蔭東排水機場電気施設工事
※事業負担割合：国30%、県30%、市30%、地元（改良区）10%

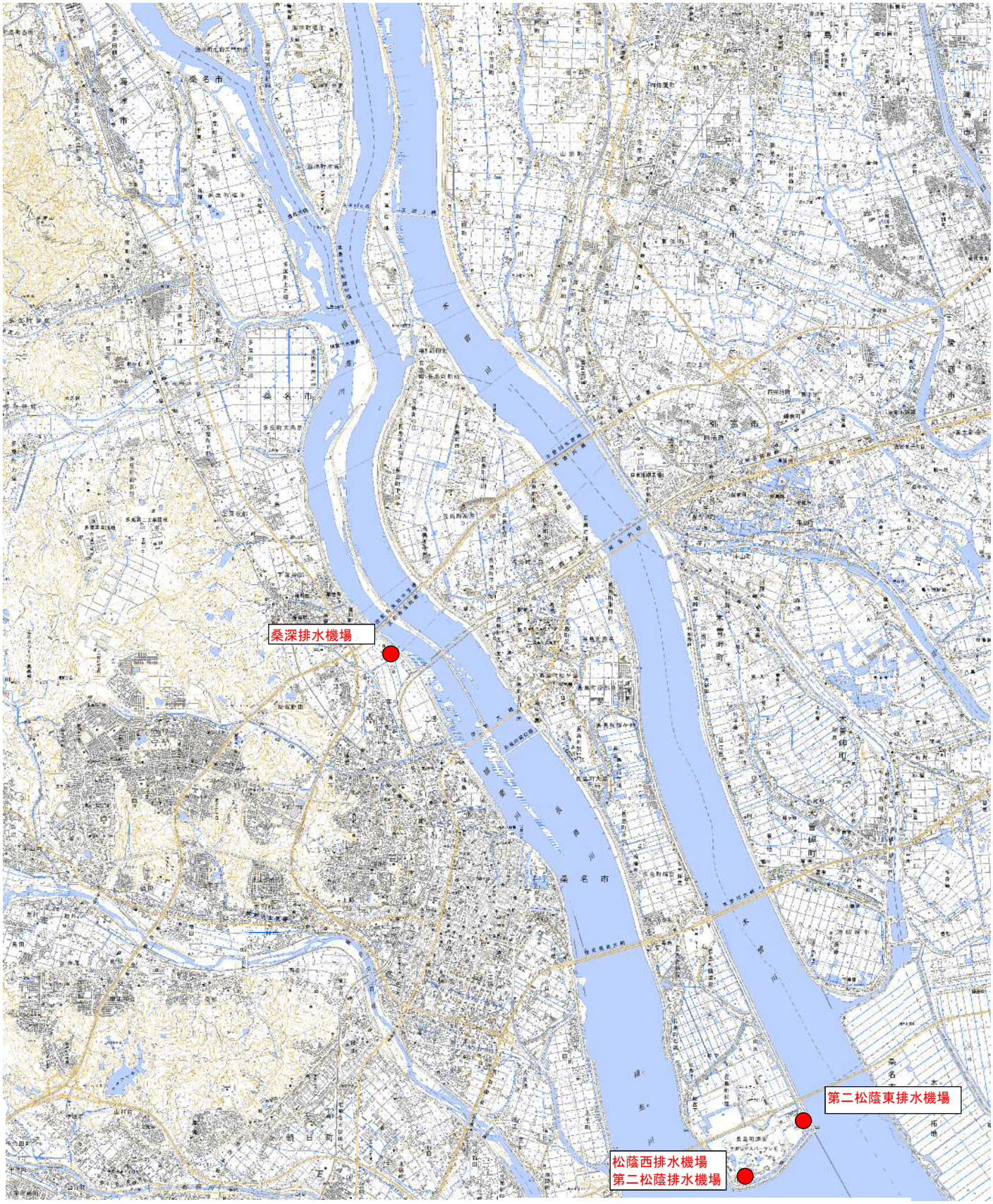
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
整備補修工事(予定排水機場) ＜令和4年度＞・七取旧排水機場ポンプ整備補修工事 ・肱江排水機場ポンプ整備補修工事 ・福豊排水機場ポンプ整備補修工事　他 ＜令和5年度＞・今島排水機場ポンプ整備補修工事 ・七取新排水機場ポンプ整備補修工事 ・第二松蔭東排水機場ポンプ整備補修工事　他	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		26,620	84,755	▲ 58,135
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	8,100	69,300	▲ 61,200
	一般財源	18,520	15,455	3,065

令和3年度その他財源内訳	土地改良施設維持管理適正化事業交付金　8,100千円

土 地 改 良 施 設 維 持 管 理 適 正 化 事 業 位 置 図



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　農林水産課

事業名称	中事業 多面的機能支払交付金事業費	予算区分	款　農林水産業費 項　農林水産業費 目　農地総務費 大事業　多面的機能支払交付金事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備

事業目的

多面的機能支払交付金を財源として、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。

主な事業内容

農地維持支払交付金及び資源向上支払交付金に係る活動について、事業計画の認定を受けた活動組織に対し、対象面積に応じた交付金を支払う。
国負担分（1／2）、県負担分（1／4）及び市負担分（1／4）を合わせて活動組織に交付する。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
多面的機能支払交付金を活動組織に交付することで、水路の泥上げや農道の路面維持等の基礎的保全活動といった多面的機能を支える地域活動を支援するほか、水路、農道等の軽微な補修、景観形成等の農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動の支援等を行う。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		56,875	63,305	▲ 6,430
財源内訳	国支出金			0
	県支出金	42,681	47,535	▲ 4,854
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	14,194	15,770	▲ 1,576
令和3年度その他財源内訳				

多面的機能支払交付金の構成

多面的機能支払交付金

（1）農地維持支払交付金

①地域資源の基礎的な保全活動

【活動例】

水路の泥上げ

農道の路面維持

施設の点検

年度活動計画の策定

②地域資源の適切な保全管理のための推進活動

（2）資源向上支払交付金

1）地域資源の質的向上を図る共同活動

①施設の軽微な補修

【活動例】

ひび割れの補修

農道の部分補修

②農村環境保全活動

【活動例】

植栽活動

生きもの調査

③多面的機能の増進を図る活動

2）施設の長寿命化のための活動

【活動例】

未舗装農道の舗装

素堀り水路からの更新

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　農林水産課

事　業 名　称	中事業 湛水防除事業費	予　算 区　分	款　農林水産業費 項　農林水産業費 目　農地総務費 大事業 国土強靭化推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備

事　業　目　的

農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等を湛水被害から守る排水機場や排水路等の新設または改修を行い、湛水被害を未然に防止する。

主　な　事　業　内　容

三重県が主体で行う県営事業
長島中部地区（大島排水機場）：場内整備ほか
総事業費：1,932,000千円（概算）
事業負担割合：国55%、県35%、市10%

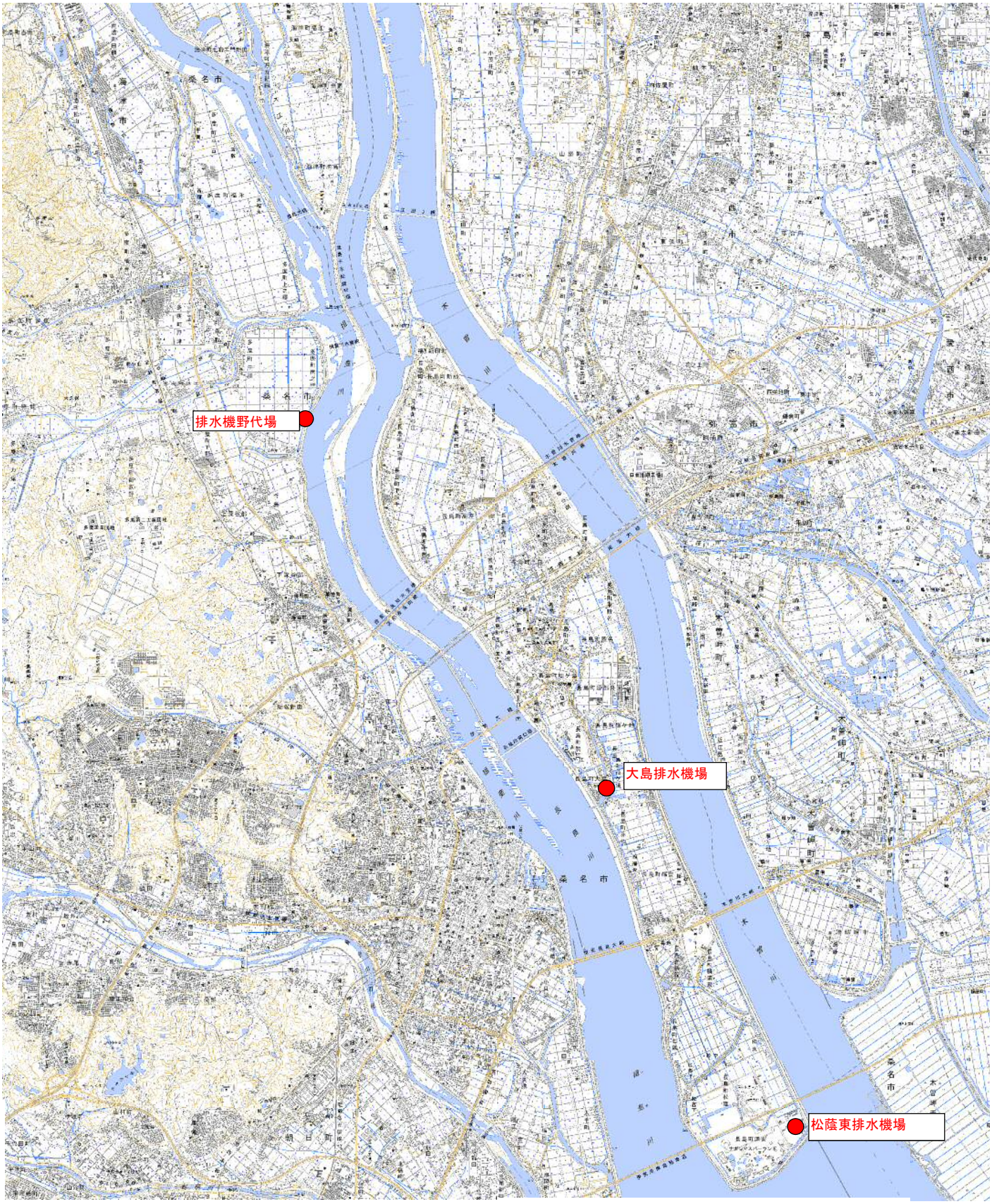
三重県が主体で行う県営事業（排水機場更新）に基づく更新事業計画書作成

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年度　松蔭東・野代排水機事業計画策定業務委託 令和4年度　長島中部地区（大島排水機場）　事後調査に基づく補償予定 令和5年度　福豊排水機場、下深谷排水機場改修工事予定	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		14,700	22,000	▲ 7,300
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金	8,000	8,000	0
	地　方　債	5,900	12,600	▲ 6,700
	そ　の　他			0
	一　般　財　源	800	1,400	▲ 600
令和3年度その他財源内訳				

湛 水 防 除 事 業 費　位 置 図



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　農林水産課

事　業 名　称	中事業 ため池等整備事業費	予　算 区　分	款　農林水産業費 項　農林水産業費 目　農地総務費 大事業 国土強靭化推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	農林業	農業生産基盤の強化および整備

事　業　目　的

農業用ため池の決壊・漏水による、農作物や農業用施設、一般家庭、公共・公益施設等の洪水被害を未然に防止するため改修を行う。

主　な　事　業　内　容

＜蛎塚・深谷地区＞
三重県が主体で行う県営事業

総事業費　411,000千円（蛎塚地区）（概算）
事業負担割合：国55%、県35%、市10%

ため池改修及び改修事業計画書作成

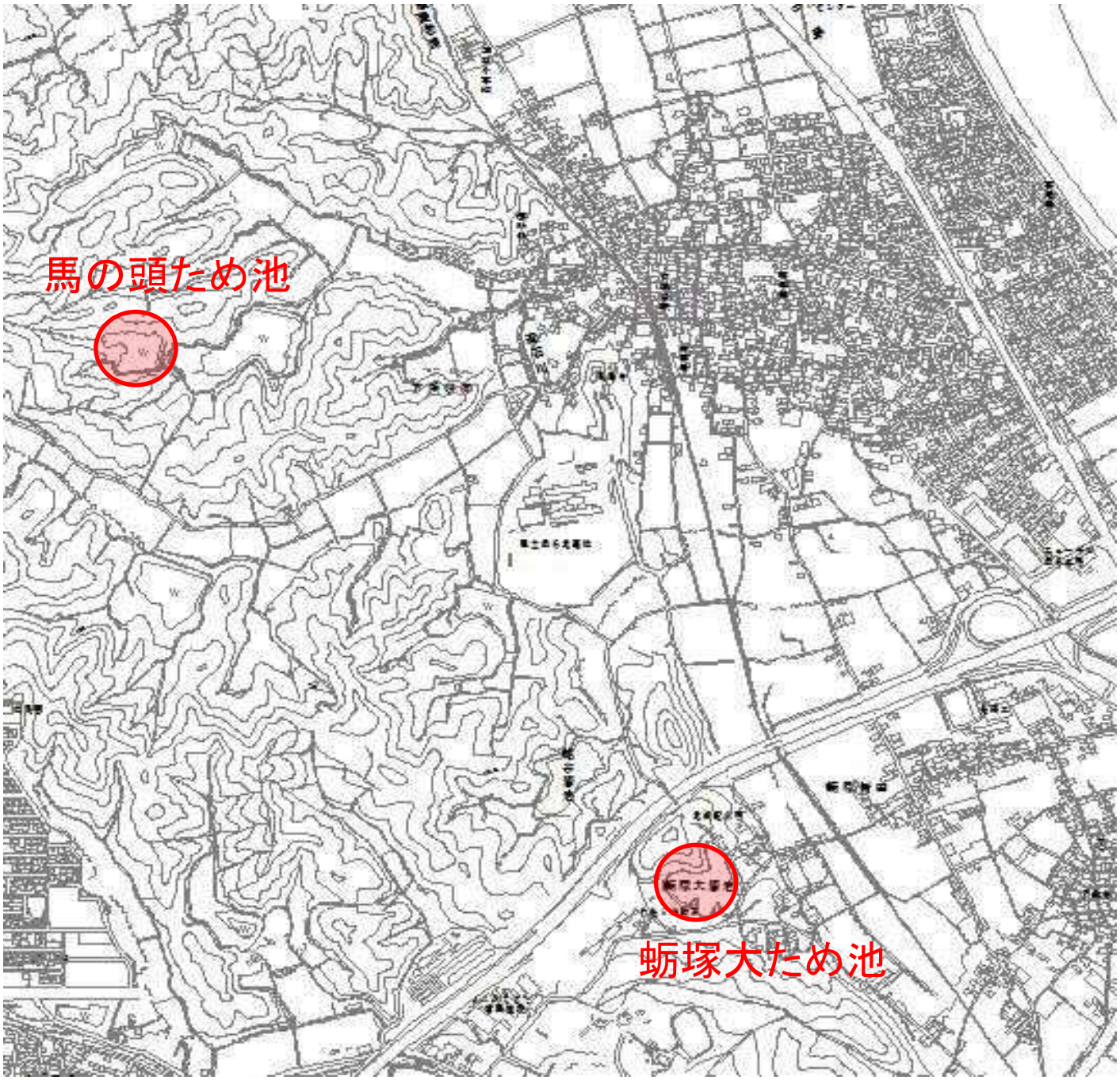
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度　＜蛎塚地区＞「蛎塚大溜」堤体工等 　　＜深谷地区＞「馬の頭ため池」改修事業計画書作成業務委託 ・令和4年度　＜深谷地区＞「馬の頭新ため池」改修工事等 ・令和5年度　＜深谷地区＞「馬の頭ため池」「馬の頭新ため池」改修工事等	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		5,600	8,000	▲ 2,400
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金	1,900	3,000	▲ 1,100
	地　　方　　債	3,200	4,500	▲ 1,300
	そ　　の　　他			0
	一　般　財　源	500	500	0

令和3年度その他財源内訳	

ため池等整備事業費　位置図



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　商工課

事　業 名　称	中事業 企業等誘致奨励金	予　算 区　分	款　商工費 項　商工費 目　商工業振興費 大事業 商工業振興事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	工業	企業誘致の推進

事　業　目　的

本市における企業及び研究所等の立地を促進するために、必要な奨励措置を講ずることにより、本市の産業構造の高度化及び多様化を促進するとともに、市内の中小企業の振興を図り、産業の健全な発展と市勢の進展に寄与する。

主　な　事　業　内　容

テックベース桑名、多度第2工業団地等に立地（増設）した民間企業に対して、企業立地奨励金を交付する。
＜固定資産税相当額に対する助成＞
・期間：3年間
・限度額：3億円
・税額に対する補助割合：1年目100%、2年目75%、3年目50%
・令和3年度交付予定：4社（1年目1社、2年目2社、3年目1社）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・交付実績 平成28年度：　－ 平成29年度：2社　45,418千円 平成30年度：2社　32,300千円 令和元年度：3社　29,400千円 令和2年度　：3社　21,028千円	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		28,313	21,028	7,285
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金			0
	地　　方　　債			0
	そ　　の　　他	28,313	21,028	7,285
	一　般　財　源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金 28,313千円

桑名市内の工業団地位置図

桑名市内の工業団地立地状況

	工業用地名称	区域面積（ha）	分譲区画（区画）	企業数（新規進出企業数）（社）	状　況
1	テックベース桑名	73.6	7	7（5）	完売
2	桑名ビジネスリサーチパーク	22.6	9	9（5）	完売
3	多度インダストリアルパーク	23.6	7	7（6）	完売
4	多度工業団地	42.9	3	2（2）	完売
5	多度第２工業団地	26.3	11	10（9）	完売
6	多度第三工業団地	9.6	3	1（0）	分譲中（２区画）
7	多度力尾東部地区	8.2	3	—	造成中

工業団地別市税収入一覧表

	団地名	企業数	市税収入（千円）				
			H27	H28	H29	H30	H31
1	テックベース桑名	7	10,719	13,627	15,959	29,912	52,147
2	桑名ビジネスリサーチパーク	9	166,871	212,619	191,620	195,636	179,139
3	多度インダストリアルパーク	7	166,869	132,385	108,998	141,671	99,369
4	多度工業団地	3	944,449	722,950	681,963	633,246	619,142
5	多度第２工業団地	10	202,447	169,142	146,598	175,724	138,006
合　計		36	1,491,355	1,250,723	1,145,138	1,176,189	1,087,803
※企業等誘致奨励金交付額			1,855	0	45,418	32,300	29,400

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　観光課

事業名称	中事業 観光誘客推進事業費	予算区分	款　商工費 項　商工費 目　観光費 大事業 観光振興事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	プロモーション活動	観光事業の魅力向上

事業目的

桑名駅は、新しい観光の顔として整備され、今後も周辺施設などの整備工事が進められる。そこで、新型コロナウイルス感染症の影響により観光業全般の落ち込みが激しい中、桑名駅周辺が観光の顔としてふさわしいものとなるよう、ハード及びソフトの両面で整備し、地域活性化に向けた事業を地域の経済団体や商工会議所等と連携しながら進めていく。

主な事業内容

＜駅前等活性化事業＞
・駅前工事期間中においても、駅前広場等を活性化させるため、物販等を行うことができるよう電源を供給できる環境を整える。
・新型コロナウイルス感染症拡大の中で落ち込んだ市民の心を明るくし、桑名駅前を活性化させるため、地域の経済団体や商工会議所と連携し協議を行い、駅前広場や街路樹を活用し、イルミネーション等を実施する。
＜ワーケーション等受入体制構築事業＞
「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた「ワーケーション」が働き方改革の一環として注目を集めている。そのなか、令和2年度は駅前を中心とした飲食店等のアイドルタイムや遊休空間など、テレワークスペースとして利活用できる場所を可視化するウェブサイトを構築した。令和3年度は、掲載した事業者のフォローアップ研修会やPR活動、テスト事業等を開催し、遊休空間の有効活用を図る。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
＜駅前等活性化事業＞ ・令和2年8月　　橋上駅舎及び東西自由通路を供用開始 ・令和3年10月頃～　駅前イルミネーション等の設置 ＜ワーケーション等受入体制構築事業＞ ・令和3年1月　ウェブサイトの構築、掲載事業者の募集 ・令和3年度　　掲載事業者のフォローアップ研修、PR活動、テスト事業等	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		4,994		4,994
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	4,994		4,994
令和3年度その他財源内訳				

観光誘客推進事業について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、社会情勢が大きく変化し、従来の観光施策からの大きな変革を余儀なくされている。そこで、本市の実情と新たなニーズを把握し、時代の変化に合わせた２つの事業を実施する。

１．駅前等活性化事業

(1)　事業の目的

新型コロナウイルス感染症で、本市においても観光産業の低迷は深刻であり、観光入込客数も大幅に落ち込み、市民の心も暗く沈み、閉塞感を打開できずにいる。そこで、市民の心を明るく元気づけるため、桑名駅前を活性化させる施策を実施し、観光誘客と市内消費の回復につなげていくことを目指す。

(2)　事業の内容

・地域の経済団体や商工会議所と連携し協議を行い、駅前を活性化させるための施策として、駅前広場や桑名駅東の通り沿いの街路樹を活用してイルミネーション等を実施する。実施期間は、10 月下旬頃から冬にかけての予定である。

・駅前広場において、地域の団体などが主体となって物販などのイベントやイルミネーションが実施できるように、必要となる電源を確保するための電気工事を実施する。なお、物販事業の実施にあたっては、感染症対策に万全を期する。

２．ワーケーション等受入体制構築事業

(1)　事業の概要

ワーケーションとは、「ワーク（仕事)」と「バケーション（休暇)」を組み合わせた造語のことで、働き方改革の一環として、観光地や温泉地などでテレワークを活用し、働きながら休暇を取ることをいう。本市の交通の利便性の高さと空き空間を有効に活用することで、ワーケーション等の受入体制を構築していく。

(2)　事業の内容

駅前の宿泊施設を調査したところ、ホテルでテレワークプランを販売し、50 件以上も活用されるなど、コロナ禍でテレワークを必要とされる方が多く存在することが分かってきた。

このような需要を把握し、市内でテレワークができる場所を探している方に対して、テレワークスペースとして利活用できる飲食店などを可視化するウェブサイトを構築した。

今年度は、当該サイトに掲載した事業者又は今後掲載を検討している事業者に対して、フォローアップ研修を実施していく。また、掲載参加の募集や利用促進に向けてＰＲ活動を行うなど、テレワークの拡充を図っていく。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　都市整備課

事業名称	予算区分
中事業 木造住宅耐震事業費	款　土木費 項　土木管理費 目　土木総務費 大事業 国土強靭化推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	防災	市民・企業などの自助・共助の災害対策促進

事業目的

旧耐震基準の木造住宅について、住宅の耐震化（耐震基準に満たない木造住宅の低減）を促進し、地震の揺れから家屋の倒壊を防ぎ、市民の命を守る。

主な事業内容

・木造住宅耐震啓発業務委託	96千円	（巡回相談12,000円×相談員８人）
・木造住宅耐震診断業務委託	1,440千円	（48,000円×30件）
・木造住宅耐震補強設計事業補助金	160千円	（80,000円×　2件）
・木造住宅耐震補強事業補助金	2,200千円	（1,100,000円×２件）
・木造住宅耐震補強事業補助金併用リフォーム補助	400千円	（200,000円×２件）
・木造住宅除却補助金	4,140千円	（207,000円×20件）
・木造住宅（空き家）除却補助金	2,070千円	（207,000円×10件）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。		計画年度	
・木造住宅耐震診断事業補助金（令和元年度）	16件	R3	✓
・木造住宅耐震補強設計事業補助金（令和元年度）	2件		
・木造住宅耐震補強事業補助金（令和元年度）	0件	R4	✓
・木造住宅耐震補強事業補助金併用リフォーム補助（令和元年度）	0件		
・木造住宅除却補助金（令和元年度）	13件	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		３年度当初	２年度当初	増減額
計		10,506	10,506	0
財源内訳	国支出金	4,858	4,858	0
	県支出金	1,960	1,960	0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	3,688	3,688	0

令和3年度その他財源内訳	

令和３年度事業計画について

事業　木造住宅耐震事業費

事業目的

桑名市建築物耐震改修促進計画に基づいて、昭和 56 年５月以前に建築された木造住宅を対象に、耐震化（耐震基準に満たない木造住宅を低減）の支援を実施する。

事業内容及び事業費内訳

・木造住宅耐震啓発業務委託　96 千円

戸別訪問、相談会　国：48 千円（１／２）　市：48 千円（１／２）

・木造住宅耐震診断業務委託　（30 件分）1,440 千円

１件あたり診断費 48 千円

国：720 千円（１／２）　県:360 千円（１／４）　市:360 千円（１／４）

・木造住宅耐震補強設計事業補助金　（２件分）　160 千円（上限 80 千円／件）

対象事業費の１／３かつ上限 80 千円　県：80 千円（１／２）　市:80 千円（１／２）

・木造住宅耐震補強事業補助金　（２件分）　2,200 千円（上限 1,100 千円／件）

対象事業費の 40%かつ上限 500 千円に対象事業費の２／３かつ上限 600 千円を加算する。

国:1,000 千円　県:600 千円　市:600 千円

・木造住宅耐震補強事業補助金併用リフォーム補助（２件分）400 千円（上限 200 千円／件）

対象事業費の１／３かつ上限 200 千円　（県費のみ）

県：400 千円

・木造住宅除却補助金　（20 件分）4,140 千円（上限 207 千円／件）

対象事業費の 23%かつ上限 207 千円　国:2,070 千円（１／２）　市：2,070 千円（１／２）

旧耐震の木造住宅が対象

・木造住宅（空き家）除却補助金　（10 件分）　2,070 千円（上限 207 千円／件）

対象事業費の 23%かつ上限 207 千円

国：1,035 千円（１／２）　県：517.5 千円（１／４）　市：517.5 千円（１／４）

旧耐震かつ空き家である木造住宅が対象

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　土木課

事業名称	中事業 地籍調査事業費	予算区分	款　土木費 項　土木管理費 目　土木総務費 大事業 国土強靭化推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	その他	その他	その他

事業目的

土地の最も基礎的な情報である地積を明らかにし、その結果を記録することにより、課税の適正化、公共事業の円滑化、災害復旧の迅速化を図る。

主な事業内容

一筆ごとに、地番、地目、所有者の調査や境界及び地積に関する測量を行い、正確な「地籍図」及び「地籍簿」を作成する。

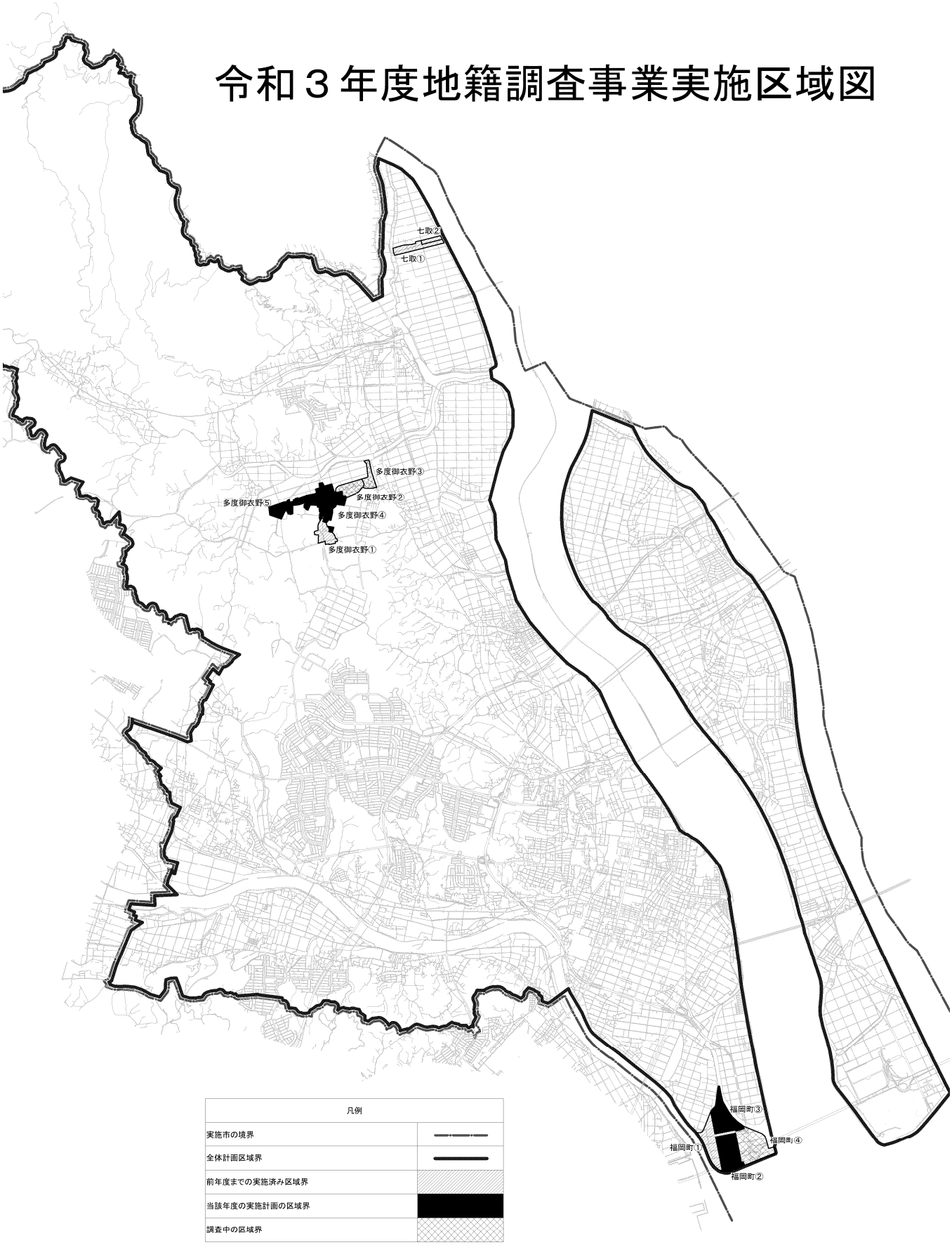
＜事業費内訳＞
・地籍調査業務委託料　30,285千円
・旅費・消耗品費等　　905千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度：多度御衣野④…閲覧を行う（H工程） ：多度御衣野⑤…基準点を設置し、現況測量を行う（FⅠ・FR工程） ：福 岡 町 ②③…所有者立会の上、筆界に杭を設置する（FR・E2・FⅡ−1工程）	R3	✓
・令和4年度：多度御衣野⑤…所有者立会の上、筆界に杭を設置する（FR・E2・FⅡ−1工程） ：福 岡 町 ②③…地籍図及び地籍簿を作成し、閲覧を行う（FⅡ−2・G・H工程） ：福　岡　町 ④ …基準点を設置し、現況測量を行う（FⅠ・FR工程）	R4	✓
・令和5年度：多度御衣野⑤…地籍図及び地籍簿を作成し、閲覧を行う（FⅡ−2・G・H工程） ：福　岡　町 ④ …所有者立会の上、筆界に杭を設置する（FR・E2・FⅡ−1工程）	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		31,190	16,800	14,390
財源内訳	国支出金			0
	県支出金	22,950	11,025	11,925
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	8,240	5,775	2,465
令和3年度その他財源内訳				

令和３年度地籍調査事業実施区域図



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　土木課

事　業 名　称	中事業 狭あい道路整備等促進事業費	予　算 区　分	款　土木費 項　土木管理費 目　土木総務費 大事業 国土強靭化推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	生活道路などの整備

事　業　目　的

幅員4m未満の道路（建築基準法第42条第2項道路）等の「狭あい道路」は、十分な幅員がある道路に比べて車や人がすれ違う際の危険性が高く、緊急時の避難・救助活動が遅れる原因となってしまう可能性がある。こういった「狭あい道路」を解消するため、敷地の一部を道路として広げ、防災性に優れた安全な住宅市街地の形状と居住環境の向上を図る。

主　な　事　業　内　容

＜令和3年度事業費内訳＞
分筆測量費・除去費等　3,000千円
報償金等　3,000千円
道路整備費等　4,300千円
需用費（境界標、旅費等）　100千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和4年度：報償金・分筆測量費補助他　10,500千円（予定） 令和5年度：報償金・分筆測量費補助他　10,500千円（予定） ※令和6年度以降も継続して事業を行う。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		10,400	10,500	▲ 100
財源内訳	国　支　出　金	5,000	5,000	0
	県　支　出　金			0
	地　方　債	4,500		4,500
	そ　の　他			0
	一　般　財　源	900	5,500	▲ 4,600

令和3年度その他財源内訳	

～狭あい道路整備等促進事業について～

建築物を建築する敷地は、幅員が４ｍ以上の道路に２ｍ以上接しなければならない。

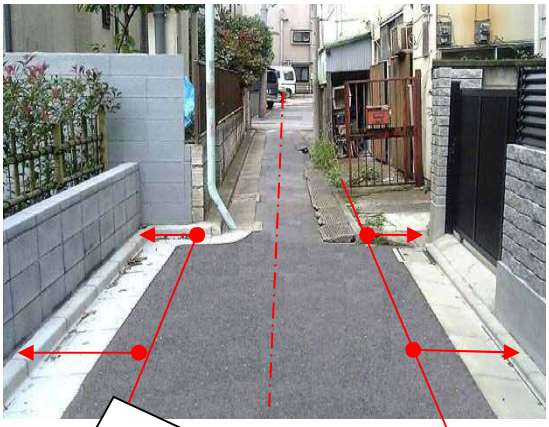
一方、４ｍ未満の道路の場合、建築物を建築する際には、その敷地が接する道路の中心から２ｍ後退した位置を道路の境界線とみなし、後退部分の使用は制限される。

４ｍ未満の道路は、狭あい道路として、市街地の生活道路に多く存在し、建築物を建築しようとする際には、敷地の所有者と指定路線の管理者との間で、その位置や後退方法等に個別の対応が強いられ、建築基準法施行後、半世紀以上経過している現在においても、後退部分の整備が進まないことが全国的に問題となっている。

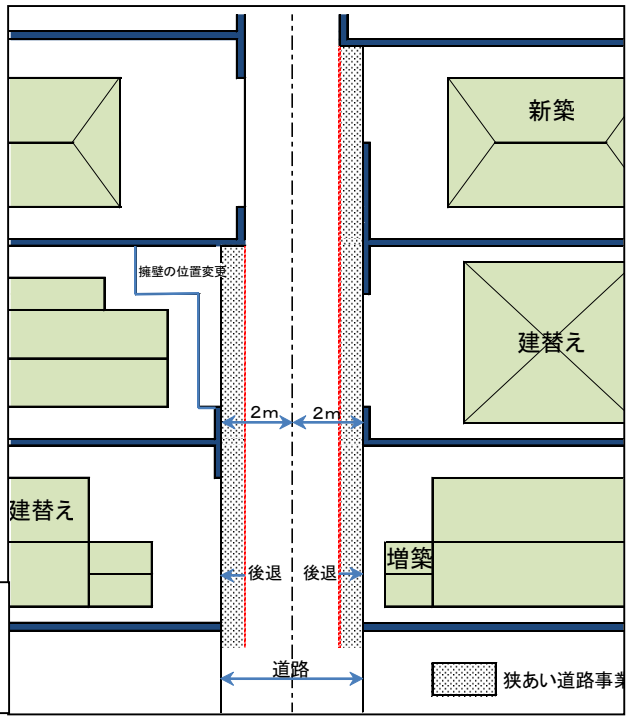
本市には、狭あい道路のうち建築基準法第42条第２項道路が179.806㎞（平成24年３月調査完了時点）存在し、建築物の利用、災害時の避難経路、消防活動、日照、採光、通風の確保等、安全で良好な環境の市街地を形成するため、「桑名市狭あい道路整備等促進事業」を実施するものである。（図）

▼　桑名市狭あい道路整備等促進事業のイメージ

狭あい道路の拡幅整備に係る用地費
撤去工事による費用等に対して支援



<撤去>
・ブロック塀、植木、門扉、等の撤去費用の一部を補助する。
<整備>
・撤去部分の敷地を市に寄付採納する場合、市が整備を行う。



▼　事業の内容

狭あい道路の後退用地に対する測量・分筆登記費用や後退支障物件の除却費用の一部を補助金として、また、角地敷地の２面以上の道路に面している場合の１面以上を報償金として交付する。

なお、後退後は本市にて道路整備を行うものである。

▼　対象の道路

①	建築基準法第 42 条第２項に該当する道路
②	道路法第３条第４号に規定する道路
③	その他市長が必要と認めた道路

▼　後退用地の補助制度（後退用地を市に寄附した場合のみ）

権利の帰属		申請者への補助金等			市の工事
		測量・分筆費 （最高15万円）	除去費等 （1/2かつ最高50万円）	報償金 （路線価）	整備費 —
①	市に寄附	○	○	○	○
②	①以外	×	×	×	×

▼　今後の予定について

令和４年度以降も狭あい道路解消に向けて協力を促していく。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　土木課

事　業 名　称	中事業 急傾斜地崩壊対策事業	予　算 区　分	款　　土木費 項　　土木管理費 目　　土木総務費 大事業 国土強靭化推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	防災	防災対策および災害対策機能の強化

事　業　目　的

降雨等により崖崩れが懸念される非常に危険な急傾斜地に、擁壁、法枠等を施工することにより、崩壊危険個所における民家及び公共施設への影響を未然に防止する。緊急対応が必要な地区については対策工事を施工する。

主　な　事　業　内　容

事業主体は三重県であり、桑名市は負担金を支払う。

上野地区　総延長　1,100m
・工事費（一工区）　三重県事業費　　120,000千円
※桑名市は上記事業費の20%を負担　　24,000千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度：対策工事 ・令和4年度：対策工事 ・令和5年度：対策工事	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

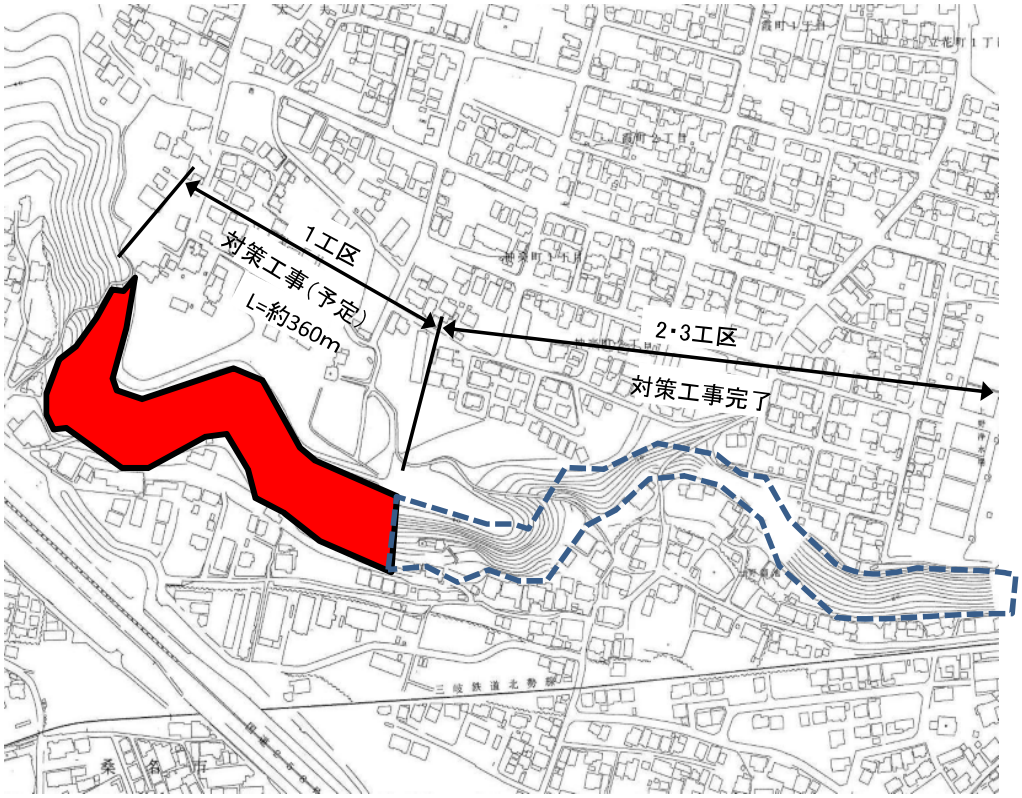
事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		24,000	20,000	4,000
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金			0
	地　　方　　債	21,600	18,000	3,600
	そ　　の　　他			0
	一　般　財　源	2,400	2,000	400

令和3年度その他財源内訳	

区分	県施行事業負担金	市道名	―
事業名	急傾斜地崩壊対策事業		

【位置図】

（上野地区）



事業期間　平成25年度～令和6年度(完了予定)
総事業費　500,000千円

（対策工事　1工区）
令和元年度～令和6年度　　(市負担20%)

令和3年度　120,000千円　(24,000千円)
令和4年度　100,000千円　(20,000千円)
令和5年度　100,000千円　(20,000千円)

※事業箇所は予定であり、実施により変更する場合があります。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　アセットマネジメント課

事業名称	中事業 ICT道路調査事業費	予算区分	款　土木費 項　道路橋りょう費 目　道路維持費 大事業　DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	道路舗装、付属施設の維持管理

事業目的

道路施設の不備による事故等を未然に防ぐために、市内道路状況を調査、把握して市内全域を対象とした計画的な道路施設の修繕につなげる。

主な事業内容

・市内各所における道路舗装の修繕および区画線の更新を行うため、市内道路状況を調査、把握する。
・劣化度の大きい箇所や事故の危険性のある箇所等から判断し、優先順位をつけて効率的に修繕を行っていく。
※債務負担行為設定（令和元年度～令和3年度）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和元年度　道路状況調査業務委託料　1,037千円（支出額）　調査率　64.3% ・令和2年度　道路状況調査業務委託料　1,479千円（支出額）　調査率　89.8% ・令和3年度　道路状況調査業務委託料　1,500千円（予算額）　調査率100.0%（予定）	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		1,500	1,500	0
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	1,500	1,500	0
令和3年度その他財源内訳				

令和３年度　事業概要書　資料

【事業名】

ＩＣＴ道路調査事業

【事業目的】

市道の路面状況を客観的かつリアルタイムに把握し、迅速かつ効率的な修繕を行うことにより、道路不備による事故等を未然に防止する。

【事業内容】

加速度センサーが搭載されたスマートフォンを公用車に設置して市道をパトロールすることで、路面の劣化具合の数値化を行いそのデータを解析し、劣化度の高い箇所を色分けすることで劣化状況の見える化を図る。

・加速度センサーが搭載されたスマートフォンは、受託者より２台貸与される。
・公用車によるパトロールは市職員が行う。
・令和３年度の業務委託料は年間約 150 万円。なお、年間の走行距離に制限なし
・劣化度の大きい箇所や事故の危険性のある箇所等から判断し、優先順位をつけて効率的に修繕を行っていく。

※従来の路面性状調査は、年１回で約 500 万程度を必要としていたが、スマートフォンの機能を活用することで、簡単かつ安価な調査が可能となった。

【事業効果】

市道の路面状況を客観的かつリアルタイムに把握することができるため、迅速かつ効率的な修繕対応が可能となる。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　土木課

事　業 名　称	中事業 道路老朽化対策事業費 （公共施設等適正管理推進事業費）	予　算 区　分	款　土木費 項　道路橋りょう費 目　道路新設改良費 大事業　道路新設改良事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	道路舗装、付属施設の維持管理

事　業　目　的

道路ストック総点検に基づき、今後の老朽化に備え、計画的な維持管理及び補修を行い、円滑な通行と安全確保を図る。

主　な　事　業　内　容

既存の舗装・側溝等の道路施設を修繕更新することにより、長寿命化を図る。

・大山田星川線：L＝180m　9,000千円
・坂井多度線外：L＝240m　6,000千円
・深谷柚井線　：L＝70m　 5,000千円

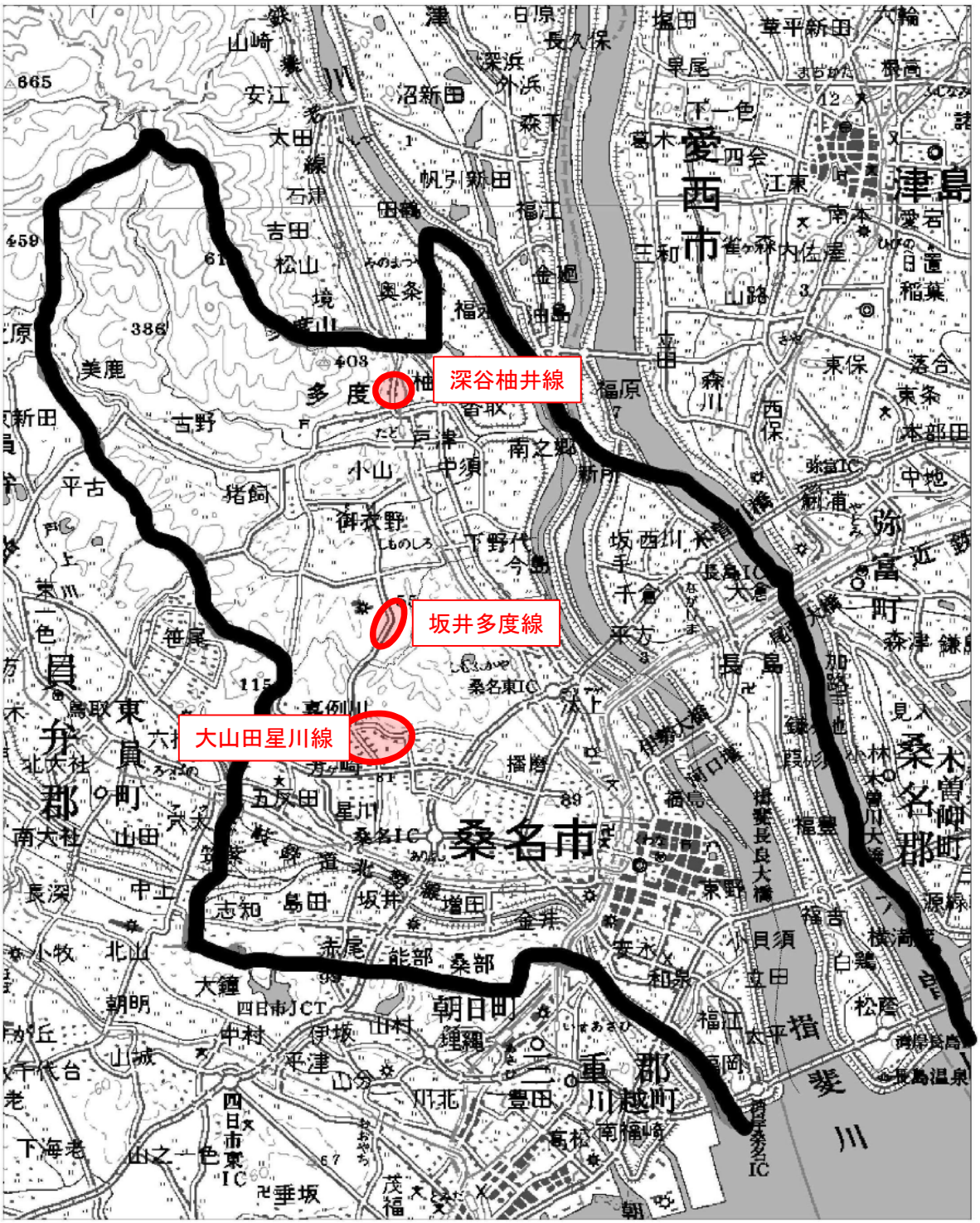
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度：舗装工事、側溝工事 ・令和4年度：舗装工事、側溝工事 ・令和5年度：舗装工事、側溝工事	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		３　年　度　当　初	２　年　度　当　初	増　減　額
計		20,000	15,000	5,000
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金			0
	地　　方　　債	18,000	13,500	4,500
	そ　　の　　他			0
	一　般　財　源	2,000	1,500	500
令和3年度その他財源内訳				

施工地名	桑名市内	市道名	大山田星川線・坂井多度線外・深谷柚井線
事業名	道路老朽化対策事業費（公共施設等適正管理推進事業費）		

事業位置図



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　土木課

事業名称	中事業 安全対策事業費	予算区分	款　土木費 項　道路橋りょう費 目　道路新設改良費 大事業　道路新設改良事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	防犯・交通安全	安全かつ快適な交通環境の整備

事業目的

大規模な住宅開発により、通勤・通学にともなう交通量の増加が見込まれる地域において、通学路の安全対策を行う。

主な事業内容

通学路等の歩道設置工事により交通安全対策を行い、令和5年度完了を目指す。

・高塚町8号線外：カラー舗装工　L＝100m　2,500千円　（交付率　55%、交付対象額　2,000千円）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度：高塚町8号線外 ・令和4年度：高塚町8号線外 ・令和5年度：高塚町8号線外	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

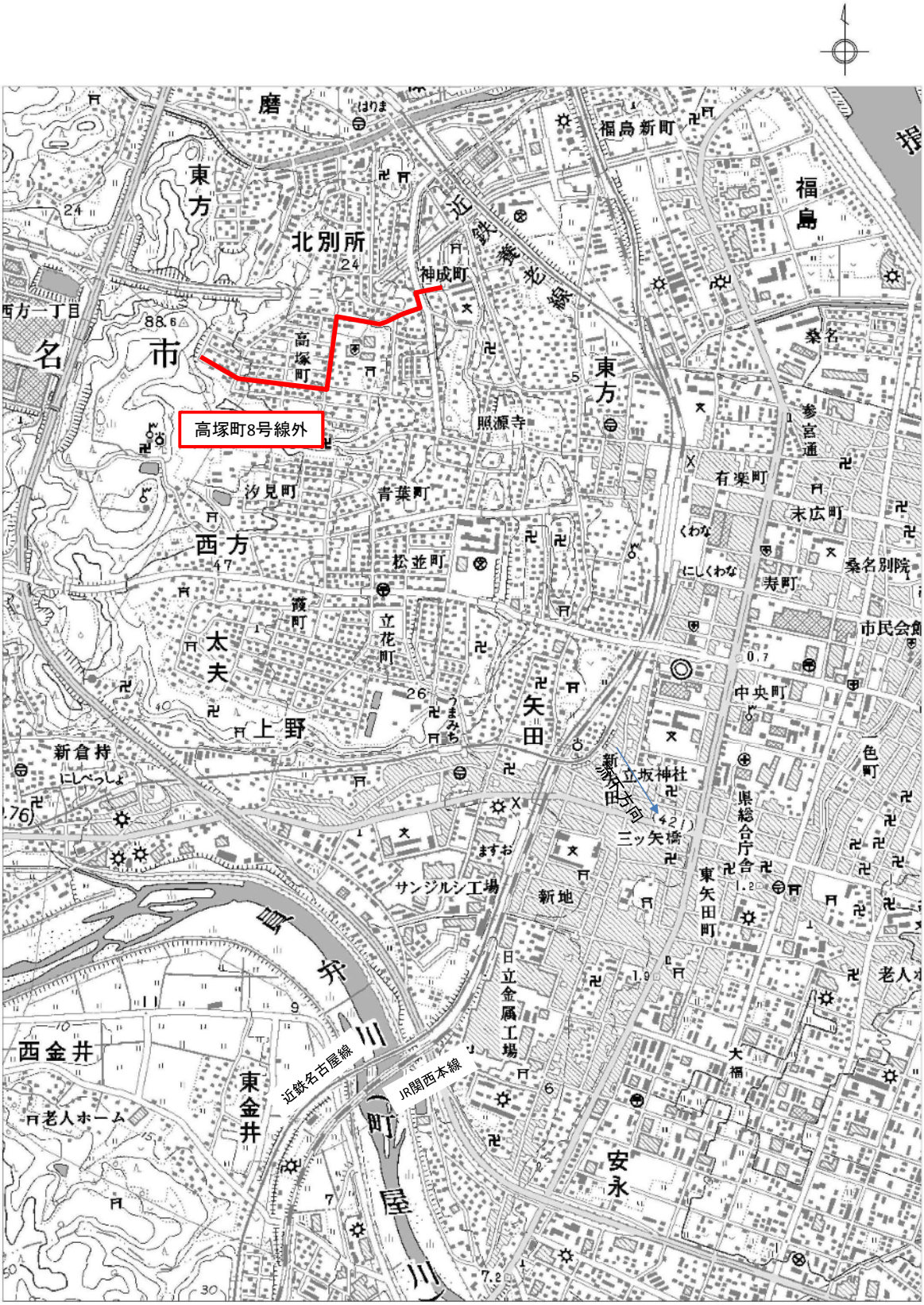
予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		2,500	32,500	▲ 30,000
財源内訳	国支出金	1,100	17,600	▲ 16,500
	県支出金			0
	地方債	800	12,900	▲ 12,100
	その他			0
	一般財源	600	2,000	▲ 1,400

令和3年度その他財源内訳	

施行地名	桑名市高塚町地内外	市道名	市道高塚町8号線外
事業名	安全対策事業		

【位置図】



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　土木課

事業名称	中事業 スマートインターチェンジ推進事業費	予算区分	款　土木費 項　道路橋りょう費 目　道路新設改良費 大事業　道路新設改良事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	幹線道路等の整備

事業目的

都市計画マスタープランに位置づけられた、多度地域南部及びインターチェンジ周辺の産業誘導ゾーンへの企業立地をサポートする広域交通網の充実、都市内幹線道路の整備を図る。

主な事業内容

大山田PAの周辺道路における現況調査等の広域的検討を行い、スマートインターチェンジの必要性を確認し、国による新規事業化の推進を図る。

令和3年度：スマートインターチェンジ関連調査等業務委託

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度：関係機関協議 ・令和4年度：準備会 ・令和5年度：地区協議会	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

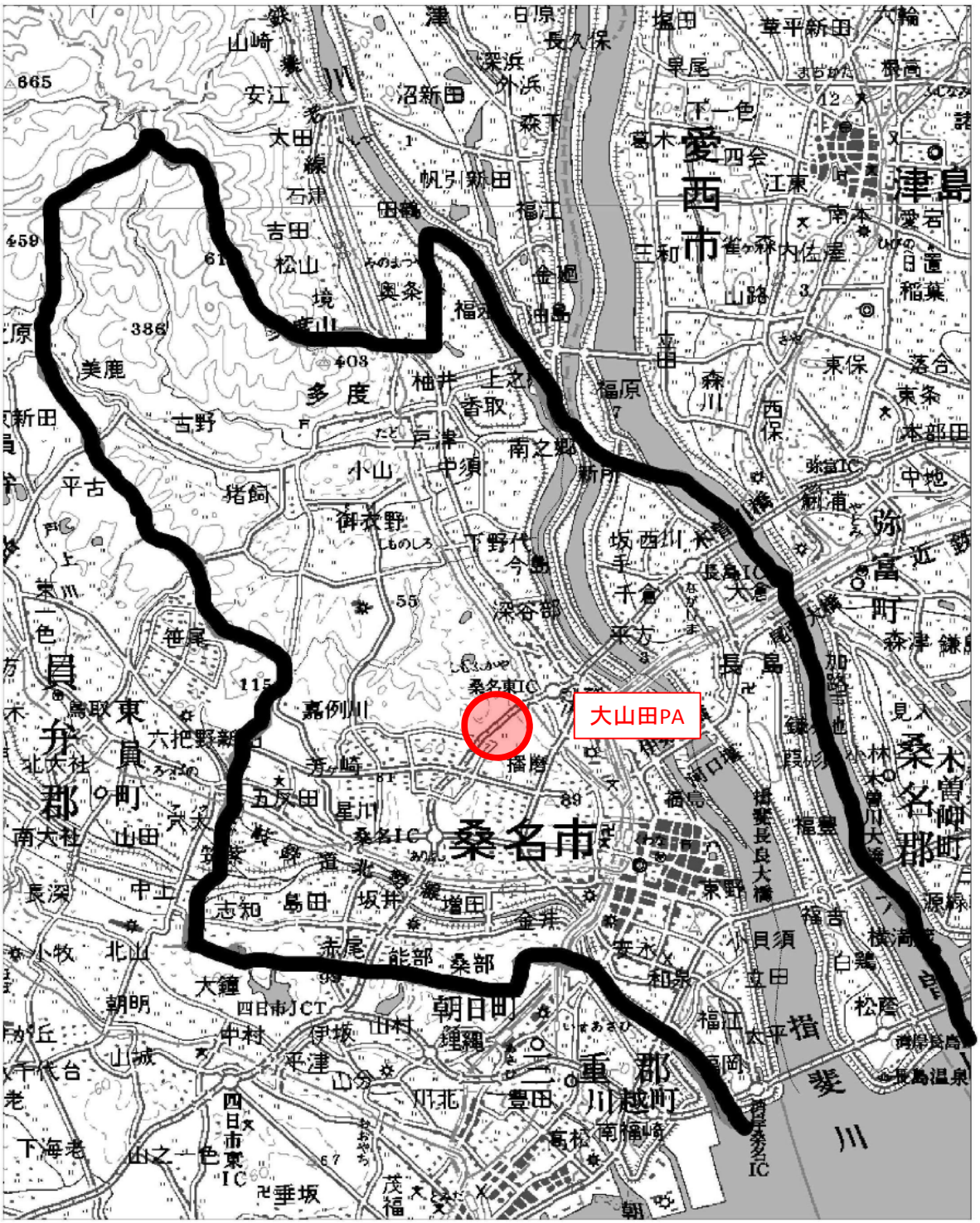
予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		6,000		6,000
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	6,000		6,000
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　6,000千円

施工地名	桑名市内	市道名	
事業名	スマートインターチェンジ推進事業費		

事業位置図



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　土木課

事業名称	中事業 橋梁長寿命化対策事業費	予算区分	款　土木費 項　道路橋りょう費 目　橋りょう維持費 大事業　橋りょう維持補修費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	橋りょうの維持管理

事業目的

これまでの橋梁の維持管理は、主に致命的な損傷や機能不全に陥った段階で、大規模な補修や橋梁を架け替える等、事後的な補修を行っていた。今後、橋梁の老朽化が急速に増加していくことから、事後的補修では維持管理費が増大する。このため、従来の事後的補修から致命的な損傷が顕在化する前に計画的な補修及び耐震補強を実施し、長寿命化を図る。

主な事業内容

・設計積算:10橋　14,000千円　（交付率　55%、交付対象額　13,500千円）
・法定点検:跨線橋外3橋　30,500千円　（交付率　55%、交付対象額　30,000千円）
・修繕工事:14橋　54,500千円　（交付率　55%、交付対象額　54,000千円）

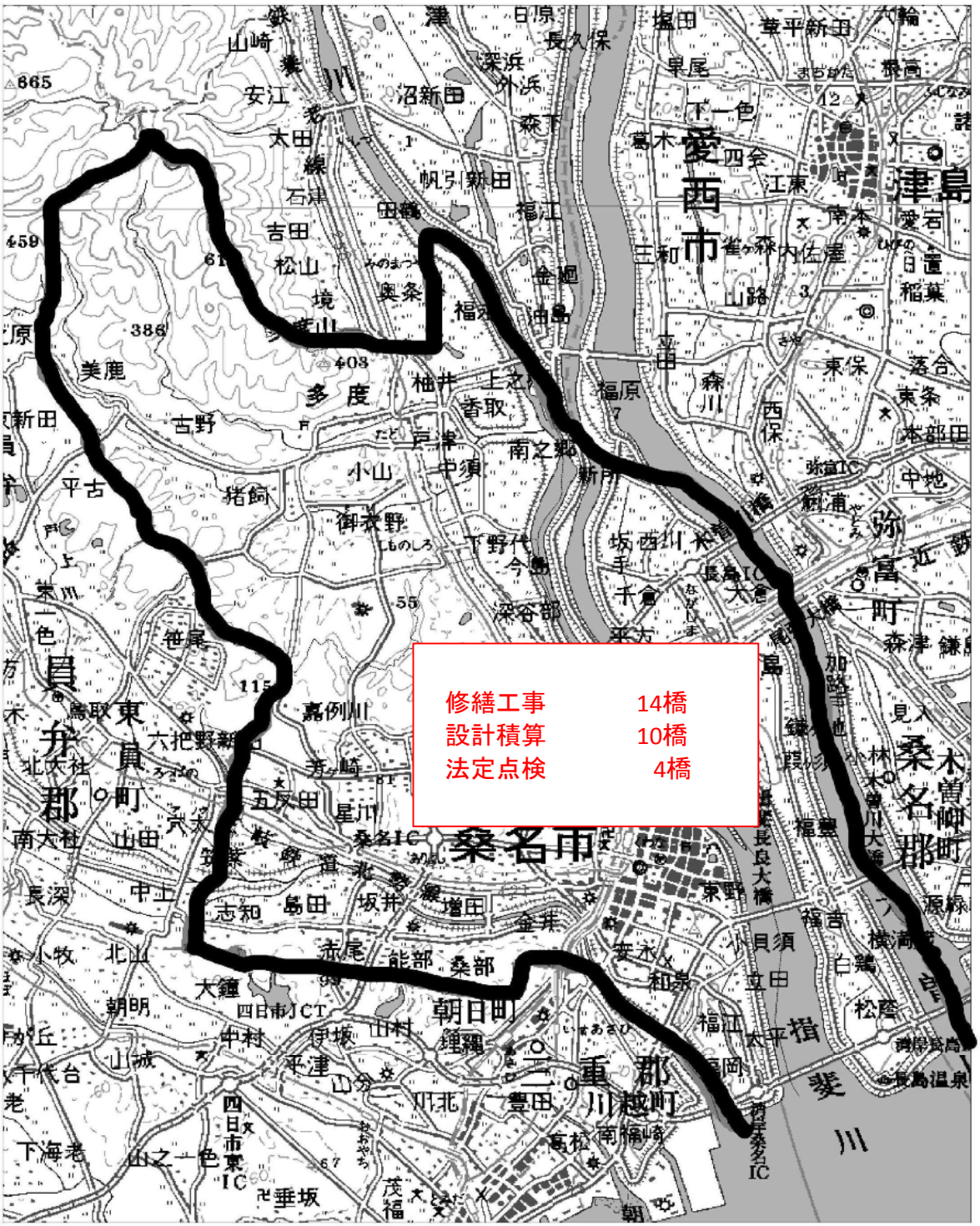
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度:設計積算、法定点検、修繕工事 ・令和4年度:設計積算、法定点検、修繕工事 ・令和5年度:設計積算、法定点検、修繕工事	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位:千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		99,000	101,500	▲ 2,500
財源内訳	国支出金	53,625	55,550	▲ 1,925
	県支出金			0
	地方債	27,300	29,500	▲ 2,200
	その他			0
	一般財源	18,075	16,450	1,625

令和3年度その他財源内訳	

施行地名	桑名市一円	市道名	—
事業名	橋梁長寿命化対策事業費		



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　土木課

事　業 名　称	中事業 緊急浚渫推進事業費	予　算 区　分	款　土木費 項　河川費 目　河川総務費 大事業 国土強靭化推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	河川	管理者による改修と維持管理

事　業　目　的

全国的に河川氾濫等の大規模な浸水被害が多発する中、地方団体が単独事業として緊急的に河川等の浚渫が実施できるよう、当該経費について特例措置として令和2年度からの5年間、地方債の発行が認められることが新たに地方財政計画に盛り込まれた。
そこで、この地方債を活用し、河川内に堆積した土砂及び樹木等を除却することで、円滑な流下能力を維持し、市民生活の安全・安心を確保する。

主　な　事　業　内　容

・市管理河川各所：浚渫・樹木伐採工　35,000千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度：浚渫等工事（浚渫等、整備工事等） ・令和4年度：浚渫等工事（浚渫等） ・令和5年度：浚渫等工事（浚渫等）	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

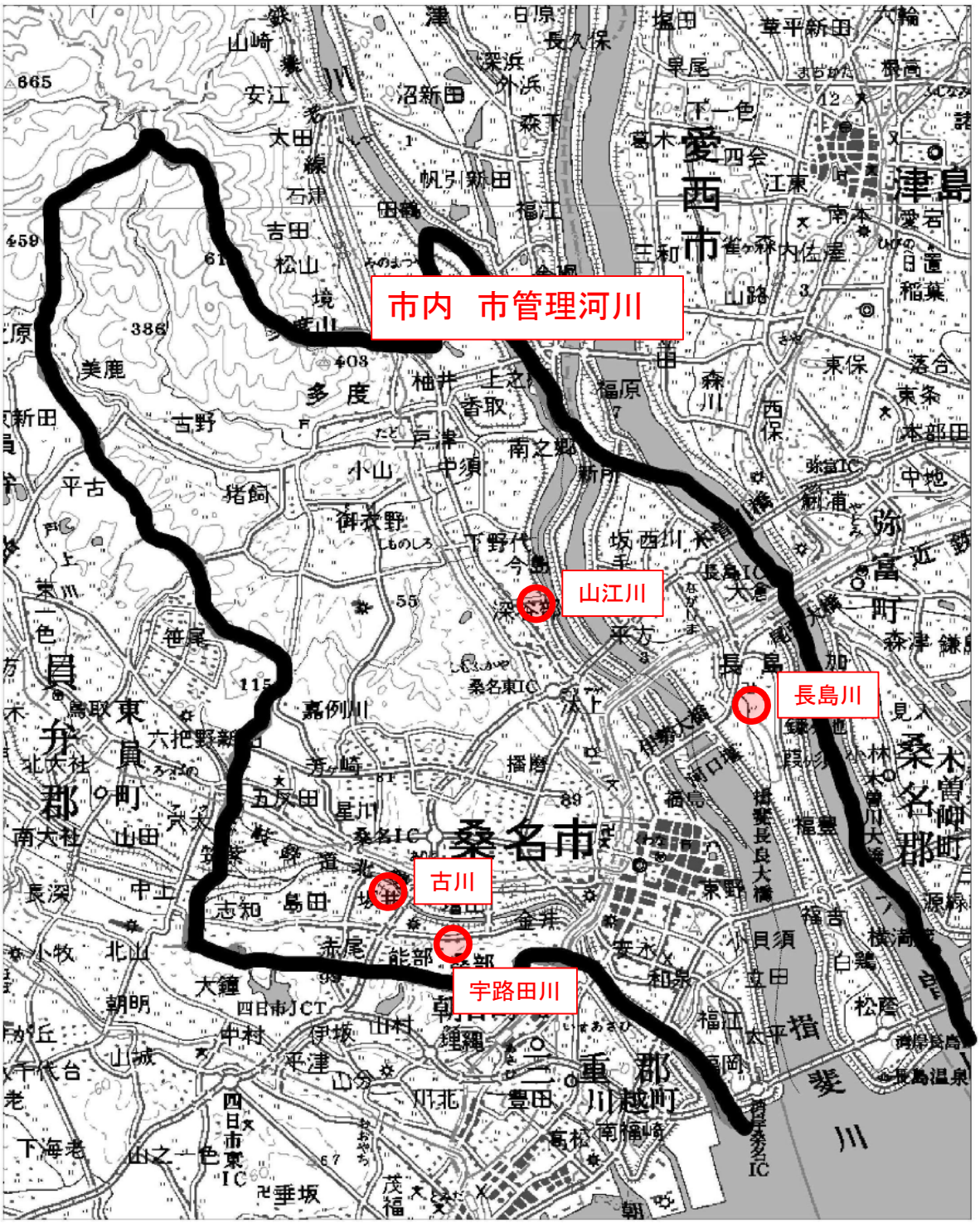
予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		35,000	30,000	5,000
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金			0
	地　　方　　債	30,000	30,000	0
	そ　　の　　他			0
	一　般　財　源	5,000		5,000

令和3年度その他財源内訳	

施工地名	桑名市内	市道名	
事業名	緊急浚渫推進事業		

事業位置図



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　土木課

事　業 名　称	中事業 河川改良事業費	予　算 区　分	款　　土木費 項　　河川費 目　　河川新設改良費 大事業 国土強靭化推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	河川	管理者による改修と維持管理

事　業　目　的
河川・水路の環境保全と降雨時における冠水を防止し、市民の安全確保を行う。

主　な　事　業　内　容
・奥赤沢川：L型水路工　L=11m　3,000千円

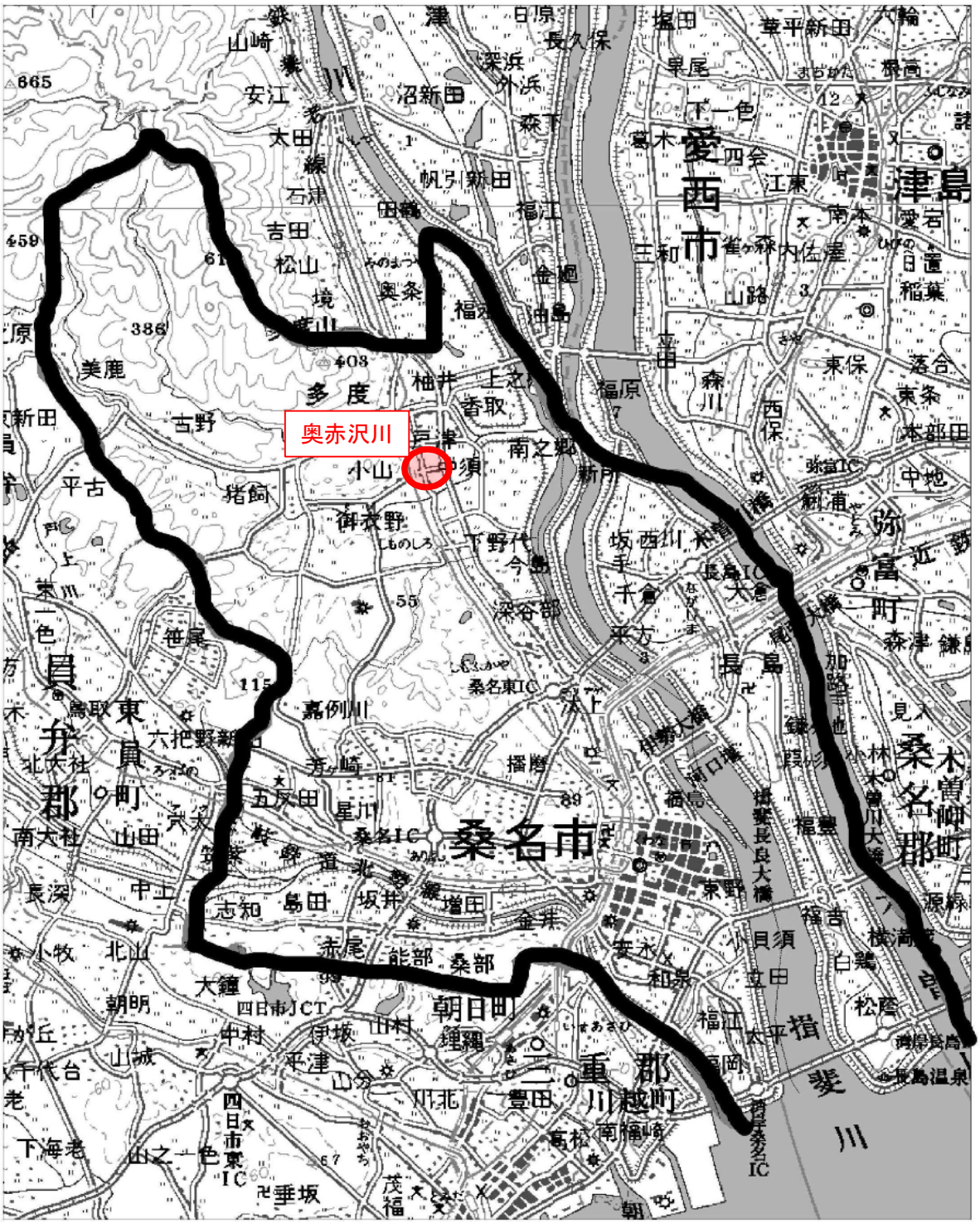
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度：奥赤沢川 ・令和4年度：奥赤沢川	R3	✓
	R4	✓
	R5	

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		3,000	25,500	▲ 22,500
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金			0
	地　　方　　債		24,500	▲ 24,500
	そ　　の　　他			0
	一　般　財　源	3,000	1,000	2,000
令和3年度その他財源内訳				

施工地名	桑名市内	市道名	
事業名	河川改良事業		

事業位置図



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　都市整備課

事業名称	中事業 都市計画道路評価検討事業費	予算区分	款　土木費 項　都市計画費 目　都市計画総務費 大事業　都市計画推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	その他

事業目的

長期間にわたり整備されていない都市計画道路について、計画決定時と比べて人口、交通量等の見通し及びまちづくりの方針が変化し、必要性を見直す路線がある。
路線の計画を見直し、新たな都市の将来像を提示することにより、土地の健全な利用促進を図る。また、建築制限をかけ続ける以上、計画の合理性を検証するとともに、効率的な道路行政の執行の観点から「選択と集中」を図るため、県のガイドラインに基づいて評価検討を行う。

主な事業内容

現行都市計画道路の問題点・課題を整理し、社会情勢の変化や将来像を踏まえる中で、現在求められる機能・必要性を明確にし、「三重県都市計画道路の見直しガイドライン」に基づく都市計画道路の見直し案を立案するとともに、その根拠資料として、まちづくりの方針を踏まえた必要性の検証、周辺への交通影響の確認のための交通量配分データ等を作成する。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度 市内全体の都市計画道路の評価検討に係る資料作成業務委託料　10,813千円 ・令和4年度 検討結果に基づく個別路線の都計変更に係る資料作成業務委託料　4,114千円	R3	✓
	R4	✓
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		10,813		10,813
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	10,813		10,813
令和3年度その他財源内訳				

～ 都市計画道路評価検討事業 ～

◆事業目的

長期間にわたり整備されていない都市計画道路について、計画決定時と比べて人口、交通量等の見通し及びまちづくりの方針が変化し、必要性を見直す路線がある。

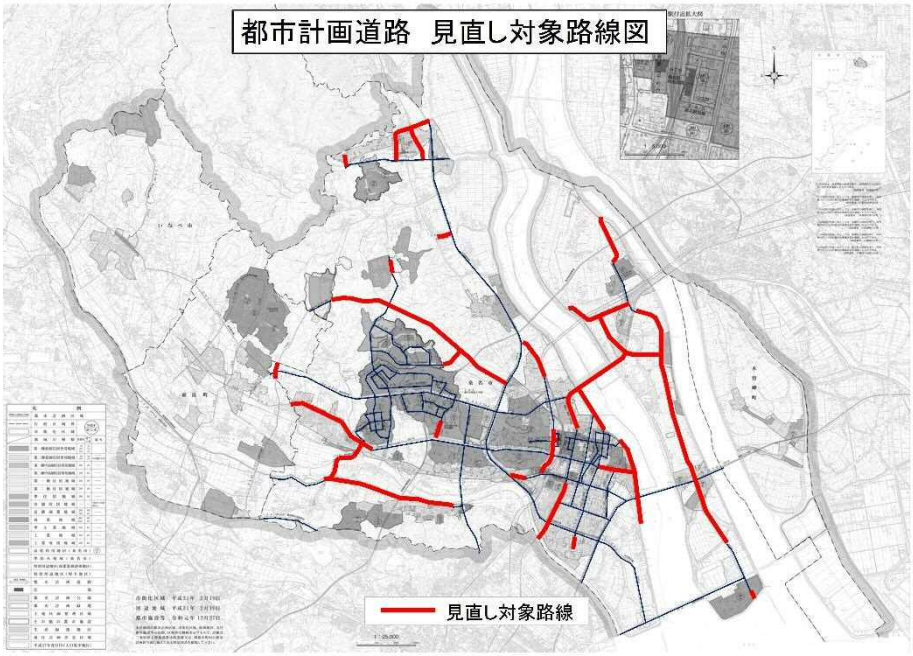
路線の計画を見直し、新たな都市の将来像を提示することにより、土地の健全な利用促進を図る。また、建築制限をかけ続ける以上、計画の合理性を検証するとともに、効率的な道路行政の執行の観点から「選択と集中」を図るため、県のガイドラインに基づいて見直しを行う。

なお、「道路」は総合計画の後期基本計画において３つのミッションに位置付けられる重要な施策であり、本事業により重点的に整備する路線を選択することで、効率的な投資を行い、交通利便性の向上を図る。

◆見直し対象路線

都市計画決定されている 47 路線のうち、23 路線が未整備かつ当初決定後 20 年以上経過しており、計画延長約 135km のうち、約 42km が未整備（暫定供用含む）となっている。

この未整備のうち、桑部播磨線と西口駅前線は事業実施中により見直し対象外とする。



◆県内の他市の状況

平成 19 年３月に三重県のガイドラインが策定されて以降、県内各市は都市計画道路の見直しを行い、路線または区間の廃止等を行っている。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　都市整備課

事業名称	中事業 都市計画図管理システム作成事業費	予算区分	款　土木費 項　都市計画費 目　都市計画総務費 大事業　DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	都市デザイン	その他

事業目的

令和2年末において、都市計画図は紙データで管理しており、更新作業に多大な労力が生じている。
また、ホームページで公開している図の解像度が低いため、閲覧性の向上を利用者から求められている。
そこで、都市計画図を電子データ化し、住所検索や閲覧性に優れた地図の作成を行う。（縮尺：1／25，000→1／2，500）
このことにより、用途地域等の問い合わせ対応事務の削減が見込まれるとともに、新しい生活様式による「密集回避」、「外出控え」に繋がり、新型コロナウイルス感染症対策となる事が見込まれる。

主な事業内容

・都市計画主題図データ更新
①庁内道路台帳管理システムに格納されている、平成20年に三重県市町総合事務組合にて作成した都市計画主題図について、都市計画決定図書等に基づき、既存のデータを更新する。
②共有デジタル地図と重ね合わせ、縮尺1／2，500にて出力し、校正を行う。
③作成データについては「都市計画主題図データ整備要領」に基づいたデータ形式（shape形式）にて作成する。
・地理情報システム構築
①庁内道路台帳管理システム及び公開型地理情報システムにて運用可能となるようセットアップ及びインストールを行う。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年5～6月　事業者選定 ・令和3年7～8月　既存データの更新 ・令和3年9～11月　共有デジタル地図と対比し、校正または点検 ・令和4年12月　主題図データ作成 ・令和4年1月　システムのセットアップ及びインストール	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		2,978		2,978
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	2,978		2,978

令和3年度その他財源内訳	

～ 都市計画図管理システム作成事業 ～

◆事業目的

令和２年末において、都市計画図は紙データで管理しており、更新作業に多大な労力が生じている。

また、ホームページで公開している図の解像度が低いため、閲覧性の向上を利用者から求められている。

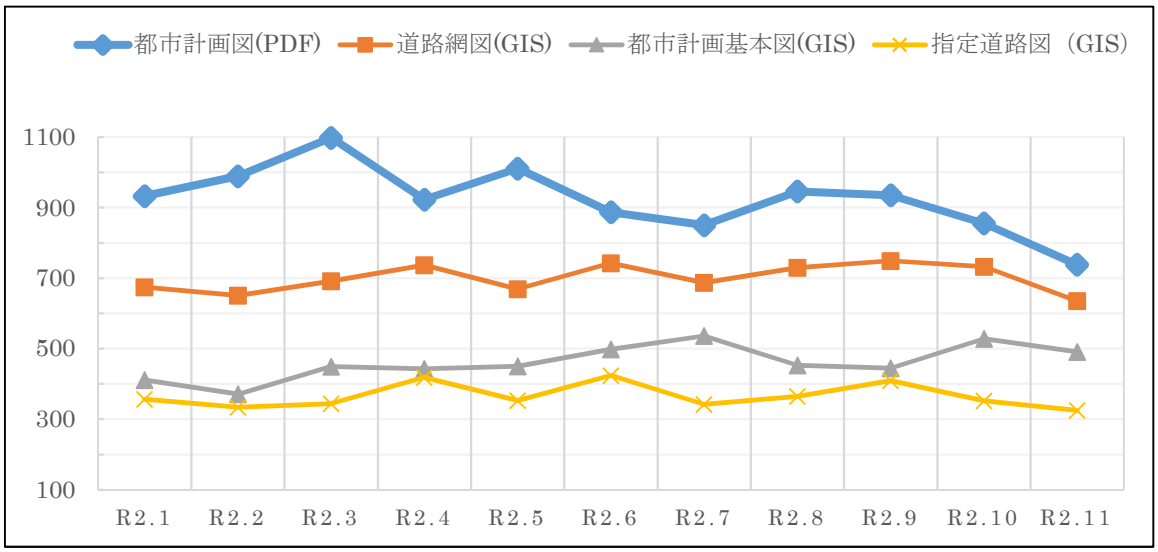
そこで、道路台帳管理システムを活用し、都市計画の情報を付加することで、住所検索や閲覧性に優れた地図を作成し、地図の高度利用化を図る。（縮尺：１／２５，０００→１／２，５００）

本事業にて、用途地域等の問い合わせ対応事務の削減が見込まれるとともに、新しい生活様式による「密集回避」、「外出控え」に繋がり、新型コロナウイルス感染症対策となる事が見込まれる。

◆ホームページにおける閲覧件数

市のホームページに掲載の地図情報システムには４種類の地図を公開しており、令和２年１～11 月の閲覧数は下表のとおりとなっている。

単位：件数



上表の結果から、都市計画図の閲覧頻度が他の図と比べて多く、市民から求められている情報であると言える。

土地利用を図る上で都市計画の用途地域を確認することは最も基本になる事であり、多くの方が閲覧しているものと考えられ、今後、一層の土地利用を図る上で分かりやすい都市計画図にする必要がある。

◆県内の他市町の状況

いなべ市、四日市市、鈴鹿市、亀山市、津市が GIS タイプを導入している。

他の市町は桑名市同様に PDF を公開しているところが多くあり、２町が桑名市の縮尺精度と同等で、その他の市町は桑名市より縮尺精度が良い情報を公開している。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　土木課

事業名称	中事業 桑部播磨線	予算区分	款　土木費 項　都市計画費 目　街路事業費 大事業　街路整備事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	道路	幹線道路などの整備

事業目的

本路線は、桑名市を南北に縦断する幹線道路として都市計画決定を受けており、みえ朝日ICや四日市市方面へのアクセス道路となっている。自動車交通の広域的分散に貢献し、渋滞緩和や産業振興を図る重要な路線として本道路を整備する。

主な事業内容

当該路線の未整備区間である国道421号から桑部橋南交差点付近までを県事業で整備する。
＜令和3年度事業費内訳＞
・建設事業負担金（橋梁詳細設計・地質調査・建物再算定）
　50,000千円（県事業費）　8,334千円（市負担金）
・事業主体は三重県であり、市は負担金を支払う。（負担率＝1／6）
・総事業費：約76億円（概算）
・桑名市指定天然記念物ヒメタイコウチ移植地（事業主体は市）
　406千円（役務費）　1,444千円（委託料）

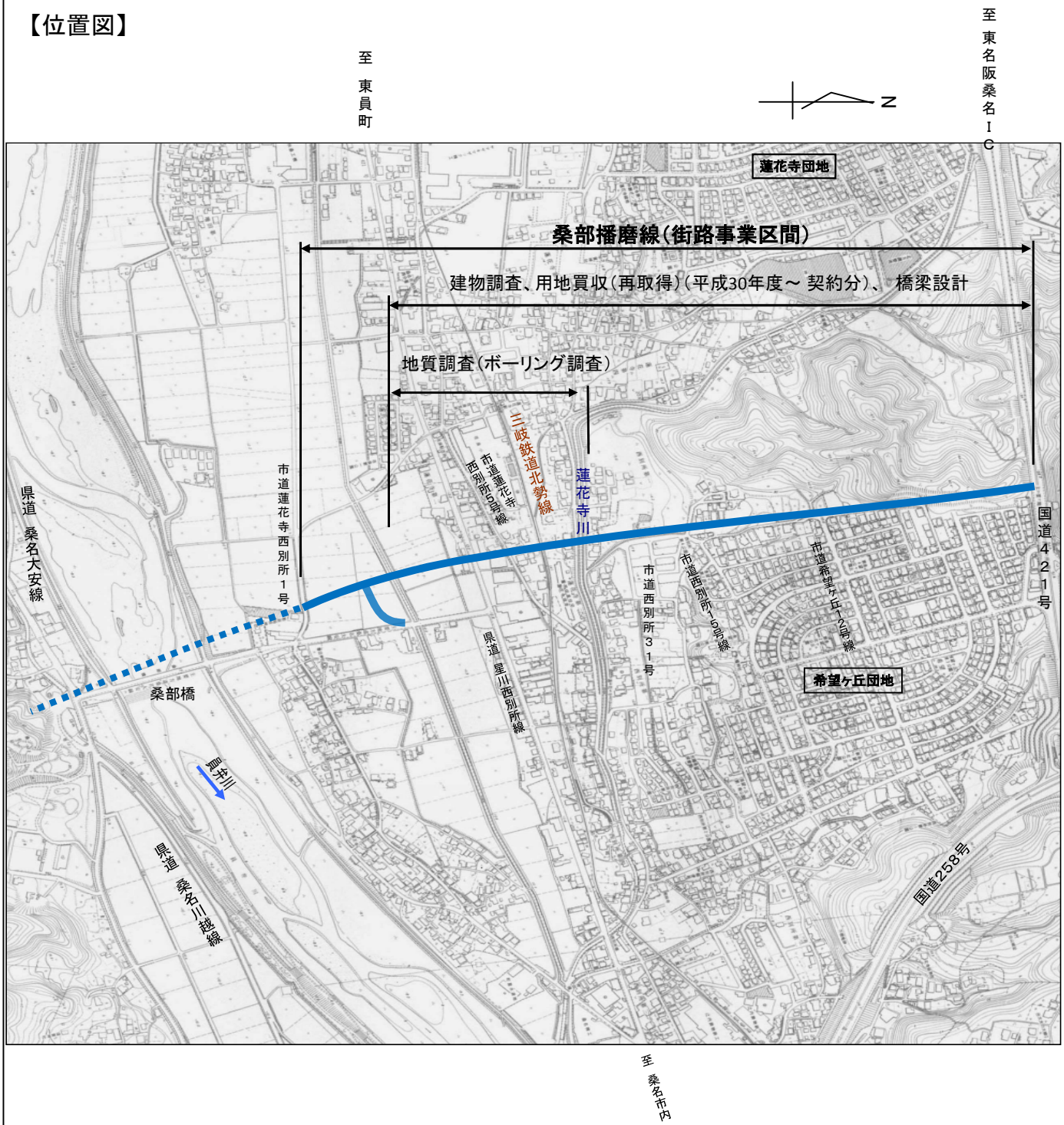
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度：橋梁詳細設計・地質調査・建物再算定・ビオトープ調査 ・令和4年度：調整池工・用地取得・建物再算定 ・令和5年度：橋梁下部工・補強土壁工・用地取得・建物再算定	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		10,184	47,500	▲ 37,316
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債	7,500	42,700	▲ 35,200
	その他			0
	一般財源	2,684	4,800	▲ 2,116
令和3年度その他財源内訳				

施行地名	桑名市稗田～蓮花寺地内	市道名	市道桑部播磨線
事業名	桑部播磨線　建設事業負担金		

【位置図】



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　土木課

事業名称	中事業 総合運動公園	予算区分	款　土木費 項　都市計画費 目　公園費 大事業 公園整備事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	都市デザイン	緑地、緑化の保全形成

事業目的

総合運動公園は、陽だまりの丘に隣接し、桑名市及び広域的な周辺地域の住民利用を目的とした、子どもから高齢者までの幅広い方々のライフスタイルに応じた生涯スポーツ実践の場として平成4年6月に事業認可を受けた。
本事業では、総合運動公園について、「緑の中のスポーツ・レクリエーション」をコンセプトとして、緑豊かな自然環境を活かし、多様な利用ができる公園づくりを目指し整備を行う。

主な事業内容

〇令和3年度総合運動公園整備事業
＜第二工区＞桑名市大字播磨地内
事業面積：0.5ha
・工事費：21,000千円（疎林広場）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度：疎林広場整備 ・令和4年度：基本・詳細設計、園路整備 ・令和5年度：敷地造成	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

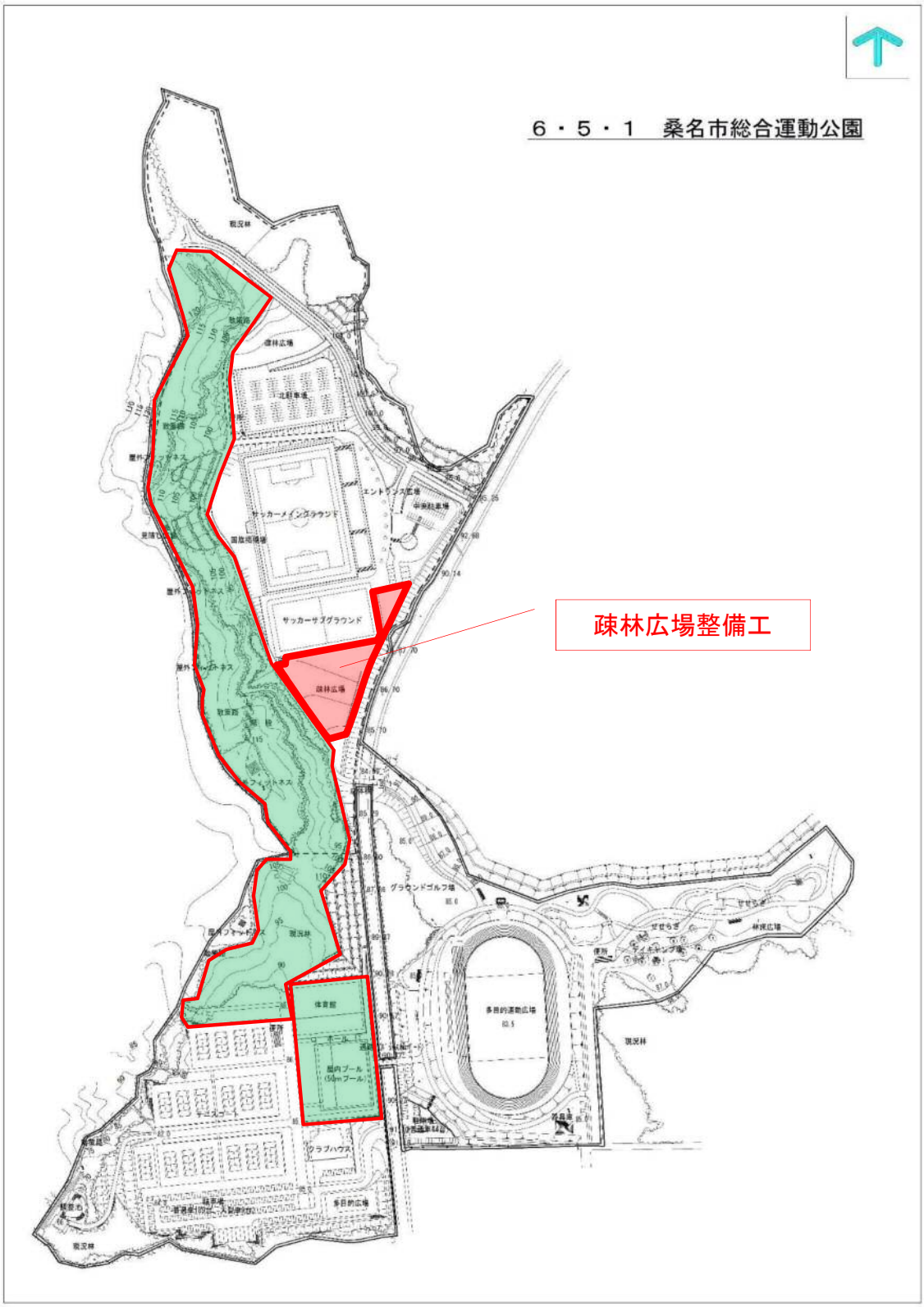
予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		21,000	65,060	▲ 44,060
財源内訳	国支出金	10,000	30,000	▲ 20,000
	県支出金			0
	地方債	9,000	27,000	▲ 18,000
	その他			0
	一般財源	2,000	8,060	▲ 6,060

令和3年度その他財源内訳	

施 工 地 名	桑名市大字播磨地内	公　園　名	桑名市総合運動公園
事　業　名	桑名市総合運動公園整備事業（第2工区）		

位 置 図



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　駅周辺整備課

事業名称	中事業 桑名駅周辺施設整備事業費	予算区分	款　土木費 項　都市計画費 目　土地区画整理事業費 大事業　ブランド推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	中心市街地	都市交流拠点の整備

事業目的

桑名駅周辺地区整備構想及び桑名駅自由通路整備に合わせ、桑名駅周辺を再編することにより、都市機能の集積を図り、利便性・安全性の向上及び賑わいと活力ある拠点づくりを進める。

主な事業内容

・桑名駅周辺複合施設等整備事業者選定委員会により決定した優先交渉権者との事業実施協定の締結を行う。
桑名駅周辺複合施設等整備事業実施協定締結等支援業務委託

・事業最終年度を迎えた都市再生整備計画の事業評価を行う。
都市再生整備計画事業事後評価業務委託

・桑名駅東口駅前広場の安全管理等を行う。
事業用消耗品、修繕料

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・平成28～29年度：暫定桑名駅東口駅前広場整備工事 ・平成30年度～：桑名駅周辺複合施設等整備事業者選定委員会開催 ・令和元年度～2年度：桑名駅東口駅前広場実施設計	R3	✓
・令和元年度：桑名駅周辺複合施設等整備事業プロポーザル実施による優先交渉権者決定 ・令和2年度：桑名駅周辺複合施設等整備事業に係る基本協定締結 桑名駅東口駅前広場（第2期）整備工事	R4	✓
・令和3年度：桑名駅周辺複合施設等整備事業に係る実施協定締結（予定）	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		17,020	55,821	▲ 38,801
財源内訳	国支出金	1,000	7,650	▲ 6,650
	県支出金			0
	地方債		8,800	▲ 8,800
	その他			0
	一般財源	16,020	39,371	▲ 23,351

令和3年度その他財源内訳	

桑名駅周辺複合施設整備事業

（スケジュール）

令和２年７月　基本協定締結

令和４年１月　事業実施協定締結（予定）

（提案概要）

【区域】必須区域、民有地・・・約5,600㎡

【施設】民間施設・・・ホテル等

公共施設・・・ロータリー、ペデストリアンデッキ等

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　駅周辺整備課

事業名称	中事業 桑名駅自由通路整備事業費	予算区分	款　土木費 項　都市計画費 目　土地区画整理事業費 大事業　ブランド推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	中心市街地	都市交流拠点の整備

事業目的

桑名駅周辺は、鉄道により東西に分断され、周辺の踏切等を利用せざるを得ない状況であり、利便性や踏切通過の安全性の観点から交通機能の整備が求められている。
桑名駅自由通路及び橋上駅舎を整備することにより、高齢者等の移動の円滑化、踏切事故の防止、災害時の緊急避難経路の確保等、地域住民の安全性・利便性の向上及び都市基盤や交通結節点としての機能強化を図る。

主な事業内容

・桑名駅自由通路整備工事委託（通路部等）　29,335千円
・桑名駅自由通路整備工事委託（橋上駅舎等）　908,158千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・平成29年度～：桑名駅自由通路及び橋上駅舎化整備工事 ・令和2年度：桑名駅自由通路及び橋上駅舎供用開始 ・令和3年度：既存駅舎等撤去完了（予定）	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		937,493	1,324,341	▲ 386,848
財源内訳	国支出金	84,075	102,159	▲ 18,084
	県支出金			0
	地方債	399,700	553,400	▲ 153,700
	その他			0
	一般財源	453,718	668,782	▲ 215,064

令和3年度その他財源内訳	

桑名駅自由通路整備計画図

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　桑名駅西整備事務所

事業名称	中事業 土地区画整備事業費	予算区分	款　土木費 項　都市計画費 目　土地区画整理事業費 大事業　桑名駅西土地区画整理事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	地理的優位性を活かした元気なまち	中心市街地	にぎわいある中心市街地の整備

事業目的

桑名駅西土地区画整理事業区域はJR・近鉄桑名駅の西側に隣接した桑名市の玄関口であるが、駅へのアクセス道路や駅前広場が未整備で木造密集市街地が連続するなど、早急な都市基盤整備が望まれる地域である。
このため、土地区画整備事業により道路・公園・駅前広場・下水道等の公共施設を整備し、ゆとりのある生活環境の造成、駅西口への交通処理の円滑化を図る。

主な事業内容

〇土地区画整理事業に伴う建物等移転補償を行う。
・建物等調査積算業務等委託　40,000千円　　・建物移転等補償　1,420,480千円
・移転補償に伴う関連工事（代替駐車場）　15,235千円　　・中断移転住宅定期建物賃借料　19,176千円
〇土地区画整理事業区域内のインフラ整備を行う。
・道路等整備工事（都市計画道路、区画道路整備等）　252,094千円
・道路関連修正設計等業務委託　11,938千円
・工事負担金（水道工事、下水道工事、ガス工事）　261,101千円
〇土地区画整理事業進捗に伴う法的手続きを行う。
・使用収益開始等業務委託　5,326千円

事業進捗状況（予定）等

※事業内容は、今後変更することがあります。

※（　%）は計画に対する進捗率

	令和元年度末	令和2年度末（予定）	令和3年度末（予定）
換地先使用面積（㎡）	34,000（19.8%）	41,876（24.4%）	51,854（30.2%）
移転補償契約戸数（戸）	247（55.8%）	279（63.0%）	307（69.3%）
整備道路延長（m）	2,043（24.4%）	2,540（30.3%）	4,246（50.7%）

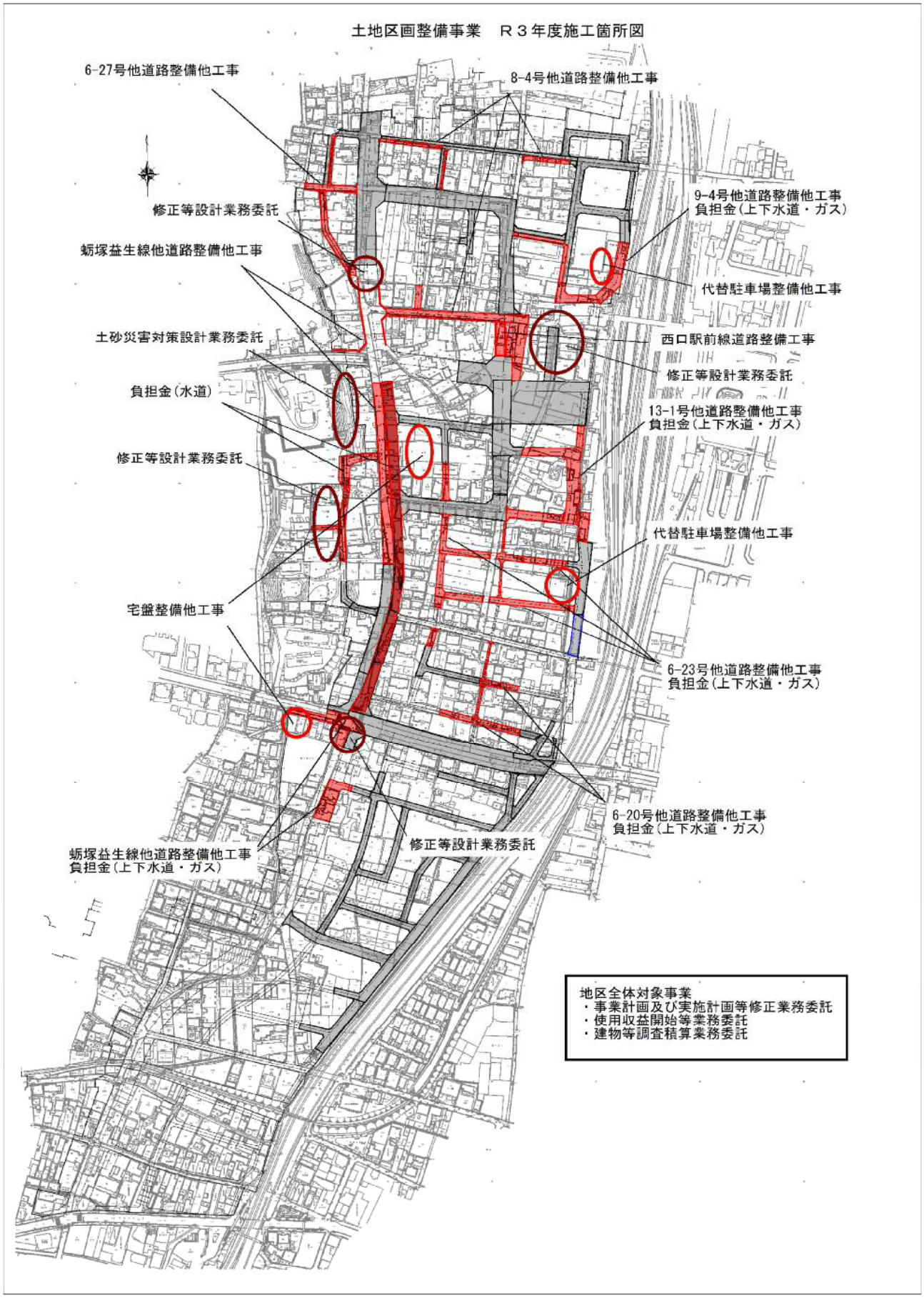
〇桑名駅西口駅前広場へのアクセス道路を中心に整備を進める。

計画年度	
R3	✓
R4	✓
R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		2,073,529	2,712,420	▲ 638,891
財源内訳	国支出金	81,910	1,088,345	▲ 1,006,435
	県支出金			0
	地方債	1,420,700	1,259,300	161,400
	その他	903	325	578
	一般財源	570,016	364,450	205,566

令和3年度その他財源内訳	土地売払収入　903千円


土地区画整備事業　Ｒ３年度施工箇所図
6-27号他道路整備他工事
8-4号他道路整備他工事
修正等設計業務委託
9-4号他道路整備他工事
負担金(上下水道・ガス)
蛎塚益生線他道路整備他工事
代替駐車場整備他工事
土砂災害対策設計業務委託
西口駅前線道路整備工事
修正等設計業務委託
負担金(水道)
13-1号他道路整備他工事
負担金(上下水道・ガス)
修正等設計業務委託
代替駐車場整備他工事
宅盤整備他工事
6-23号他道路整備他工事
負担金(上下水道・ガス)
6-20号他道路整備他工事
負担金(上下水道・ガス)
修正等設計業務委託
蛎塚益生線他道路整備他工事
負担金(上下水道・ガス)
地区全体対象事業
・事業計画及び実施計画等修正業務委託
・使用収益開始等業務委託
・建物等調査積算業務委託

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　都市管理課

事業名称	中事業 市営住宅解体撤去事業費	予算区分	款　土木費 項　住宅費 目　住宅管理費 大事業　公共施設等解体撤去事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	納税者の視点で次の世代に責任ある財政に・行財政改革	資産の有効活用・モノ	公共建築物、いわゆる「ハコモノ」のマネジメント

事業目的

耐用年数を超え、老朽化した市営住宅の解体撤去を行い、住環境の向上とライフサイクルコストの縮減につなげる。

主な事業内容

公営住宅の解体撤去工事
・羽田町第一市営住宅　2棟8戸
・羽田町第三市営住宅　1棟8戸
工事請負費：27,578千円

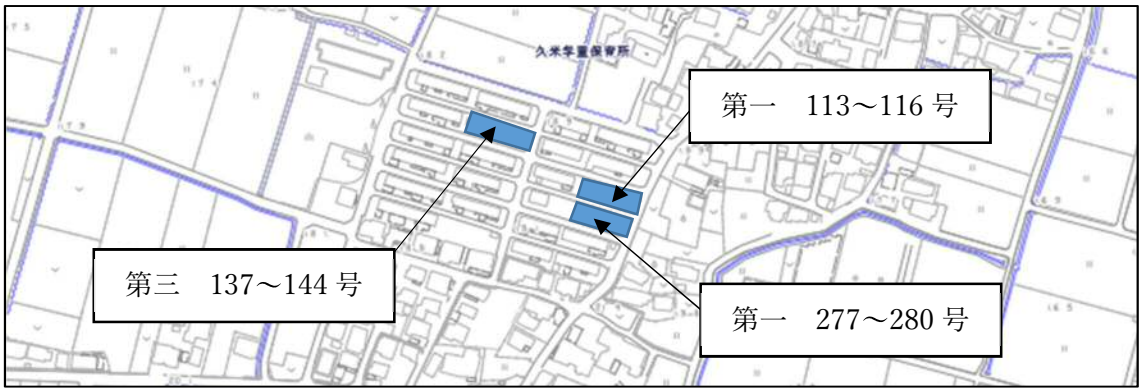
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
市営住宅解体撤去事業 ・平成28年度：羽田町第四住宅（1棟4戸） ・平成29年度：実績なし ・平成30年度：羽田町第一住宅（1棟4戸）、羽田町第二住宅（1棟4戸） ・令和元年度：羽田町第二住宅（3棟12戸）、深谷住宅3号 ・令和2年度：実績なし ・令和3年度：羽田町第一住宅（2棟8戸）、羽田町第三住宅（1棟8戸）	R3	✓
	R4	
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		27,578		27,578
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	27,578		27,578
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	公共施設整備基金繰入金　27,578千円

令和3年度　事業概要書(補足資料)　　**羽田市営住宅解体工事**



住宅名	第一　113 号～116 号
建設年度	昭和 40 年
構造	壁式 PC 造(平屋建て)
延床面積	182.17 ㎡
工事概要	解体撤去
工事費	7,468,970 円

住宅名	第一　277 号～280 号
建設年度	昭和 44 年
構造	壁式 PC 造(平屋建て)
延床面積	148.54 ㎡
工事概要	解体撤去
工事費	6,090,140 円

住宅名	第三　137 号～144 号
建設年度	昭和 42 年
構造	壁式 PC 造(2階建て)
延床面積	341.92 ㎡
工事概要	解体撤去
工事費	14,018,720 円

工事費合計	27,577,830 円

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　消防本部総務課

事業名称	中事業 防火水槽改修事業費	予算区分	款　消防費 項　消防費 目　常備消防費 大事業　消防施設整備事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	消防・救急	消防体制の充実強化

事業目的

安全性・耐久性・環境上の問題から、市内に設置されている古い露天式防火水槽（プール型）1基を地下式の防火水槽に改修工事し、災害時に有効な水利を確保する。

主な事業内容

・露天式防火水槽（在良9号）
　設置場所：桑名市蓮花寺第二地内　在良小学校南
　容量：90㎥
　農業用水の水位が上昇すると防火水槽にごみが流入したため、昭和58年に修繕工事を実施。
・工事内容
　既存の防火水槽内に耐震性のある防火水槽（40㎥）を設置する。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年4月　執行委任 令和3年6月　入札・契約 令和3年7月　打合せ 令和3年8月　改修工事 令和3年10月　完成	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

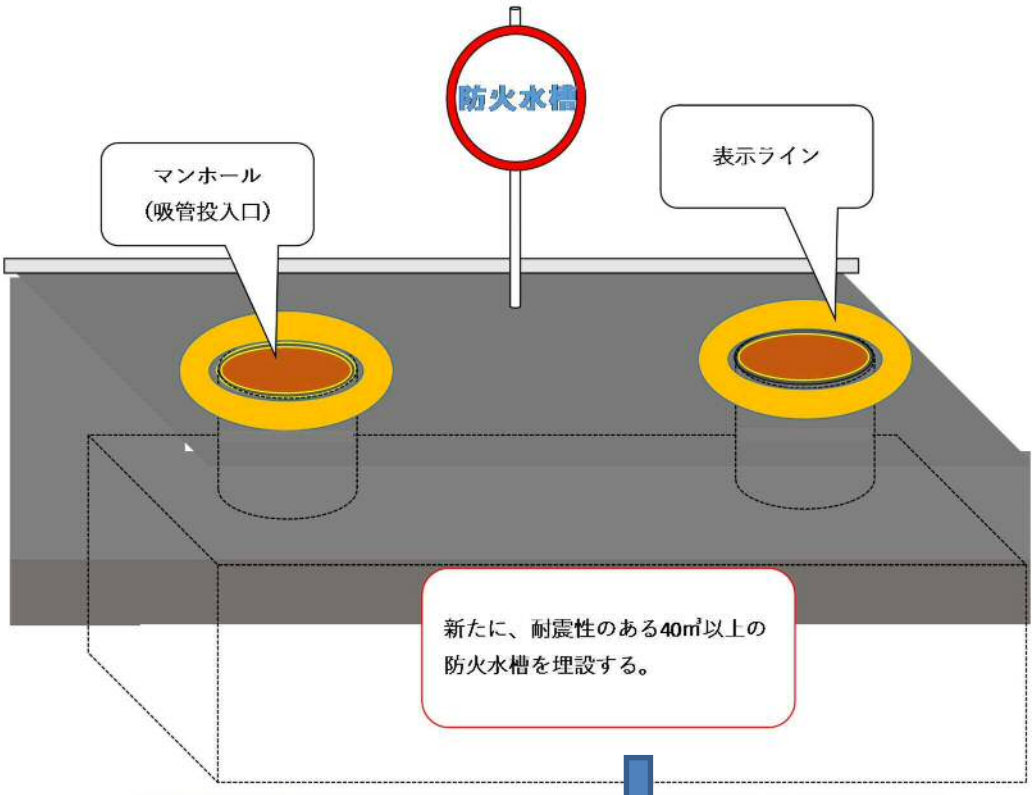
事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		16,492		16,492
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債	16,400		16,400
	その他			0
	一般財源	92		92
令和3年度その他財源内訳				

【防火水槽改修事業費】

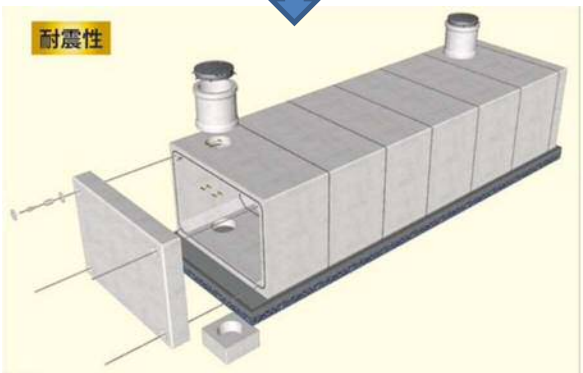
◎防火水槽改修事業費
・防火水槽1基設置（40 ㎥） 16,492,000 円≒14,992,000 円×1.1

約14.5m

防火水槽（プール型） 改修後



例



令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　消防本部総務課

事　業 名　称	中事業 消火栓整備費	予　算 区　分	款　消防費 項　消防費 目　常備消防費 大事業　消防水利施設整備事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	消防・救急	消防体制の充実強化

事　業　目　的

消防水利の環境整備を計画的に進める事により、火災発生時の消防活動に万全を期する。また、劣化が著しい消火栓は過去の事故のように市民生活やライフラインに極めて高い危険を及ぼす恐れがあることから、安全・安心なまちづくりのため早急な対策を実施する。

主　な　事　業　内　容

本市の消火栓の新設・交換・移設を実施する。
＜事業費内訳＞
・老朽化による改修7基（8,484千円）
・水道布設替えに伴う移設32基（25,760千円）
・上下水道部によるコストキャップ事業に伴う移設7基（3,122千円）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和3年度 老朽化による改修（7基）、水道布設替えに伴う移設（32基）、下水道事業に伴う移設（7基）	R3	✓
・令和4年度 老朽化による改修（17基）、水道布設替えに伴う移設（上下水道部と協議）、下水道事業に伴う移設 （上下水道部と協議）	R4	✓
・令和5年度 老朽化による改修（前年度実績による）、水道布設替えに伴う移設（上下水道部と協議）、下水道事	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		37,366	37,470	▲ 104
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金			0
	地　方　債	28,000	28,100	▲ 100
	そ　の　他			0
	一　般　財　源	9,366	9,370	▲ 4
令和3年度その他財源内訳				

消火栓整備事業実施計画

１　消火栓老朽化による改修：建設事業者負担金（水道事業者）

年度	対象箇所	１箇所の修繕費用	合計
2	10	863,000円	8,630,000円
3	7	1,212,000円	8,484,000円
4	17	1,212,000円	20,604,000円

・・①

令和２年度から３年計画で改修を行う。
令和２年度７月時点で使用不可10基、漏水等で修理要す24基、合計34基の改修が必要であるため、令和２年度10基、令和３年度7基、令和４年度17基とした３年計画での改修を行う。また、上下水道部と連携して、水道布設工事に合わせて改修するなど、無駄をなくし効率的な改修を実施していく。

２　水道管布設替えに伴う消火栓移設：建設事業者負担金（水道事業者）

旧桑名市、多度町、長島町

年度	対象箇所	１箇所の費用	合計
3	32	805,000円	25,760,000円

・・②

３　下水道事業（コストキャップ事業）に伴う消火栓移設：建設事業者負担金（水道事業者）

旧桑名市

年度	対象箇所	１箇所の費用	合計
3	7	446,000円	3,122,000円

・・③

令和３年度は、高塚町2基、北別所1基、東方4基

合計　　①＋②＋③　＝　37,366,000円

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　消防本部総務課

事業名称	中事業 消防活動用機器整備費	予算区分	款　消防費 項　消防費 目　常備消防費 大事業　消防活動用機器整備費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	消防・救急	消防体制の充実強化

事業目的

消防業務を取り巻く様々な事案に的確に対応し、消防体制の充実を図るため活動用機器を整備する。

主な事業内容

現場活動で劣化した消防ホースや老朽化した潜水隊用ドライスーツ、使用期限を越える空気ボンベを更新購入する。

・65mmホース 15本、40mmホース 40本
・空気ボンベ　6本
・ドライスーツ 4着

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
消防力の充実強化の為、引き続き計画的に更新・購入する。 ・令和3年度：消防ホース55本、空気ボンベ6本、ドライスーツ4着 ・令和4年度：消防ホース56本、空気ボンベ8本、ドライスーツ3着、ウェットスーツ6着 ・令和5年度：消防ホース56本、空気ボンベ8本、ウェットスーツ6着	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		3,375	4,232	▲ 857
財源内訳	国支出金			0
	県支出金		1,822	▲ 1,822
	地方債			0
	その他	1,199	1,504	▲ 305
	一般財源	2,176	906	1,270

令和3年度その他財源内訳	消防本部経費負担金　1,199千円

【消防活動用機器整備費】

◎消防活動用機器　　3,375,000 円
①【消防用ホース】55本 ②【空気ボンベ】6本 ③【ドライスーツ】4着

① 消防用ホースは、災害現場において消防隊員が放水による消火作業を行う際に使用する。

② 空気ボンベは、火災現場等の酸素欠乏場所や人体に有害な粉じん・ガス・蒸気等を吸入するおそれがある有害環境下において、呼吸用保護具に空気を供給するために使用する。

③ ドライスーツは、潜水隊が水難救助の際に、潜水中に体温が奪われるのを防ぎ、水中の有害な生物および岩礁などによる外傷を防ぐために着装する。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　消防本部総務課

事業名称	中事業 消防庁舎等再編整備アドバイザリー業務実施事業費	予算区分	款　消防費 項　消防費 目　常備消防費 大事業　消防庁舎等再編整備推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	消防・救急	消防体制の充実強化

事業目的

市民の安全・安心を確保し、さらなる強固な防災体制の確立と市民サービスの向上を図るため、消防本部の高台移転を含む消防庁舎等再編整備に向けた民間事業者の選定に係る支援業務等の費用を計上する。

主な事業内容

・消防本部の高台移転を含む消防庁舎等再編整備に向けた民間事業者の選定に係る支援業務を委託する。

※債務負担行為設定（令和2年度～令和3年度）

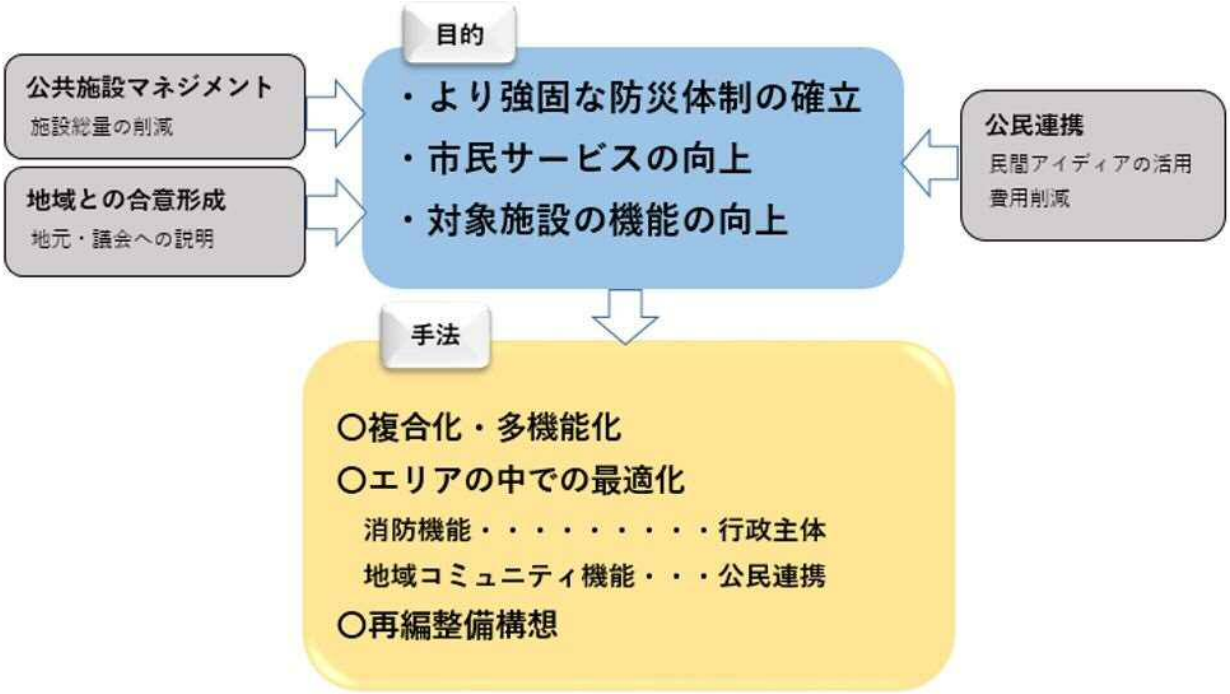
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和2年10月　「消防庁舎等再編整備構想」策定 ・令和2・3年度　整備に向けた事前準備 ・令和4・5年度　実施設計・建設工事 ・令和6年度　供用開始	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		8,000		8,000
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	8,000		8,000
令和3年度その他財源内訳				

消防庁舎等再編整備事業

1　消防庁舎等再編に向けた考え方



2　消防庁舎等再編整備構想（令和2年 10 月策定）

（１）再編整備の背景と目的
（２）消防庁舎等再編整備基本方針
（３）施設の必要性と基本機能（必要とされる機能）
（４）消防庁舎等再編の考え方
（５）消防庁舎等再編の施設整備方針

3　今後のスケジュール

令和２年１０月	「消防庁舎等再編整備構想」策定
令和２・３年度	整備に向けた事前準備
令和４・５年度	実施設計・建設工事
令和６年度	供用開始

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　消防本部総務課

事業名称	中事業 泡消火薬剤更新事業費	予算区分	款　消防費 項　消防費 目　常備消防費 大事業　消防車両積載装備整備事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	消防・救急	消防体制の充実強化

事業目的

第一種特定化学物質（製造・輸入の事実上禁止、特定用途以外での使用禁止、政令指定製品の輸入禁止等）に指定されているPFOS（ピーフォス）を含有する泡消火薬剤を廃棄し、PFOSを含有しない泡消火薬剤へ更新する。

主な事業内容

PFOS含有薬剤の廃棄については、桑名市消防署配備の桑名10（化学車）搭載分及び大山田分署配備の大山田1（化学車）搭載分をタンク内洗浄した上で廃棄し、PFOS含有のない薬剤への更新については、車両タンク容積に加えて予備薬剤を更新する。
・桑名10搭載分1,600ℓ及び大山田1搭載分300ℓの計1,900ℓ廃棄費用　1,632,400円
・桑名10搭載分1,600ℓ及び予備400ℓの計2,000ℓ更新費用　10,208,000円
・大山田1搭載分300ℓ及び予備100ℓの計400ℓ更新費用　2,041,600円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年4～5月　契約依頼 令和3年6月　入札 令和3年7月　決定業者と最終打合せ 令和3年8～9月　化学消防車薬液タンク洗浄及び泡消火薬剤投入	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		13,882		13,882
財源内訳	国支出金			0
	県支出金	2,814		2,814
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	11,068		11,068
令和3年度その他財源内訳				

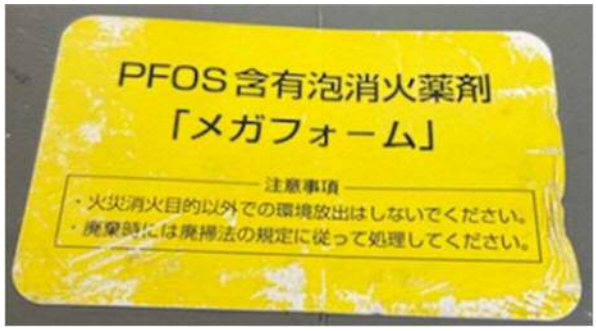
【泡消火薬剤更新事業費】 13,882,000 円

◎泡消火薬剤廃棄・清掃　1,632,400 円

① メガフォーム　F-610AT

桑名市消防署　　化学消防車タンク搭載 1600ℓの廃棄及び薬液タンクの清掃

大山田分署　　化学消防車タンク搭載 300ℓの廃棄及び薬液タンクの清掃



◎泡消火薬剤更新　　12,249,600 円

① メガフォーム　AGF-3T

桑名市消防署　　化学消防車タンク搭載用　1600ℓ　　予備　400ℓ

大山田分署　　化学消防車タンク搭載用　300ℓ　　予備 100ℓ

① 今回購入する泡消火薬剤は、ガソリン・灯油など液体燃料火災に対応する泡消火薬剤となっている。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　消防本部総務課

事業名称	中事業 車両購入費	予算区分	款　消防費 項　消防費 目　長島木曽岬分署消防費 大事業　消防施設整備事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	消防・救急	消防体制の充実強化

事業目的

車両整備計画に基づき、桑名市消防署長島木曽岬分署配備車両の1台を更新する。

主な事業内容

桑名市消防署長島木曽岬分署配備の「長島1」は平成11年度登録から21年経過となり、その使用頻度の高さからも更新が必要なため、水槽付消防ポンプ自動車を購入する。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年4月：車両設計及び仕様書の完成 令和3年6月：契約予定 令和4年1月：完成及び納車予定	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		56,653		56,653
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	16,594		16,594
	一般財源	40,059		40,059

令和3年度その他財源内訳	長島木曽岬分署受託事業負担金 16,594千円

【車両購入（桑名市消防署長島木曽岬分署）】

◎水槽付消防ポンプ自動車 56,653,000 円
・シャシ（キャブオーバー、ダブルシート、LED赤色警光灯等） ・積載品（A2級ポンプ、1,500ℓ水槽、消防用ホース、管鎗、三連梯子等） ・諸費用(中間検査旅費、リサイクル料金、自賠責保険料、自動車重量税、全国市有物件自動車損害共済加入料)

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　防災・危機管理課

事業名称	予算区分
中事業 備蓄用物資等拡充費	款　消防費 項　消防費 目　災害対策費 大事業　避難対策費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	防災	避難対策の推進

事業目的

地震や風水害等の災害時に被災者支援に必要となる備蓄用食糧及び資機材を計画的に整備する。

主な事業内容

飲料水、食糧等
・飲料水（12年保存） 4,800ℓ（500ml×9,600本） 1,071千円
・アルファ米（2,500食） 648千円、缶入り食パン（1,250食） 500千円、ビスケット類（3,000食） 616千円
・粉ミルク（15.55kg） 43千円、液体ミルク（432缶） 85千円
資機材
・トイレ用消耗品（5,000回分） 495千円、毛布（200枚） 616千円
・乳児用おむつ（6,096枚） 229千円、大人用おむつ（2,560枚） 203千円、生理用品（11,610個） 891千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和元年度 飲料水（12年保存）6,000ℓ（500ml×12,000本）、食糧6,300食、粉ミルク15.55kg、液体ミルク432缶、ゴムボート4艇　等	R3	✓
・令和2年度 飲料水（12年保存）6,000ℓ（500ml×12,000本）、食糧6,750食、粉ミルク15.55kg、液体ミルク432缶、毛布200枚、ゴムボート4艇　等	R4	✓
※令和3年度以降も「備蓄資機材等整備計画」に基づき、食糧、資機材を整備予定	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		5,397	6,154	▲ 757
財源内訳	国支出金			0
	県支出金	247	1,256	▲ 1,009
	地方債			0
	その他	5,150	4,898	252
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　5,150千円

備蓄資機材整備費

地震や風水害等の災害時において、被災者支援に必要となる備蓄用食糧及び資機材を備蓄資機材等整備計画に基づき整備する。

〇備蓄資機材等整備計画

No	品目	備　蓄 計画数	令和元年度末 備蓄数	購入予定数量等				備考
				令和2年度	令和3年度	令和4年度 以降	完了予定	
1	保存水 （500mlペットボトル換算）	882,000 （1,764,000本）	6,570.5 （13,141本）	6,000 （12,000本）	4,800 （9,600本）	864629.5 （1,729,259本）	－	12年保存水
2	食糧	186,480食	63,992食	6,750食	6,750食	108,988食	－	
3	乳児用ミルク （上段：粉ミルク） （下段：液体ミルク）	粉ミルク 27.6kg 相当	15.55kg	15.55kg	15.55kg	15.55kg	－	粉ミルク15.55Kg 液体ミルク432缶 （粉ミルク換算14Kg相当）
			432本	432本	432本	432本	－	
4	哺乳瓶	986本	1,000本	－	－	1,000本	－	使用期限3年
5	毛布	31,080枚	5,580枚	200枚	200枚	25,100枚	－	
6	新生児用おむつ	11,437枚	11,736枚	－	6,096枚	－	－	使用期限3年
7	大人用おむつ	2,486枚	4,912枚	－	2,560枚	－	－	使用期限3年
8	生理用品	10,715枚	10,500枚	－	11,610枚	－	－	使用期限3年
9	トイレテント	696張	736張	－	－	－	済	
10	ワンタッチトイレ	696台	701台	－	－	－	済	
11	トイレ消耗品	295,000回	143,100回	7,000回	5,000回	139,900回	－	
12	トイレットペーパー	11,189巻	11,415巻	－	－	－	済	
13	ファミリールーム	1,509張	1,497張	－	－	－	済	
14	プライベートルーム	74張	74張	－	－	－	済	
15	ゴムボート	26艇	22艇	4艇	－	－	済	浸水想定区域
16	ライフジャケット	647着	617着	32着	－	－	済	浸水想定区域
17	浄水機	31台	31台	－	－	－	済	令和元年度から 長期保存水に移行

注：1～12公的備蓄計画数については、三重県が平成29年12月に策定した「三重県備蓄・調達基本方針」による。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　防災・危機管理課

事業名称	中事業 保存版ハザードマップ作成費	予算区分	款　消防費 項　消防費 目　災害対策費 大事業　避難対策費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	防災	避難対策の推進

事業目的

令和2年度に高潮浸水想定区域図が三重県より公表され、また土砂災害（特別）警戒区域が前回（平成31年3月発行）のハザードマップ配布後に新たに指定されるなど、多くの被害想定が追加・更新されてきたことから、住民向けに新たにハザードマップを作成し、配布する。

主な事業内容

新たなハザードマップを作成し、「広報くわな特別号」（仮称）として配布する。
「津波浸水想定区域図」のほか、「河川ごとの浸水想定区域図」、「土砂災害（特別）警戒区域図」、「新たに公表された高潮浸水想定区域図」等を掲載する。

広報くわな増刊分及びハザードマップデータ作成業務が本事業に係る金額となる。
＜印刷製本費＞3,045千円
＜委託料＞データ作成費1,059千円　配布委託180千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年4～5月　事業者選定 令和3年6～9月　掲載するハザードマップデータの作成及び広報くわな特別号（仮称）の発行 令和3年10月～　住民への配布	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		4,284		4,284
財源内訳	国支出金			0
	県支出金	2,141		2,141
	地方債			0
	その他	2,143		2,143
	一般財源			0

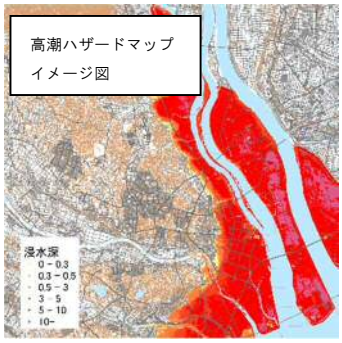
令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　2,143千円

新しいハザードマップの概要

40 ページ程度の冊子形式で、「高潮」「洪水」「土砂災害」「津波」「ため池」のハザードを掲載する。

〇高潮について

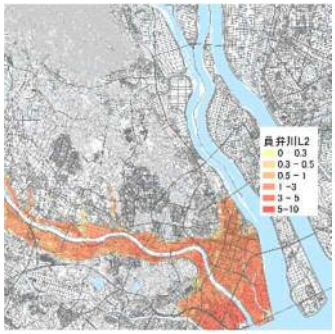
令和2年度に三重県が高潮の浸水想定区域図を公表したことに伴い新たに高潮のハザードマップを作成し、高台に開設する避難所やバスでの移送等、桑名市に特化した内容を掲載する。



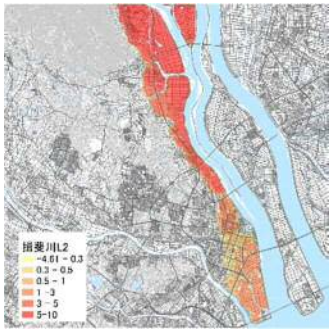
〇洪水について

現状は浸水想定が公表されている河川の浸水想定区域図を重ね合わせて一つのハザードマップにしているが、河川ごとのハザードをより細かく周知するために、河川ごとのハザードマップを作成する。

＜員弁川＞



＜揖斐川＞



〇土砂災害警戒区域について

現在ハザードマップに掲載されているのが平成 30 年度までに指定された箇所のみなので、令和元年度より新たに指定された箇所（在良、七和、久米、桑部地区等）についても掲載する。

〇津波について

平成 25 年度に県が公表した津波浸水想定区域図を引き続き引用し、避難場所等の情報を最新のものに更新する。

〇ため池ハザードマップについて

平成 29 年度に農林水産課が公表した、ため池が決壊した際の浸水想定について掲載する。ため池がそれぞれ決壊した際の浸水想定を重ね合わせたものを掲載する予定。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　防災・危機管理課

事業名称	中事業 戸別受信機整備費	予算区分	款　消防費 項　消防費 目　災害対策費 大事業　防災関連情報費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	防災	避難対策の推進

事業目的

電波法関連法令・無線設備規則の改正により令和4年11月30日に旧スプリアス規格の特定無線設備が使用できなくなるため、今後使用できなくなる戸別受信機に代わり、新規制に対応した防災情報の取得を行うための戸別受信機の購入、利用に伴う整備を行う。

主な事業内容

災害時に避難情報や避難所開設情報等を伝達するための「戸別受信機」を配備する。現在の防災行政無線（同報系）には風水害時に屋内で聞こえにくく、また土砂災害警戒区域等の危険個所を有する高台には配備されていないという課題を抱え、さらに長島地区等に配布されている現在の戸別受信機が法改正により令和4年11月で使用できなくなることから、新たな「戸別受信機」を市内全域を対象に、これを必要とする世帯に配布できるようにする。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年度 ・戸別受信機必要数調査　1,000千円 ・戸別受信機購入費　19,800千円（2,000台×9千円×1.1） ・貸与個別受信機使用料（歳入）　5,400千円（1,800台分×3千円）	R3	✓
令和4年度 ・戸別受信機受信負担金　8,008千円　（910千円×8ヶ月×1.1） ・戸別受信機購入費　9,900千円（1,000台分×9千円×1.1）	R4	✓
・貸与戸別受信機使用料（歳入）　2,700千円（900台分×3千円） ※貸与戸別受信機使用料1台あたり3千円徴収	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		20,800		20,800
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	20,800		20,800
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　15,400千円、貸与戸別受信機使用料　5,400千円

戸別受信機について

現　状

長島全域（約 4,500 台）、多度一部地域（約 100 台）に配布

スプリアス規格の変更に伴い、令和4年 11 月末で**旧規格は使用できなくなる**

検　討（戸別受信機は今後も必要か否か）

「同報系防災行政無線が聞こえないエリア」「モバイル端末等で防災情報を取得できない住民」に対して**今後も必要**

手　法

現在の同報系防災行政無線は戸別受信機に対応できないため、FM 放送網を用いた戸別受信機を整備する。

コミュニティ FM を利用

メリット	・災害時においても市の判断で柔軟な放送が可能 ・コミュニティFM放送のエリア拡大が図れる
デメリット	・新たな中継局の開設が必要で高額の設置費用と維持管理費が必要 ・将来の事業見直しや廃止が困難

広域 FM を利用

メリット	・市が新たな設備を抱える必要がなく、他の方式よりも低コストで運用可能 ・将来の事業見直しや廃止が容易
デメリット	・災害時の情報伝達に放送上の一定の制約が生じる

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　防災・危機管理課

事業名称	中事業 津波避難施設整備費	予算区分	款　消防費 項　消防費 目　災害対策費 大事業　国土強靭化推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	防災	避難対策の推進

事業目的

南海トラフ地震発生時の津波浸水想定等を踏まえ、地理的に津波からの避難が極めて困難となることが想定される地区（長島町伊曽島地区）に一時的な津波避難施設となる「津波避難誘導デッキ」を整備する。

主な事業内容

＜令和3年度＞
地質調査：5,253,600円
設計：11,526,900円
解体：24,750,000円

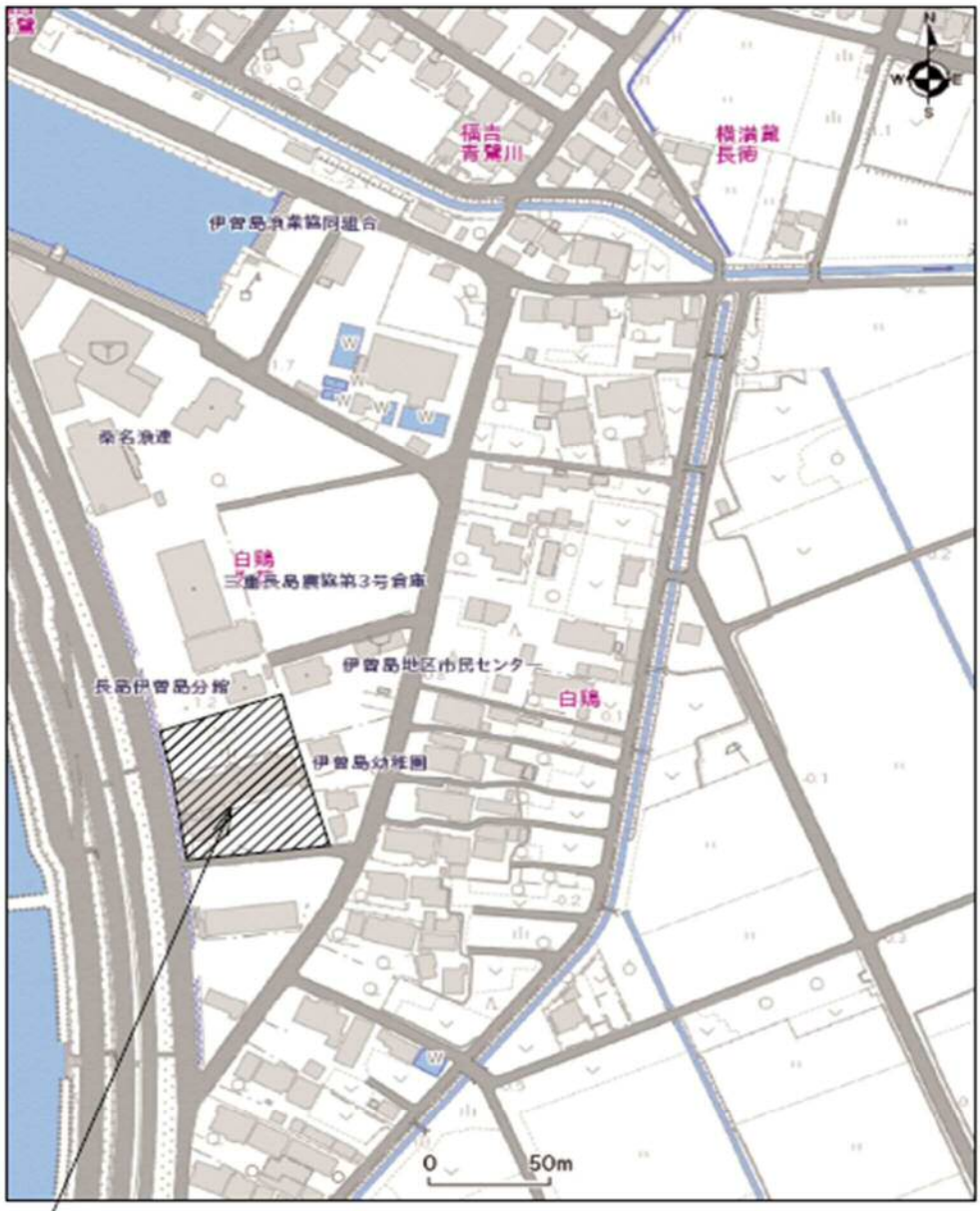
※債務負担行為設定（令和2年度～令和4年度）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
＜令和2年度＞ ・契約　・解体工事着手 ＜令和3年度＞ ・解体工事　・地質調査 ・基本設計・実施設計 ＜令和4年度＞ ・完成予定	R3	✓
	R4	✓
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		41,531	12,525	29,006
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債	39,100	7,000	32,100
	その他			0
	一般財源	2,431	5,525	▲ 3,094
令和3年度その他財源内訳				

位　置　図



工事場所：桑名市長島町白鶏1番地19（旧伊曽島幼稚園跡地）
桑名市長島町白鶏1番地2（長島伊曽島分館未整備箇所）

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　学校支援課

事業名称	中事業 学校指導体制支援事業費	予算区分	款　教育費 項　教育総務費 目　教育振興費 大事業　児童生徒指導事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	豊かな心の育成

事業目的

いじめ・不登校・個別の支援・子どもの貧困等、教育現場における課題は多様化・複雑化しており、専門的で組織的かつ適切な対応・支援が求められている。そのため、幼児・児童生徒・保護者の不安や悩みを解消するとともに、福祉的な視点からのアプローチ等により、学習及び生活環境を整え組織的な支援体制を確立する。

主な事業内容

＜スクールソーシャルワーカー、以下SSW＞市教育委員会に臨床心理士や社会福祉士等をSSWとして配置し、小中学校、県立学校における福祉的なアプローチが必要な事案に対して、SSWが具体的な指導助言を行う。また、SSWによる福祉的なアプローチで学校、家庭、地域に働きかけるとともに、学校内外の専門家が、それぞれの立場の専門性を十分に発揮できるような環境整備に努める。
＜スクールハートパートナー、以下SHP＞SSWを中心とした支援体制のもと、SHPが小学校における日常的な見守りや初期対応の支援にあたる。また、状況により中学校支援にも対応する。
＜教育相談員＞学校生活・不登校・発達等について、臨床心理士・特別支援教育士等による相談窓口を設置する。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
＜SSW＞配置6年目。週3日（1日7時間）、年間35週を基本に勤務し、学校からの相談・要請に応じて、児童生徒支援・保護者支援・学校支援等にあたる。スクールカウンセラー、以下SCやSHP、児童相談所の他、関係機関を交えたケース会議等の中核を担う。 ＜SHP＞配置5年目。中学校ブロックで1名(最多人数校区には2名)、計10名。週3日（1日5時間）、年間35週を基本に、ブロック内の小学校を巡回。SCやSSWと連携しながら、学校の要請にあわせて子どもの見守り、初期対応にあたる。 ＜教育相談員＞教育研究所にて年間455時間の相談枠を設け、不登校や発達にかかわる相談を受ける。必要に応じ発達検査も行う。予約制。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

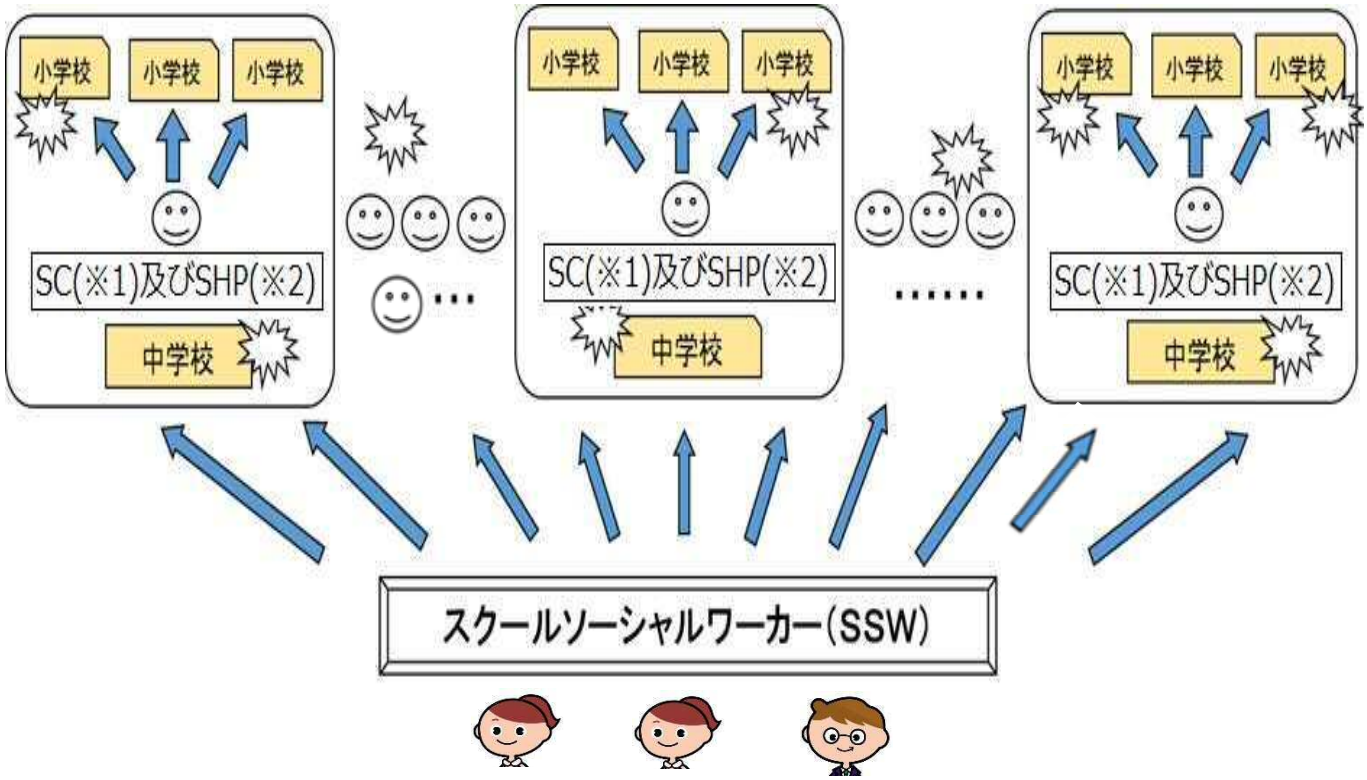
予算額（単位:千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		11,777	11,829	▲ 52
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	11,777	11,829	▲ 52
令和3年度その他財源内訳				

桑名市における学校指導体制について

児童生徒の生徒指導上の対応、個別の支援を要する児童生徒への指導、さらには子どもの生活にかかわる問題への対応など、教育現場における課題は多様化しており、より適切な対応が求められています。困り感をもった当事者・支援者・関係者である児童生徒や保護者、教職員の悩みや問題等を解決するため、家庭・地域・関係機関・団体等と連携しながら、助言・支援を行う学校指導体制の整備を行っています。

９つの中学校区ごとに　小中一貫教育を見据えた学校支援を充実



各小中学校を事案ごとに支援　「複雑な要因をもつ事案への組織的な対応」と「個別支援」

○　児童 生徒、保護者との専門的な知識・技術を用いた面談
○　福祉等の関係機関等とのネットワークを活用した支援
○　保護者理解、家庭理解の促進に向けた教師への助言

(※1)SC【スクールカウンセラー】
児童生徒の心の悩みに対応することを目的とする精神科医、学校カウンセラー、学校心理士、臨床心理士等の専門家。

(※2)SHP【スクールハートパートナー】
各中学校ブロックに１名（最多人数校区には２名）配置し、中学校区内各小学校において、学校として気になる子どもの見守りや相談、課題のある児童の支援を図る職員。状況により、中学校支援にも対応する。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　学校支援課

事業名称	中事業 英語教育プラン推進事業費	予算区分	款　教育費 項　教育総務費 目　教育振興費 大事業　児童生徒指導事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	世界に向けて開かれたまち	国際理解教育	英語教育の推進

事業目的

グローバル化の進む社会において、自己実現をし、さまざまな人々と共生していくためのコミュニケーション力の育成を図るための英語教育が円滑かつ効果的に進められるよう、各小中学校において、指導方法及び指導体制の充実を図る。

主な事業内容

・市立小中学校において、桑名市英語教育プランを推進するため、外国語指導助手(ALT)、英語教育支援員(JTE)を派遣し、授業の補助や指導教材の作成、校内研修の補助を行う。
・新学習指導要領の全面実施を踏まえた指導改善をより一層推進する。
・英語を使って積極的にコミュニケーションを図る機会を創出するため、桑名子ども英語コンテストを行う。
＜事業費内訳＞
外国語指導助手(JET-ALT)関係経費 4,023千円
桑名子ども英語コンテスト　　146千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
＜通年＞ ・市立幼稚園、小学校に英語教育支援員(JTE)及び小学校専属語学指導員(ALT)を派遣し、英語科の授業支援及び英語教育の支援を行う。 ・市立中学校に外国語指導助手(ALT)を派遣し、英語科の授業支援を行う。 ＜令和3年11月14日＞ ・桑名子ども英語コンテストを行い、桑名市英語教育プランの成果発表の場とする。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		4,169	4,071	98
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	1,008	1,008	0
	一般財源	3,161	3,063	98

令和3年度その他財源内訳	外国語指導助手家賃本人負担金　1,008千円

桑名市　外国語教育について

●くわなっ子教育ビジョン

【基本方針Ⅰ】確かな学力の定着と向上　5外国語教育の推進

●桑名市英語教育プラン推進事業　4,169 千円（一般財源 3,161 千円）[賃金等は会計年度任用職員給として計上]

グローバル化の進む社会において、自己実現をし、さまざまな人々と共生していくためのコミュニケーション力の育成を図るための英語教育が円滑かつ効果的に進められるよう、各小中学校において、指導方法及び指導体制の充実を図る。

令和２年度
小学校新学習指導要領
全面実施

→ 令和3年度
中学校新学習指導要領
全面実施

→ 令和4年度
全国学力・学習状況調査
（中学校英語）実施

幼稚園・小学校1～2年生　ALT〈外国語指導助手〉**（＊小学校3～6年生にも派遣可能）**

小学校専属 ALT 及び中学校 ALT を各幼稚園・小学校に要請に応じて派遣

・小学校専属ALT　1名　週3回（4時間）各幼稚園・小学校で担任とのTT（ティーム・ティーチング）を行う。

・生きた英語によるインプット、発音のモデル

ALT・JTE の活用
〇コミュニケーションの相手：英語を使える、わかる喜びを体験
〇生きた英語、発音のモデル
〇効果的な TT

小学校3～6年生　（JTE〈英語教育支援員〉を活用）

JTE13名を各小学校に派遣
JTE13名は各中学校区を基本として配置する。支援員は週2日8時間勤務し、担任等とのTTを行う。

小学校5年生・中学校2年生

年間 146 千円
桑名子ども英語コンテスト

英語を使って積極的に
コミュニケーションを図る機会を創出

・11月14日に小学5年生・中学2年生を対象に行う。

・英語でのふるさと自慢等の内容をグループで発表する。

・6月より、コンテストに向けた練習の機会として「くわっぱ英語教室」を実施。

中学校1～3年生　（ALT〈外国語指導助手〉を活用）

年間 4,023 千円（経費、負担金等）
ALT３名を各中学校に派遣　＊ALT１名が中学校３校を担当する

・中学校ALT（JETプログラム）3名　1名が3中学校を1か月ごとに回り、英語教員とのTTを行う。
週1回は幼稚園・小学校で指導、週4回は中学校で指導をする。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　学校支援課

事業名称	中事業 くわなの宝はまぐり体験事業費	予算区分	款　教育費 項　教育総務費 目　教育振興費 大事業 SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	地域とともにある学校づくり

事業目的

桑名市におけるブランドの一つである「はまぐり」の歴史や、復活の取り組み等を学ぶとともに、干潟での潮干狩りを体験することにより、『桑名の宝』である「はまぐり」を、同じく『桑名の宝』である子どもたちに伝えていく。

主な事業内容

桑名の名産である「はまぐり」の生態や「はまぐり」漁の歴史等を学習する。干潟（城南沖干潟）で実際に潮干狩りを体験し、自然の恵みや環境保全等について学習する。
実施予定時期：5月開催（悪天候等による予備日は10月を予定）
実施計画：市内小学校のうち、5年生を対象に年間9校程度で実施
＜事業費内訳＞
・バス等借上料　1,700千円
・イベント保険料　200千円
・消耗品費　100千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・現地で、漁獲量の回復までの取り組みや苦労されたことのお話を聞きながら、事前学習をより一層深めることができた。 ・令和元年度　10月15日　9校実施 ・令和2年度　10月15日　9校実施 ・令和3年度　5月25日　8校実施予定	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		2,000	2,980	▲ 980
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	2,000	2,980	▲ 980
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　2,000千円

くわなの宝はまぐり体験事業

１．事業目的

桑名市におけるブランドの一つである「はまぐり」の歴史や、復活の取り組み等を学ぶとともに、干潟での潮干狩りを体験することにより、『桑名の宝』である「はまぐり」を、同じく『桑名の宝』である子どもたちに伝えていく。

２．対象

市内小学校５年生（市内９校程度）
３年間で全ての学校が実施する

３．概要

桑名市総合計画「こどもを３人育てられるまち」「学校教育」「地域とともにある学校づくり」の取り組みの一環として、赤須賀漁業協同組合と連携し、本事業を実施している。

小学校社会科で「３　水産業のさかんな地域」「４　これからの食料生産」の単元の中で、「わたしたちの食生活と水産物」「銚子漁港のようす」「魚をとりながら保つ取り組み」の学習を行っている５年生が適していると考える。

この学習を行う際、地元桑名の恵まれた自然環境を生かした水産業について学習するとともに、現地で学習、体験学習（潮干狩り）を行うことで深い学びにつなげたい。

また、社会科だけでなく、地域学習や持続可能な環境教育、総合的な学習の一環として捉えることもでき、様々な学習のつながりも期待できると考える。

現在北勢第一地区で採択されている５年生社会科教科書＜日本文教出版＞

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　人権教育課

事業名称	中事業 初期日本語指導教室「なかま」運営事業費	予算区分	款　教育費 項　教育総務費 目　教育振興費 大事業 SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	世界に向けて開かれたまち	国際理解教育	外国人児童・生徒の学校生活支援の充実

事業目的

来日間もない等の理由から日本語指導が必要な児童生徒に対して、初期日本語指導や学校生活への適応支援を行い、必要に応じて保護者の教育相談にも対応しながら、子どもたちが将来進学や就労等、日本での生活に見通しと展望がもてることをめざす。

主な事業内容

・ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語等の母語スタッフによる初期日本語指導や、日本の学校生活への適応支援
・保護者への就学、教育相談
・日本語指導教材の紹介など、市内各小中学校への外国人児童生徒教育に係る情報提供

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和2年6月、外国人児童生徒教育拠点校である大山田北小学校内に開室した。 ・スタッフとして室長（教諭）1名とタガログ語等母語対応スタッフ（外国人児童生徒教育非常勤協力員）2名が配置されている。 ・開室後しばらくは新型コロナウイルス感染症拡大により外国人世帯の本市への転入が途絶えたが、拠点校である大山田北小学校の児童を中心に、初期日本語指導を行っている。 ・今後は市内拠点校以外に転入した児童生徒が通級する形での教室利用も見込まれる。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

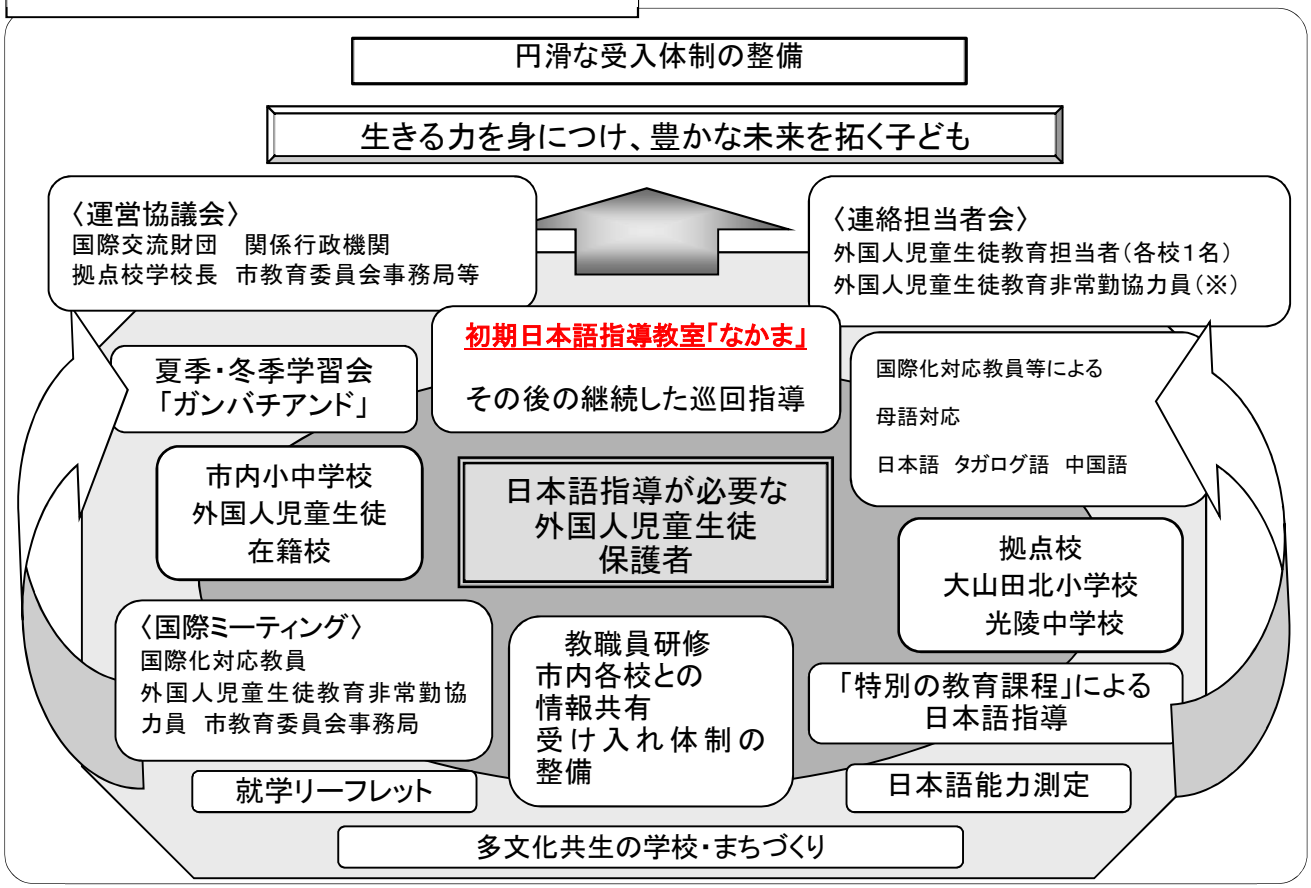
予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		80		80
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	80		80

令和3年度その他財源内訳	

初期日本語指導教室「なかま」運営事業費

桑名市外国人児童生徒教育推進事業の実施体制



※外国人児童生徒教育非常勤協力員
ポルトガル語対応３名、スペイン語対応３名、タガログ語対応３名、中国語対応２人名

「なかま」パンフレットより抜粋

1 目的

日本語指導が必要な児童生徒に対して、初期的な日本語指導や日本の学校への適応支援を一定期間集中して行います。また、保護者の教育相談にも応じます。

2 対象児童生徒

桑名市に在住し、①または②、①と②の両方に該当する就学年齢の外国につながる児童生徒
①日本語による基本的な日常会話ができない。
②ひらがな、カタカナの読み書きができない。

3 学習内容

○日本語の初期的な指導
・日本語による日常会話
・ひらがな、カタカナ、小学生低学年の漢字の読み書き
○初期適応支援
・日本の学校生活や慣習に慣れる

4 スケジュール

登校・朝の会	8：30 ～ 8：50	
1限	8：55 ～ 9：40	日本語の学習
2限	9：55 ～10：40	日本語の学習
3限	10：55 ～11：40	日本の学校生活・文化交流

※12：00頃より順次在籍校へ移動し、給食以降は在籍校にて過ごす。
地域の各校にて、給食から通常日課で過ごす

5 通室にあたって

○「なかま」教室の出欠席は在籍校の出欠席とします。
○通室期間は、おおむね１～３か月とします。
終了日は、認定会議（「なかま」担当者、在籍校、教育委員会担当者等）で決定します。
○授業料は無料です。
○保護者による送迎など、保護者の責任のもとで通室を行います。
○保護者の参観は自由です。いつでもお越しください。

6 「なかま」教室では…

○ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・英語等の母語スタッフがいます。
○保護者の就学・教育相談に応じます。
○日本語学習教材など外国人児童生徒教育に関わる情報を市内各校に提供します。

<お問い合わせ先>
桑名市役所２階　人権教育課
〒511－0681
桑名市中央町２丁目37番地
TEL　24－1192

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　人権教育課

事業名称	中事業 分身ロボット活用特別支援事業費	予算区分	款　教育費 項　教育総務費 目　教育振興費 大事業 SDGs推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	確かな学力の定着と向上

事業目的

特別な支援を必要とする児童生徒に対して、障害による困難を改善・克服するために、学習上・生活上において、一人ひとりに応じた適切な支援を行う。

主な事業内容

分身ロボットOriHimeを導入・活用し、肢体不自由児等が障害による自宅療養及び施設入院等の際の学習機会を保障する。

（該当児は自宅や病院にいながら、OriHimeを介して在籍学級の授業への参加や、友人との会話が可能となる。）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・令和2年11月～令和3年3月：OriHime 星見ケ丘小学校・藤が丘小学校等在籍肢体不自由児が使用 賃借料　250千円（1か月50千円）	R3	✓
	R4	✓
・令和3年4月～令和4年3月：引き続きOriHime　使用 賃借料　600千円（1か月50千円）	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		600		600
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	600		600
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　600千円

OriHime（分身ロボット）

OriHime の活用事例紹介ページより抜粋
（Tsunagu-project.com）

分身ロボット　OriHime

分身ロボット「OriHime」と意思伝達装置「OriHime eye」ってなんだろう？
OriHimeとOriHime eyeには人を笑顔にする力がある。
なぜOriHimeとOriHime eyeが人を笑顔にするのか。
その理由を調べてみた。

OriHimeとは？

OriHimeは分身ロボット。病気や障がい、あるいは距離によって、行きたいところに行きたくても行けない人のためのもう一つの身体、それが「OriHime」。
OriHimeにはカメラ、マイク、スピーカーが搭載されていて、学校や家など行きたい所に置き、インターネットを通してタブレットやスマートフォンで遠隔操作する。OriHimeを操作することで、周囲を見渡したり、周りの人と「あたかもその人がそこにいるように」会話ができる。どんなに離れていても入院していても家族や友人との日常の時間を提供するOriHimeは「人と人をつなぐロボット」だ。
例えば教育現場では、身体的、精神的な理由で教室に行けない生徒がいる。OriHimeをその生徒の代わりに学校の自分の席に置く。生徒は入院先や自宅でタブレットやスマートフォンでOriHimeを操作。まるで学校に登校しているように、教室の雰囲気を感じることができ友達と席を並べ授業を受けることができる。
では、「なぜOriHimeじゃなきゃいけないの？」「テレビ電話とどう違うの？」と思われる方もいるかもしれない。OriHimeはテレビ電話とは違い、操作者はOriHimeに搭載されているカメラでその周囲や人を見ることができるが、OriHime側は操作者の様子が見えない。例えば入院している際、ベッドで点滴を受けている様子を見られることなく、これまで通り離れている友達や家族とコミュニケーションをとることができ、操作者のプライバシーが守られる。OriHimeは、操作者がそこにいるかのような存在感を持っている。喜怒哀楽、様々に見える能面を参考にしたデザインで、OriHimeの周りの人が操作者の表情を想像でき、徐々に本人に見えてくるよう工夫されている、まさしく操作者の分身だ。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　教育総務課

事業名称	予算区分
中事業 教育ICT環境整備事業費	款　教育費 項　教育総務費 目　教育振興費 大事業　DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備

事業目的

新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力に定義された情報活用能力を、桑名の子ども達が9年間の義務教育を通して身に付けられるようにするため、市内小中学校におけるICT環境の整備を継続的に行っていく。

主な事業内容

・新学指導要領実施に伴い、文部科学省より示された「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」に基づき、市立小中学校のICT環境整備を継続的に行っていく。
・上記に加え、文部科学省が提唱する「GIGAスクール構想」に基づき、生徒児童一人一台端末整備及び校内無線LAN拡張、それらの使用に耐えられる回線速度の増強を実施する。
・端末については1年間のメーカー保証のみで運用するため、2年目以降の通常故障は修繕にて対応する。なお、過失による故障は動産保険を適用し、不足分を修繕にて対応する。
・情報コーディネーターによる運用の支援を行う。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
①ICT整備(校務PC、校内無線LAN、デジタル教科書、iPad整備、保守業務等) 154,533千円 ＜契約期間　令和元年9月から令和6年8月まで＞	R3	✓
②GIGAスクール事業（一人一台端末リース、保守等） 137,595千円 ＜契約期間　令和3年1月から令和7年12月まで＞	R4	✓
③ICT環境維持 ・端末修繕費 自然故障+過失故障 12,706千円 ・ウイルス対策 3,960千円、運用支援業務委託 110千円、回線利用料 12,369千円	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		321,273	173,802	147,471
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	230,000	173,802	56,198
	一般財源	91,273		91,273

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金 200,000千円 情報システム整備基金繰入金 30,000千円

教育ICT環境整備事業について

教育ICT環境整備事業の趣旨

新学習指導要領実施に伴い、文部科学省より示された「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」ならびに「GIGAスクール構想」に基づき、高度情報化社会を生きる児童生徒に、あらゆる情報を適切に処理し効果的に活用する能力を育むため、全ての教育活動においてICTを活用した総合的な情報教育が実践的に行える環境を整備する。

全ての教育活動において、パソコンやタブレットをはじめとする様々なICT機器の活用が促進されることにより、児童生徒の情報活用力の向上を図ることを狙いとしている。

小学校での主な整備内容

〇児童学習用一人一台端末の導入・・・タブレットを導入することでネット接続、動画・写真撮影、教材受け取り・共有・提出などが可能となった。

〇全普通教室への大型提示装置の導入・・・普通教室での整備率が100%となった。

〇校内無線LAN環境の整備・・・普通教室、特別教室において40人クラスがネットに同時接続できる環境になった。

〇校務用パソコンの導入・・・配備率が100%となり、授業準備や成績処理等で活用できるようになった。

中学校での主な整備内容

〇生徒学習用一人一台端末の導入・・・普通教室にタブレット、パソコン教室にWindowsパソコンを導入。

〇全普通教室への大型提示装置の導入・・・普通教室での整備率が100%となった。

〇校内無線LAN環境の整備・・・普通教室、特別教室において40人クラスがネットに同時接続できる環境になった。

〇校務用パソコンの新規導入・・・配備率が100%となり、授業準備や成績処理等で活用できるようになった。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　学校支援課

事業名称	中事業 教育用コンピュータ整備事業費	予算区分	款　教育費 項　教育総務費 目　教育振興費 大事業　DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備

事業目的

高度情報化社会の中で生きる子どもたちには、あらゆる情報を適切に処理し、効果的に活用する能力の育成が必要であり、そのための情報処理の学習と情報機器の活用が実践的に行える環境を継続的に整備する。

主な事業内容

・高度情報化社会を生きる児童生徒に、あらゆる情報を適切に処理し、効果的に活用する能力を育むため、全ての教育活動においてICTを活用した総合的な情報教育が行える環境を整備する。
・全ての教育活動において、タブレットや大型提示装置等をはじめとする様々なICTの活用が促進されることにより、児童生徒の情報活用能力や学習理解力の向上を図る。

＜事業費内訳＞
委託料　15,488千円

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
○市立小中学校の情報教育を一層充実させるため、ICT支援員を配置しICT活用推進を図る。 ・市内小中学校に導入されたICT機器を最大限に活用するため、授業活用に向けた計画支援（機器の設定準備・アプリ等の操作方法）・授業活用時の機器トラブルへの対応を含めたサポートを行う。 ・ICT機器の設定準備などをICT支援員が担うことにより、教員がより質の高い授業や個に応じた学習指導にあたることができるよう支援するとともに、専門スタッフとの役割分担を明確化することで教員の働き方改革を推進する。	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		15,488	5,420	10,068
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	15,488	5,420	10,068
令和3年度その他財源内訳				

ICT支援員の配置について

新学習指導要領でも示されている通り、次代を担う児童生徒にとって「情報活用能力」は全ての学習の基盤となる資質・能力です。こうした資質・能力を児童生徒に身に付けさせるために、ICT環境整備が必要です。

ICTを使った
よくわかる授業で学力の向上

ICTを活用して
次代を担う子どもに必要な
資質・能力を育成

校務の情報化で
子どもと向き合う時間の確保

ICT機器整備の必要性

第3期教育振興基本計画において、「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」に基づき、学習者用コンピュータや大型提示装置、無線LANの整備など、各地方公共団体による計画的な学校のICT環境整備の加速化を図ることが明記されました。

ICT支援員の必要性

校内にICT機器が増えることで、操作の習得やICTを活用した授業改善、機器の設置準備等、新たな業務が発生します。現状そうした業務を多くの教員が負担しています。

こうした状況を解消するために、学校ICTの専門家であるICT支援員を配置することが必要です。

教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）に基づき、
単年度 1,805億円の
地方財政措置が講じられています。

教育のICT化に向けた環境整備
5か年計画（2018～2022年度）で目標とされている水準

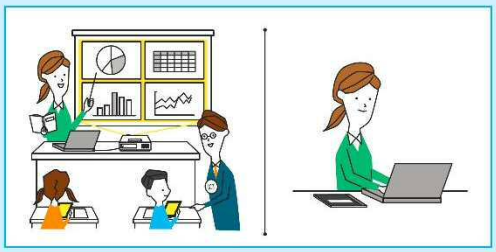
学習者用コンピュータ	3クラスに1クラス分程度整備
指導者用コンピュータ	授業を担任する教師1人1台
大型提示装置・実物投影機	100%整備 各普通教室1台、特別教室用として6台
超高速インターネット及び 無線LAN	100%整備
統合型校務支援システム	100%整備
ICT支援員	**4校に1人配置**

下記についても整備が必要。

- 学習者用ツール
- 学習用サーバ
- 校務用コンピュータやセキュリティに関するソフトウェア
- 予備用学習者用コンピュータ
- 校務用サーバ
- 充電保管庫

column 学校における働き方改革とICT支援員

文部科学省では「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取組の徹底について（平成30年2月9日通知）」の中で「教育委員会が取り組むべき方策」として「専門スタッフとの役割分担の明確化及び支援」を挙げています。限られた時間の中で、教師一人一人の授業準備や自己研鑽等の時間を確保するとともに、意欲と高い専門性をもって、今まで以上に一人一人の児童生徒に丁寧に関わりながら、質の高い授業や個に応じた学習指導を実現するためにも、専門スタッフとしてのICT支援員を配置し、役割分担を明確にすることが必要です。



（平成30年3月文部科学省資料「ICT支援員の配置を」より）

市内小中学校に導入された、一人一台端末をはじめとする学校ICT環境を、最大限有効に活用するため、教職員の機器・アプリ操作の習熟へ向けて、専門的な知悉を持つICT支援員を導入し、各校への巡回を通した各支援を行っていく。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　新たな学校づくり課

事　業 名　称	中事業 多度地区小中一貫校整備事業費	予　算 区　分	款　教育費 項　教育総務費 目　小中一貫校費 大事業　小中一貫校事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備

事　業　目　的

子どもたちを取り巻く社会の変化や子どもたち自身の変容を踏まえ、義務教育9年間を見通した系統性・連続性のある効果的かつ魅力的な教育環境づくりのため、多度地区での施設一体型小中一貫校の整備に向けた用地買収及び基本設計等を進める。

主　な　事　業　内　容

＜多度地区小中一貫校整備事業＞

・用地補償等　382,982千円
・設計委託料等　132,182千円
・その他（埋蔵文化財試掘調査等）　33,419千円

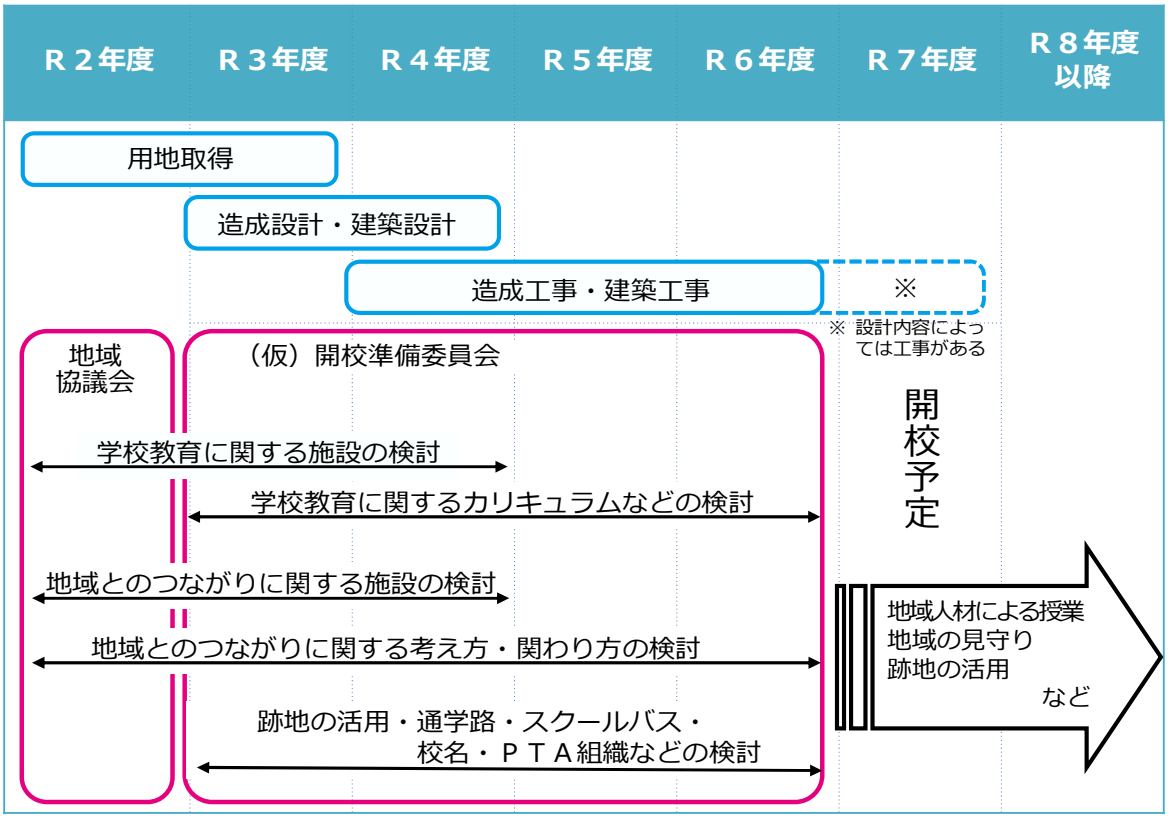
事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和2年度 保護者や地域、教職員との対話による学校づくりの方針策定や用地取得への準備を行う。 ・基本計画策定、計画地の現地測量、用地測量、不動産鑑定等	R3	✓
令和3年度 保護者や地域、教職員との対話による学校の運営や施設等の検討や学校用地の確保を行う。 ・建築基本設計、造成設計、用地補償、埋蔵文化財試掘調査等	R4	✓
令和4年度～ 保護者や地域、教職員との対話や民間企業のノウハウを活用しながら施設整備を進める。 ・建築実施設計、造成工事、建築工事等	R5	✓

予　算　額　（単位：千円）

事　業　費		3　年　度　当　初	2　年　度　当　初	増　減　額
計		548,583	15,340	533,243
財源内訳	国　支　出　金			0
	県　支　出　金			0
	地　方　債	387,200		387,200
	そ　の　他	130,000	15,340	114,660
	一　般　財　源	31,383		31,383

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　100,000千円　地域振興基金繰入金　30,000千円

開校に向けたスケジュール



多度地区小中一貫校事業計画地について

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　教育総務課

事業名称	中事業 安全管理対策施設整備事業費	予算区分	款　教育費 項　小学校費 目　学校管理費 大事業　施設整備費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	教育環境の整備

事業目的
老朽化した星見ヶ丘小学校のウッドデッキの改修を行い、良好な教育環境を整える。

主な事業内容
・星見ヶ丘小学校ウッドデッキ改修工事（2階テラス部）

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年　5～6月　業者選定 令和4年　　2月　工事完了	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

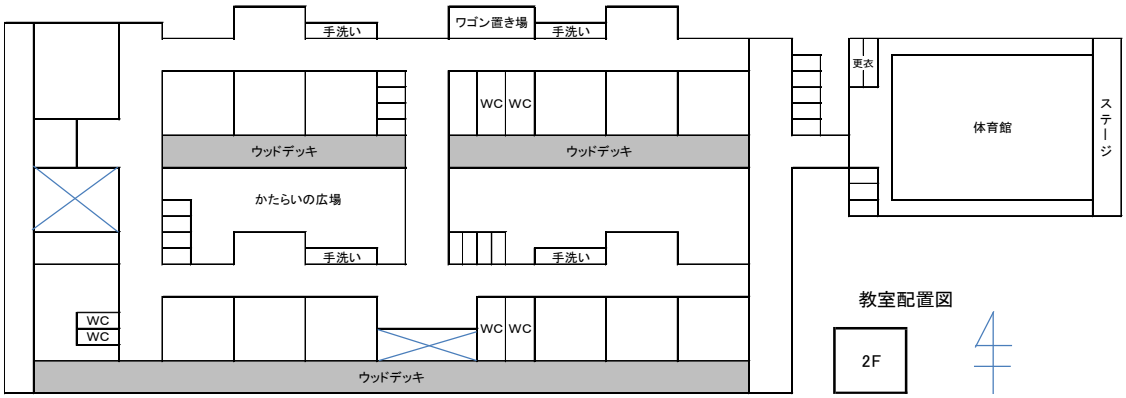
事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		12,536		12,536
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	12,536		12,536
令和3年度その他財源内訳				

令和３年度　星見ヶ丘小学校　安全管理対策施設整備事業

施設名	星見ヶ丘小学校
所在地	星見ヶ丘八丁目501番地
建築年	平成１３年

星見ヶ丘小学校

２階テラス部（運動場側）



星見ヶ丘小学校にて利用しているウッドデッキについて、使用頻度が高く老朽化の著しい２階テラス部分の良好な教育環境整備及び安全性を確保するため、改修工事を行う。

ウッドデッキ部には、耐久性に優れた木材・プラスチック再生複合材を使用する。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　生涯学習・スポーツ課

事業名称	中事業 長島輪中図書館空調改修事業費	予算区分	款　教育費 項　社会教育費 目　図書館費 大事業　施設整備費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	生涯学習	生涯学習施設などの適切な管理・運営

事業目的

幅広い市民の要望に対応した学習機会の提供として図書館を運営し、市民の主体的な生涯学習活動を支援する中で、誰もが安全で快適に使用できる管理・運営に努める。

主な事業内容

図書館開架フロア及び視聴覚室の空調設備について、メーカーからの部品の供給が終了し、これ以上の部品の入手や修理が不可能となったため、空調設備の入れ替え工事を行う。

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
施設管理運営費の工事請負費（整備工事費）として、認められた予算の範囲内で計画的に空調設備の入れ替え工事を実施する。 ＜令和3年度＞　空調改修工事費	R3	✓
	R4	
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		66,381		66,381
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債	59,700		59,700
	その他			0
	一般財源	6,681		6,681

令和3年度その他財源内訳	

令和3年度　長島輪中図書館　空調改修工事費

空調設備入替工事

施設名	長島輪中図書館
所在地	長島町源部外面
建設年	平成18年（2006 年）
構　造	地上2階　鉄筋コンクリート造
工事概要	空調入替

外観写真

位置図

・長島輪中図書館　１階　開架フロア空調設備入替工事

１階・開架フロアの空調設備について、令和元年度より修繕を行ってきたが、部品の入手が困難になり、これ以上の修繕を行うことができないため、空調機器の入替工事を行う。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　ブランド推進課

事業名称	中事業 特別展示費	予算区分	款　教育費 項　社会教育費 目　博物館費 大事業　ブランド推進事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	文化・スポーツ	文化財の保護・活用

事業目的

令和3年に桑名市博物館開館50周年を迎える事を記念して、大規模な特別企画展「本多忠勝と桑名」(仮)及び「やまと絵のしらべ　―帆山花乃舎と復古大和絵―」(仮)を開催する。

主な事業内容

桑名市博物館開館50周年記念特別企画展「本多忠勝と桑名」(仮)・「やまと絵のしらべ　―帆山花乃舎と復古大和絵―」(仮)を実施する。
各地より本多忠勝に関連する資料を借用し、その鑑賞を通じて地域を愛する気持ちをはぐくみ、文化財保護への理解を深める事を目的とする。
会期：令和3年10月23日(土)～11月28日(日)、令和4年1月22日(土)～2月27日(日)

事業進捗状況(予定)等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和3年4～6月　出品交渉・資料調査 令和3年7月　作品集荷、撮影作業 令和3年8～9月　図録等印刷物作成	R3	✓
令和3年10月　展覧会準備、開始 令和3年11月　展覧会終了、撤収 令和3年12月　作品返却作業	R4	✓
令和4年1月　作品集荷・展覧会開催 令和4年2月　展覧会撤収・返却 令和4年3月　助成先への報告書	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		6,157	4,200	1,957
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他	2,250	1,791	459
	一般財源	3,907	2,409	1,498

令和3年度その他財源内訳	博物館使用料　1,750千円、刊行物等売払収入　300千円 文化事業助成金　200千円

令和3年度　事業概要書　資料　（中事業：博物館特別展事業）

展覧会名	桑名市博物館創設50年・本多忠勝桑名入封420年特別企画展　「本多忠勝と桑名」(仮)
概要	令和3年が桑名市博物館の前身である桑名市立文化美術館開館から50年という記念の年にあたり、また本多忠勝入封420年という節目の年にあたりますことから、本多忠勝および本多家と桑名との関わりのある資料を一堂に集め、展観を致します。 本展覧会の観覧を通じて、本多家を通じて桑名と岡崎をはじめとする三河地域の歴史的つながりを知っていただくとともに、地域への愛着を育て、文化財保存の重要性への理解を深めていただくことを目的としています。
会期	令和3年10月23日（土）～11月28日（日）　※32日間（予定）
入館料	大人[高校生以上]　500円　※20名以上の団体は1人100円引き
助成	公益財団法人岡田文化財団（予定）

展覧会名	新春企画展　「やまと絵のしらべ　－帆山花乃舎と復古大和絵－」(仮)
概要	江戸時代後期から隆盛をみせた復古大和絵派と呼ばれる絵師たちの作品とともに、当館所蔵の帆山花乃舎の作品を展覧することで、一地方の画家ではなく田中訥言や浮田一蕙らから続く復古大和絵の流れを汲む絵師として花乃舎を再認識していきたいと考えています。桑名に息づく花乃舎の功績をご覧いただきたいと思います。
会期	令和4年1月22日（土）～2月27日（日）　※32日間（予定）
入館料	大人[高校生以上]　500円　※20名以上の団体は1人100円引き
特別協力	国立文化財機構文化財活用センター（予定）

1.　資料・作品の輸送方法

当館学芸員の立会のもと、美術品専門業者による梱包・輸送を行う。保険は展示一貫保険に加入。

2.　展示保管

借用資料については、額内もしくは陳列ケース内に収め常時監視の目が届く展示室内に陳列。照明は紫外線カットの退色防止蛍光灯及びLED照明を使用。また、館到着から展示・撤収の間は当館収蔵庫に保管。

3.　警備状況

昼間は監視カメラおよび監視アルバイトが常時監視を実施するとともに、当館職員が巡回・監視を行う。夜間は警備保障会社による機械警備および巡回警備を実施。万一自然災害が発生した場合は警備会社より当館職員に連絡が入るので、直ちに状況を確認し、適切な対応を心がけます。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　教育総務課

事業名称	中事業 新規給食調理等業務委託導入事業費	予算区分	款　教育費 項　保健体育費 目　学校保健体育費 大事業　学校給食事業費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	こどもを3人育てられるまち	学校教育	健やかな体の育成

事業目的

学校給食法に基づき児童・生徒に安全・安心な学校給食を提供することは、心身の健全な発達に重要な役割を果たすものである。既存の給食施設を使用し、安全・安心な給食提供を確保したうえで合理化・効率化を考え、給食調理業務等の民間委託を進める。

主な事業内容

正規調理員の退職に伴い正規調理員を配置できない小学校が出てくることから、給食調理業務等を民間業者に委託している。令和3年4月より新たに2校（修徳小学校・大和小学校）において民間業務委託を実施する。また、委託校においては、各校に衛生管理責任者が必要であるため、市で採用する学校栄養補助員を配置し、安全・安心な学校給食の提供を維持する。

◎調理業務直営校
日進小学校、精義小学校、立教小学校、城東小学校

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
・委託校については、保護者代表や学校長等で構成する小学校給食業務委託検討委員会で意見聴取し、教育委員会で実施校を正式決定した。（修徳小学校・大和小学校） ・委託業者及び委託料においてはプロポーザル方式を用いて決定した。	R3	✓
	R4	✓
	R5	

予算額（単位：千円）

事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		27,830		27,830
財源内訳	国支出金			0
	県支出金			0
	地方債			0
	その他			0
	一般財源	27,830		27,830
令和3年度その他財源内訳				

小学校給食の民間委託について

●民間委託への経緯　桑名市の総合的な施策として平成19年度より正規調理員の定年退職に伴い給食調理業務の民間委託を実施。

平成19年4月～	平成20年12月～平成25年1月～	平成28年1月～	平成29年1月～	平成30年4月～	平成31年4月～	令和3年4月～
大成小学校	益世小学校	星見ヶ丘小学校	大山田東小学校	大山田北小学校	在良小学校	桑部小学校	修徳小学校
城南小学校		久米小学校	大山田南小学校	大山田西小学校	七和小学校	深谷小学校	大和小学校
藤が丘小学校							

合計16校

栄養教諭の配置してある学校を民間委託
＋
市費負担の栄養職員を配置して民間委託

献　立　：献立検討委員会（教委栄養士＋栄養教諭及び学校栄養職員）により作成する。

調　理　：栄養教諭及び学校栄養職員から提供された調理業務指示書にもとづき、委託業者の調理員が行う。

食　材　：献立をもとに物資購入委員会において協議の上、桑名市学校給食協会が一括して購入する。

検　収　：栄養教諭及び学校栄養職員が検収記録に基づいて検品する。

令和3年度　事業概要書【一般会計】

所属　：　生涯学習・スポーツ課

事業名称	中事業 国民体育大会開催準備経費	予算区分	款　教育費 項　保健体育費 目　社会体育振興費 大事業　スポーツイベント関係経費

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	桑名をまちごとブランドに	文化・スポーツ	スポーツ活動の支援

事業目的

第76回国民体育大会において、桑名市開催競技の円滑な運営を期するための準備、及び大会の実施

本市開催競技
　正式競技　女子ゴルフ（令和3年9月26日（日）～28日（火））
　公開競技　武術太極拳（令和3年9月18日（土）～19日（日））

主な事業内容

令和3年5月　　三重とこわか国体桑名市実行委員会総会、常任委員会、専門委員会の開催
令和3年4～9月　開催啓発活動の実施
令和3年8月　　炬火イベントの実施
令和3年9月　　三重とこわか国体開催
令和4年1月　　ゴルフ競技共催市との合同事業概要説明会開催（鈴鹿市、四日市市）
令和4年2月　　三重とこわか国体桑名市実行委員会解散総会の開催
令和4年3月　　大会報告書の作成

事業進捗状況（予定）等　※事業内容は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和元年度　三重とこわか国体桑名市実行委員会設立発起人会設立 開催推進に伴う調査・広報啓発	R3	✓
令和2年度　三重とこわか国体桑名市実行委員会設立、及び各種会議の開催 各種基本計画・要項等の策定、及び開催競技会場等設営設計業務委託 開催推進に伴う調査・広報啓発	R4	
令和3年度　三重とこわか国体桑名市実行委員会各種会議の開催 各種実施マニュアル・必携等作成、各種契約締結、開催推進に伴う調査・ 広報啓発　三重とこわか国体開催	R5	

予算額（単位：千円）

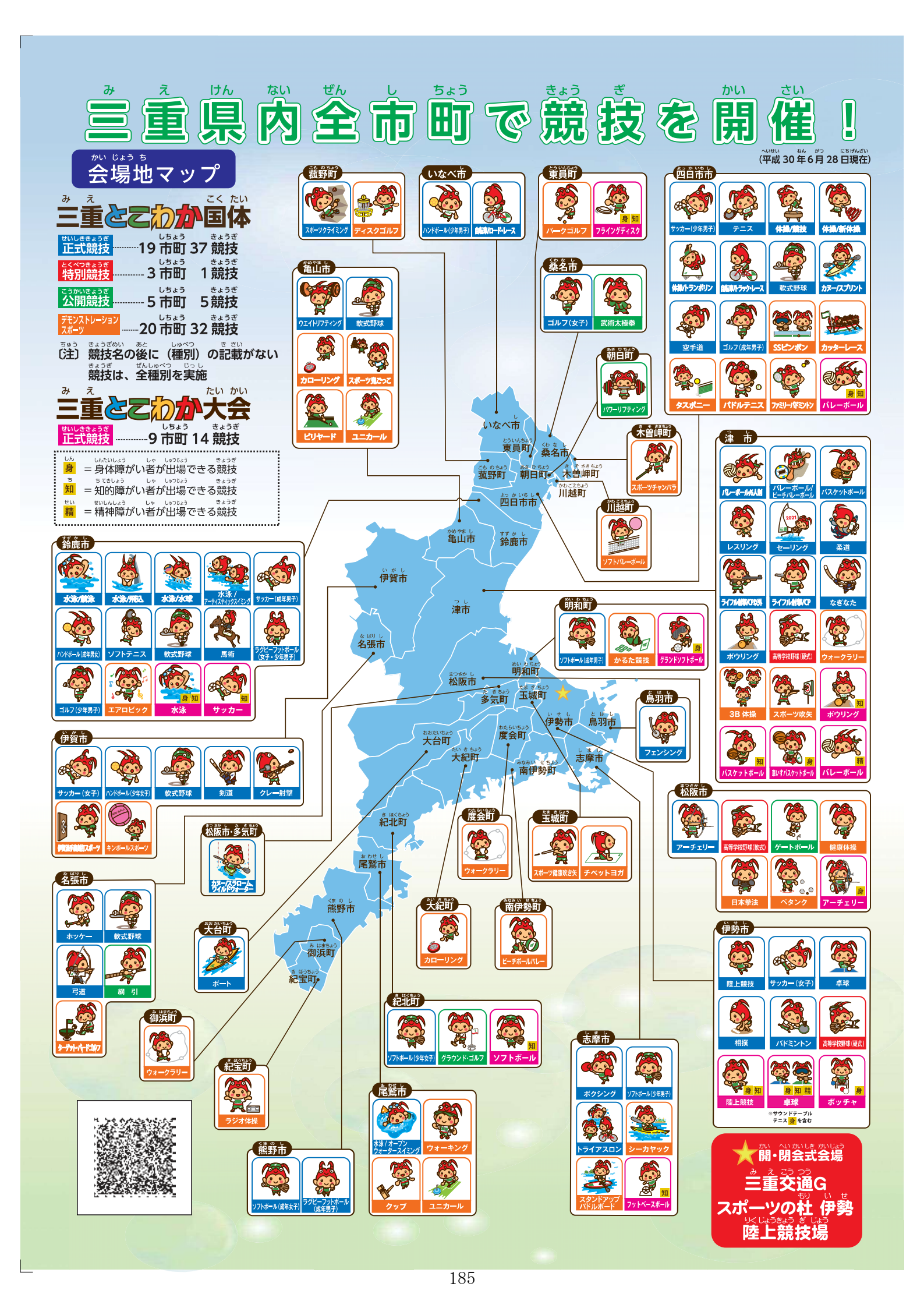
事業費		3年度当初	2年度当初	増減額
計		50,243	2,565	47,678
財源内訳	国支出金			0
	県支出金	31,424		31,424
	地方債			0
	その他	18,819	2,565	16,254
	一般財源			0

令和3年度その他財源内訳	ふるさと応援基金繰入金　18,819千円

三重県内全市町で競技を開催！

（平成30年6月28日現在）

会場地マップ



三重とこわか国体

正式競技	19市町 37競技
特別競技	3市町 1競技
公開競技	5市町 5競技
デモンストレーションスポーツ	20市町 32競技

〔注〕競技名の後に（種別）の記載がない競技は、全種別を実施

三重とこわか大会

正式競技	9市町 14競技

身＝身体障がい者が出場できる競技
知＝知的障がい者が出場できる競技
精＝精神障がい者が出場できる競技

★開・閉会式会場
三重交通G スポーツの杜 伊勢
陸上競技場

令和3年度　事業概要書【特別会計】

会計名称: 国民健康保険事業特別会計　　所属　:　保健医療課

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	医療保険・生活保護	国民健康保険事業の充実

事業目的

国民皆保険制度の根幹としての重要な役割を担っており、誰もが安心して医療が受けられるための受診機会の確保や健康の維持増進に努める。

主な歳入・歳出の内容

【歳入】
・国民健康保険税
（令和3年度：2,384,373千円、令和2年度：2,647,473千円、増減額▲263,100千円）
・現年度収納率　（令和元年度：94.09%、平成30年度：93.75%、増減率0.34%）
【歳出】
・保険給付費
（令和3年度：8,860,293千円、令和2年度：8,856,448千円、増減額3,845千円）
・保健事業費
（令和3年度：204,532千円、令和2年度：201,767千円、増減額2,765千円）

事業進捗状況（予定）等　※計画額は、今後変更することがあります。	計画年度	
・平均被保険者実績　（令和元年度：26,023人、平成30年度：27,080人、増減数▲1,057人） ・一人当たり費用額　（令和元年度：398,633人、平成30年度：378,869円、 増減額19,764円） ・特定健診受診率　（令和元年度：44.2%、平成30年度：43.8%、増減率0.4%） ・繰入金 保険基盤安定　583,687千円　職員給与費等　182,808千円 出産育児一時金等　28,000千円　財政安定化支援事業　40,000千円 その他一般会計　450,094千円	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位:千円）

事業費	3年度 当初	2年度 当初	増減額
計	12,803,662	12,951,262	▲ 147,600
国支出金		5,900	▲ 5,900
県支出金	8,980,533	9,012,796	▲ 32,263
地方債			0
その他	988,662	1,285,093	▲ 296,431
一般財源	2,834,467	2,647,473	186,994

一般会計からの繰入金の状況（単位:千円）

	3年度 当初	2年度 当初	増減額
一般会計繰入金	1,284,589	809,184	475,405

令和3年度　事業概要書【特別会計】

会計名称：住宅新築資金等貸付事業特別会計　　所属　：　人権政策課

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	その他	その他	その他

事業目的

歴史的・社会的理由により、生活環境等の安定向上が阻害されている地域の環境の整備改善を図るため、当該地域にかかる住宅の新築または住宅の用に供する土地の取得に関する必要な資金の貸付を行い、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。

主な歳入・歳出の内容

【歳入】
・貸付金償還金　（令和3年度：1,559千円、令和2年度：3,678千円、増減額：△2,119千円）
・貸付金利子　　（令和3年度：　285千円、令和2年度：　660千円、増減額：△　375千円）
貸付者の償還金完済等により、納付率の減少が見込まれるため。
・前年度繰越金　（令和3年度：3,386千円）

【歳出】
・地方債元金償還金　（令和3年度：3,300千円、令和2年度：4,567千円、増減額：△1,267千円）
・地方債利子　　（令和3年度：　64千円、令和2年度：　194千円、増減額：△　130千円）
当該事業の原資となった公的資金（地方債元金及び地方債利子）の起債償還額が年々減少するため。

事業進捗状況（予定）等　※計画額は、今後変更することがあります。			計画年度	
起債償還額			R3	✓
令和元年度（決算）	地方債元金　9,008千円	地方債利子　448千円	R4	✓
令和2年度（決算見込み）	地方債元金　4,567千円	地方債利子　194千円		
令和3年度（予算）	地方債元金　3,300千円	地方債利子　64千円	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費	3年度 当初	2年度 当初	増減額
計	5,236	6,644	▲ 1,408
国支出金			0
県支出金			0
地方債			0
その他	5,236	4,344	892
一般財源		2,300	▲ 2,300

一般会計からの繰入金の状況（単位：千円）

	3年度 当初	2年度 当初	増減額
一般会計繰入金		2,300	▲ 2,300

令和3年度　事業概要書【特別会計】

会計名称：農業集落排水事業特別会計　　所属　：　企画総務課

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	上下水道	安全・安心な生活基盤の提供

事業目的

市内5地区において、農村地域における資源循環の促進を図りつつ、農業用用排水の水質保全、機能維持及び農村生活環境の改善を図る。併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理するため、農業集落排水施設を整備し、生産性の高い農業の実現と活力ある農村社会の形成及び循環型社会の構築に努めている。

主な歳入・歳出の内容

【歳入】
・農業集落排水施設使用料（令和3年度：39,610千円、令和2年度：40,419千円、増減額：▲809千円）
水量減少に伴う収入の減少
・農業集落排水整備支援事業基金繰入金（令和3年度：973千円、令和2年度：823千円、増減額：150千円）
一般会計繰入金を可能な限り縮減するため、基金の一部から繰り入れを行うもの
【歳出】
・委託料（令和3年度：4,404千円、令和2年度：0円、増減額：4,404千円）
公共下水道への接続替えに伴う業務委託費の増加

事業進捗状況（予定）等　※計画額は、今後変更することがあります。	計画年度	
普及状況 ・平成29年度処理区域内世帯数：770世帯　水洗化世帯数：730世帯 処理区域内人口　：2,168人　水洗化人口　：2,085人 ・平成30年度処理区域内世帯数：778世帯　水洗化世帯数：738世帯 処理区域内人口　：2,128人　水洗化人口　：2,044人 ・令和元年度処理区域内世帯数：769世帯　水洗化世帯数：731世帯 処理区域内人口　：2,096人　水洗化人口　：2,012人	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費	3年度 当初	2年度 当初	増減額
計	154,195	150,910	3,285
国支出金			0
県支出金			0
地方債			0
その他	40,762	41,420	▲ 658
一般財源	113,433	109,490	3,943

一般会計からの繰入金の状況（単位：千円）

	3年度 当初	2年度 当初	増減額
一般会計繰入金	113,433	109,490	3,943

令和3年度　事業概要書【特別会計】

会計名称：介護保険事業特別会計　　所属　：　介護高齢課

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	介護保険・高齢者福祉	介護の必要な高齢者の為の介護サービスの充実

事業目的

介護保険法に基づき、居宅介護等（介護予防）サービス、地域密着型（介護予防）サービス、施設介護サービス等に係る経費を給付する。
介護保険制度の円滑な実施の観点から、被保険者が要介護状態等になることを予防するとともに、要介護状態等となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的とする。

主な歳入・歳出の内容

【歳入】
・保険料収入（令和3年度：2,496,299千円、令和2年度：2,450,244千円、増減額：46,055千円）
第1号被保険者から納付される介護保険料
【歳出】
・保険給付費（令和3年度：9,698,861千円、令和2年度：9,455,471千円、増減額：243,390千円）
介護保険被保険者のうち要支援及び要介護の認定者が利用したサービスに係る経費及びそれに伴う三重県国民健康保険団体連合会への審査支払手数料
・地域支援事業費（令和3年度：611,107千円、令和2年度：559,376千円、増減額：51,731千円）
介護予防・日常生活支援総合事業、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業等を実施

事業進捗状況（予定）等　※計画額は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和2年度策定予定の第8期介護保険事業計画に基づき、必要な事業を遂行する。 第8期介護保険事業計画の進捗状況 ・令和2年7月　桑名市地域包括ケアシステム推進協議会並びに介護予防部会・ ～11月　生活支援部会の合同部会開催を経て総会を開催 ・令和2年12月　パブリックコメントを募集 ・令和3年1月　総会にて最終計画案を提示 ・令和3年3月　第8期介護保険事業計画策定	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費	3年度 当初	2年度 当初	増減額
計	10,699,145	10,386,764	312,381
国支出金	2,322,986	2,222,278	100,708
県支出金	1,306,155	1,266,763	39,392
地方債			0
その他	5,447,267	5,328,195	119,072
一般財源	1,622,737	1,569,528	53,209

一般会計からの繰入金の状況（単位：千円）

	3年度 当初	2年度 当初	増減額
一般会計繰入金	1,622,737	1,569,528	53,209

令和3年度　事業概要書【特別会計】

会計名称：後期高齢者医療事業特別会計　　所属　：　保健医療課

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	医療保険・生活保護	後期高齢者医療制度の対応

事業目的

適切な給付及び特定健診等の保健事業を推進するため、三重県後期高齢者医療広域連合に対し、構成団体分賦金を納付する。

主な歳入・歳出の内容

【歳入】
・後期高齢者医療保険料
令和3年度：1,591,124千円、令和2年度：1,643,857千円、増減額　▲52,733千円
・現年度収納率
令和元年度：99.16%、平成30年度：99.19%、増減率▲0.03%
【歳出】
・後期高齢者医療広域連合納付金
令和3年度：3,176,203千円、令和2年度：3,193,295千円、増減額　▲17,092千円

事業進捗状況（予定）等　※計画額は、今後変更することがあります。	計画年度	
・年度末被保険者数 令和元年度：18,789人、平成30年度：18,207人、増減数582人 ・一人当たり費用額 令和元年度：882,596円、平成30年度：858,765円、増減額23,831円 ・健康診査受診率 令和元年度：35.25%、平成30年度：33.98%、増減率1.27%	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予算額（単位：千円）

事業費	3年度 当初	2年度 当初	増減額
計	3,217,063	3,237,708	▲ 20,645
国支出金			0
県支出金			0
地方債			0
その他	1,601,291	1,654,024	▲ 52,733
一般財源	1,615,772	1,583,684	32,088

一般会計からの繰入金の状況（単位：千円）

	3年度 当初	2年度 当初	増減額
一般会計繰入金	1,615,772	1,583,684	32,088

令和3年度　事業概要書【特別会計】

会計名称：（地独）桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計　　所属　：　保健医療課

総合計画の体系	ビジョン	基本計画	基本事業
	命を守ることが最優先	地域医療・健康づくり	救急医療体制の整備および充実

事　業　目　的

（地独）桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計は、地方独立行政法人化に伴い病院事業会計が廃止されたことから、平成22年度から地方独立行政法人桑名市民病院施設整備等貸付事業特別会計を設け、予算編成し、また、平成24年４月１日に法人名称が変更されたことに伴い、会計名称を変更して法人への貸付等を実施している。

主 な 歳 入・歳 出 の 内 容

【歳入】
・事業収入（令和3年度：638,781千円、令和2年度：612,001千円、増減額26,780千円）
　病院事業債及び一般会計貸付分の償還に伴う地方独立行政法人からの貸付金元利収入の増
・市債　（令和3年度80,000千円、令和2年度：397,000千円、増減額：▲317,000千円）
　新病院整備事業の完了による病院事業債の減
【歳出】
・施設整備等貸付金　（令和3年度：0円、令和2年度：337,000千円、増減額：▲337,000千円）
　新病院整備事業の完了による地方独立行政法人への貸付金の増
・一般会計繰出金　（令和3年度40,137千円、令和2年度：2,741千円、増減額：37,396千円）
　新病院整備事業に係る一般会計からの借入金元金償還金の増

事業進捗状況（予定）等　※計画額は、今後変更することがあります。	計画年度	
令和元年度に着手したBC棟解体工事は、令和2年度に完成し、新病院整備事業は完了した。 令和3年度は病院の器械備品の更新を継続して実施する。 ・施設整備等貸付金 　令和元年度決算見込：409,200千円、令和2年度決算見込：322,000千円、令和3年度0円 ・器械備品整備事業貸付金 　令和元年度決算：29,700千円、令和2年度決算見込：39,000千円、令和3度予算80,000千円	R3	✓
	R4	✓
	R5	✓

予　算　額（単位：千円）

事業費	３ 年 度 当 初	２ 年 度 当 初	増 減 額
計	718,964	1,009,202	▲ 290,238
国支出金			0
県支出金			0
地 方 債	80,000	397,000	▲ 317,000
そ の 他	638,964	612,202	26,762
一般財源			0

一般会計からの繰入金の状況（単位：千円）

	３ 年 度 当 初	２ 年 度 当 初	増 減 額
一般会計繰入金	182	200	▲ 18

再生紙を使用しています。